

※ 本目録は、『羽生三七関係文書目録』（近現代史料・関係文書目録3）日本近代史料研究会、2006の発行者である近代日本史料研究会から提供されたデータを掲載したものです。

※ PDF化に際し若干の書式変更を行いました。まえがき・概要・凡例等の頁付は刊行された目録と若干異なりますので、ご注意下さい。

目 次

まえがき（伊藤隆）	1 頁
羽生三七略歴	2 頁
概要（矢野信幸）	3 頁
凡例	11 頁

書類

政党関係	15 頁
選挙関係	24 頁
参議院関係	35 頁
国会・県会議事録	37 頁
外交関係	40 頁
LYL 事件・青年運動関係	52 頁
自筆原稿類	56 頁
履歴関係	69 頁
祝賀会・記念会関係	70 頁

名刺・パスポート・写真	72 頁
その他	73 頁

書簡

羽生三七宛 政治家・知人など書簡	77 頁
羽生三七宛 引退挨拶への返書	82 頁
羽生三七宛 「社会党と私の 30 年」ほか読後感に関する書簡	84 頁
羽生三七宛 「20 世紀の軌跡」読後感に関する書簡	84 頁
羽生三七発信書簡ほか	86 頁
挨拶状	87 頁
郵送物	87 頁
電報類	88 頁

雑誌・冊子・書籍（含新聞）

長野県関係	93 頁
社会党関係	99 頁
ソ連関係	101 頁
社会運動関係	102 頁
国会・選挙関係	103 頁
伝記・回想録	103 頁
同人誌	105 頁
雑誌・論文コピー	105 頁
その他	106 頁

新聞

原紙	115 頁
綴	120 頁
封筒詰め	122 頁
切抜	136 頁
スクラップブック	141 頁

まえがき

本冊子は、元参議院議員羽生三七氏の没後、夫人綾子氏、長女美奈子氏の元に遺された関係文書の目録である。かつて筆者は、昭和史の研究のために、昭和43年10月28日に議員会館で、更に隠退されたあと昭和57年11月28日に飯田市鼎のご自宅で、羽生氏にインタビューさせていただくことが出来た。この2回のインタビューのテープと書き起こしを国会図書館憲政資料室に寄贈したが、公開のためには遺族の諒解が必要だとのことで、平成15年1月に夫人綾子氏および長女美奈子氏に連絡を取り、諒解を求めた。その際に、遺された史料も憲政資料室にご寄贈いただけないかというお願いをしたところ、双方に対して承諾のご返事をいただき、史料については私に一任して下さるとのことであった。

そこで武田知己氏と相談し、同年3月に二人で飯田市のお宅にお伺いした。お二人から歓迎を受け、その日は大体の下見をし、翌日ダンボール詰めを行い、17箱を宅急便で政策研究大学院大学に送った。

早速、政策研究大学院大学政策情報研究センターの黒澤良、矢野信幸両氏を中心に目録作成作業に入った。整理の過程で戦中期の史料がかなり少ないことに気付いた。恐らく戦後処分をされたのであろうと推測された。戦前期と戦後期の史料は充実したものであった。整理を開始してから約3年を経て、漸く冊子目録が刊行できる状態になった。近日、関係文書は国会図書館憲政資料室に寄贈される予定である。ただこの内、写真・アルバムは羽生家が所蔵することになっている。

本冊子の作成は、科研費「口述記録と文書記録を基礎とした現代日本の政策過程と政策史研究の再構築」及び日本財団からの助成金による。

この関係文書の整理をお任せ下さった羽生夫人綾子さんは、残念ながら本年逝去された。史料を提供された羽生家の皆さん（長男の哲夫氏、綾子氏、美奈子氏）にはいうまでもなく、飯田に一緒に行って下さった武田知己氏、整理を担当して下さいました黒澤良氏、今津敏晃氏、藤田英昭氏、矢野信幸氏に心からお礼を申し上げます。

大正期の左翼革新運動家から出発し、戦中期には昭和研究会・国民運動研究会のメンバーとして近衛新体制を推進した一人、戦後は日本社会党の参議院議員として活躍された羽生三七氏の史料は、昭和史研究の貴重なものの一つである。多くの研究者に活用されることを期待したい。

平成18年10月

近代日本史料研究会 代表

伊藤 隆

羽生三七略歴

元号	年	月	足跡
明治	37	1	13日、長野県下伊那郡鼎村東鼎に羽生亀之助・みつへの長男として出生
大正	7	3	鼎尋常高等小学校卒業(小学校1年から高等科1年までは松尾小学校に通学)
	10	3	松濤義塾(飯田市)卒業
	11	5	下伊那文化会(秘密結社)を創立
	11	9	下伊那自由青年聯盟を創立(翌年、機関紙「第一線」創刊)
	12	1	下伊那文化会をLYL(Liberal Youngmen's Leagueの頭文字)に改組
	13	3	治安警察法違反として検挙・投獄(LYL事件)
	14	4	禁固8ヶ月の実刑(服役4ヶ月で発病し仮釈放、その後赦免)
	15	10	労働農民党南信支部が結成され参加
昭和	2	4	労働農民党南信支部の執行委員に推される(後に支部長)
	6	7	全国労農大衆党下伊那支部結成準備会委員長となる(支部長となるも暮れに辞任)
	6	9	長野県会議員選挙に下伊那全無産者協議会を母体に立候補するも落選
	7	5	鼎村会議員に当選(昭和21年3月まで連続当選4期)
	7	10	社会大衆党下伊那支部を結成、書記局員となる
	10	9	長野県会議員(社会大衆党公認)に当選(昭和14年8月まで1期4年間)
	11	4	社会大衆党長野県連書記長となる(昭和12年6月辞任)
	13	12	国民運動研究会を組織し支部結成懇談会を開催
	17	6	小山亮に従い南方ペナンの岩畔機関へ同行(昭和18年2月帰国)
	18	4	後藤隆之助の大東亜研究室に協力する
	21	4	鼎村長に就任(翌年、公選村長に当選するも辞す)、下伊那郡町村長会長も兼ねる
	22	4	第1回参議院議員通常選挙長野地方区に日本社会党公認として立候補し当選
	23	11	日本社会党長野県連執行委員長となる
	26	1	参議院農林委員長に互選される(~27年)
	28	5	日本社会党(左派)の参議院議員会長となる
	31	12	日本社会党の参議院議員会長となる
	37	3	日本社会党長野県連執行委員長となる(通算11期目)
	39	6	日本社会党使節団の一員としてソ連・東欧を歴訪(ソ連首相フルシチョフと会談)
	47	1	河野謙三参議院議長と一緒に訪ソ
	47	2	参議院議員勤続25年議員として表彰(野党では羽生ただ一人)

47	5	日ソ親善協会の理事長に選出される(約2年間)
52	7	国会議員を引退(参議院議員5期連続30年)
52	7	鼎町名誉町民第1号として表彰される
57	4	『ある社会主義者 羽生三七の歩いた道』出版記念会開催、福田元首相ら出席
60	12	30日、死去(享年82)

【典拠】石川真澄『ある社会主義者 羽生三七の歩いた道』(朝日新聞社、昭和57年)他

概要

矢野信幸

1 史料の分類と整理にあたって

受け入れた史料は、書類、書簡、雑誌・冊子・書籍、新聞の4つに分類し、内容等を考慮して細分類した（目次を参照のこと）。

1 書類：史料番号 1～216

書類として分類した史料のなかには、封筒に一括された史料がある。その中身に書類以外の史料も含まれているが、書類とともに記載した。

2 書簡：史料番号 217～225

書簡についても、旧蔵者である羽生三七もしくは遺族による分類を尊重した。したがって、すべての書簡を発信者別に並べ換えて整理することはせず、細分類ごとの発信者五十音別にした。

3 雑誌・冊子・書籍：史料番号 226～479

雑誌・冊子・書籍は、内容別に細分類して整理した。ただし、内容や形態などから一部の新聞も含まれている。

4 新聞：史料番号 480～694

原紙、切抜など、形態別に細分類した。

2 文書の内容について

以下、「羽生三七関係文書」の主な内容について、文書の分類と羽生三七の略歴に即して紹介する（カッコ内に目録の史料番号を記載）。

（1）書類について

羽生三七は、大正11年（1922）5月、社会主義の秘密結社である下伊那文化会を組織し、社会主義運動家として出発した。同年9月には、合法組織として下伊那自由青年聯盟を組織し、翌年には、下伊那文化会を強化してLYL(Liberal Youngmen's Leagueの頭文字)と改名した。

自由青年聯盟の創立については、その発会式通知が残されている（4-4）。自由青年聯盟は機関紙『第一線』を発行した。青年運動の関係史料（108～112）のなかに、『第一線』全7号のコピー（111-4～10）や、当時羽生が寄稿した『信濃時事』などの新聞がある（109-25・26）。『第一線』は、昭和59年（1984）に復刻され、羽生も当時の思い出を寄稿して

いる (289)。大正 13 年の LYL に対する一斉取り締りで、羽生も検挙・投獄された (LYL 事件)。この時の羽生らに対する尋問調書を綴った「治安警察法違反事件刑事記録」全 5 冊が作成されている (108)。拘留中の羽生に対する家族の接見願や差入許可願、その後の上告にいたる裁判関係の史料も残されている (3-21~35)。なお、「公判の帰途同志一同で」と記載され、羽生も写されている大正 13 年の写真も存在する (210-3)。

羽生は仮釈放後、本格的に無産政党政運動に身を投じ、労働農民党、全国労農大衆党、社会大衆党に参加し、昭和 10 年 (1935) 9 月、長野県会議員に当選し 1 期 4 年勤めた。

羽生が参加した労働農民党に関する史料の多くは宣伝ビラである (1、2、111-13~15)。作成者は、労働農民党の長野県支部联合会や南信支部、諏訪支部であり、労働農民党地方支部の活動の一端を知ることができる。その他、昭和 2 年の長野県会議員選挙に労働農民党公認で立候補した久保田勇一の立候補宣言と推薦状がある (2-7・8)。羽生は、昭和 6 年に初めて長野県会議員選挙に立候補するも落選、次の昭和 10 年の県会議員選挙で社会大衆党公認として当選した。昭和 6 年の選挙関係史料は、羽生の選挙運動費用に関するものである (6-2、7-2)。昭和 10 年の選挙関係史料は、支援者が作成した羽生への投票願 (7-3)、政見発表演説会の案内 (7-4)、当選証書類 (3-3~8) である。羽生の県会議員時代の史料には、県会での活動記録 (3-10)、辞令類 (3-12・13)、県会議事日誌 (71~78) がある。羽生が所属した社会大衆党関係では、長野県支部联合会が開催した演説会の案内 (2-15) やポスター (3-9) が存在する。

羽生は、県会議員の任期中に昭和研究会に参加し、その行動面を担当する国民運動研究会を昭和 13 年に組織した。翌年、社会大衆党へ離党届を出し、県会議員選挙に立候補せず、もっぱら国民運動研究会の活動に専念し、後藤隆之助とともに近衛新体制を推進した。国民運動研究会の解散後、戦中期は後藤隆之助が主宰する大東亜研究室に協力した。

近衛新体制期と戦中期の史料は極めて少ない。国民運動研究会の封筒 (4-8)、大東亜研究室の野紙 (4-9) と封筒 (79-1) は存在するが、内容や中身は当時のものではない。国民運動研究会が昭和 14 年に出した小冊子『農村協同体への道』(4-17) が唯一の史料である。ただし、当時の羽生への来簡は残されており後述する。

終戦を地元の鼎村で迎えた羽生は、昭和 21 年 (1946) 4 月、鼎村長に就任した。翌年 4 月に日本社会党公認で参議院議員選挙に立候補し当選した。参議院議員選挙は、昭和 52 年に引退するまで、5 期連続トップ当選であった。その間、社会党参議院議員会長、長野県連委員長など、党の中央・地方の要職を歴任した。国会の質疑では、とくに外交問題の質問で実力を発揮し、党内外から注目された。

村長時代の職務に関する史料として、昭和 21 年に執り行われた英霊を弔う村葬の際の祭文が残されている (3-18・19)。羽生は、昭和 22 年に戦後初の公選村長に当選したが、参議院議員との兼職ができなかったため村長を辞任した。

羽生の参議院議員初当選は、昭和 22 年の第 1 回選挙で、その後第 3 回 (昭和 28 年)、第 5 回 (昭和 34 年)、第 7 回 (昭和 40 年)、第 9 回 (昭和 46 年) と連続して当選を重ねた。

この5回の選挙関係史料が多く残されている。

第1回選挙の関係史料は、選挙前の資格審査関係(3-73以降)、日本社会党の公認証(3-38)、選挙公報(3-63)、長野放送局における政見発表放送の手続き関係(3-67以降)、当選告知(3-43)などである。さらに、第1回選挙の時の陣中見舞(寄附者)名簿も残されている(18-2)。第3回選挙の関係史料は、選挙公報(3-47)、羽生自筆の挨拶原稿(3-45)、「日本の平和と経済再建のために」と題する政見(9-8~10)、放送用の立候補挨拶文(6-7~9)、長野放送局での選挙放送関係(19-2・3)、当選告知(3-44)などである。第5回選挙の関係史料は、社会党の公認証(19-4)、選挙公報(3-59)、放送用原稿(3-60・61)などである。第7回選挙の関係史料は、社会党の公認状(3-40)、全国金属労働組合の推薦決定書(19-6)、選挙公報(12-4)、羽生の県総合選対に関する文書(6-11以降)、テレビでの政見放送原稿(13-2)、陣中見舞名簿・支援者名簿(20-2~4)などである。第9回選挙の関係史料は、立候補の挨拶状(13-4)、選挙公報(17-2)などである。このほか羽生が林虎雄の選対委員長を務めた昭和37年の第6回参議院議員選挙の文書もある(9~11)。また昭和31年の第4回参議院議員選挙における棚橋小虎の選対関係史料には、選対機構図などが含まれていて興味ぶかい(34-6・13)。

羽生の社会党員としての活動を示す史料にはどのようなものがあるか。昭和22年の参議院議員初当選後、7月に社会党本部から党員証が発行されている(4-5)。昭和23年に羽生は社会党長野県連の執行委員長となり、昭和25年の第2回参議院議員選挙で社会党長野県連と日農長野県連との共闘を推進し、県連委員長であった羽生は県内を遊説した。その遊説日程の決定に関する史料がある(3-52)。なお、所属する社会党地方支部への羽生の党費納入状況を示す史料が残されている(5-1,18-12)。

参議院議員として羽生は、国会の本会議、委員会で多くの質問を行った。昭和22年の初登壇から引退する昭和52年の最後の質問まで、羽生が質問した時の参議院会議録が残されている(39~70)。その参議院の改革問題については、昭和40年代の参議院問題懇談会や各党の改革案がある(35~38)。

羽生は参議院議員時代、とくに外交問題に強い関心を示し、その解決に向け野党議員の立場から心血を注いだ。昭和39年、羽生は社会党ソ連・東欧訪問使節団の一員となり、帰国後、党機関紙『社会新報』に訪問記を執筆した。このソ連・東欧訪問の際、羽生は「日記」をつけており(87-4)、そこにはソ連関係者との会談の生々しいやりとりが記されていて興味ぶかい。また、羽生が初めて欧米を視察した時の「日記」も残されている(80-2・3)。昭和47年5月、羽生は日ソ親善協会の理事長となり、その直後に文化協力計画を取り決めるため訪ソするが、その際の「日記」もある(80-7)。

対米問題の史料としては、昭和26年の講和関係史料がある。社会党分裂の原因となった講和論争の史料(82)、対日講和条約案に対する社会党内外の対応史料が見受けられる(83~90)。羽生は、日米の民間有識者の会議(下田会議)への出席を依頼されており、第2回会議から第4回会議の日程、参加者、議題、運営などに関する多くの史料が彼の手許に残

された (91~100)。

昭和 52 年、羽生は国会議員を引退し、地元鼎町で第 1 号の名誉町民として表彰された。引退後は、朝日新聞編集委員石川真澄の協力を得て、自らの足跡を振り返って自伝の出版を進めた。その成果が石川真澄の著作として昭和 57 年に出版された『ある社会主義者 羽生三七の歩いた道』である。この伝記は、石川が「あとがき」で述べているが、羽生への取材はもちろん、羽生が書いた自伝的文章も参考になっている。今回受け入れた史料に、その数百枚にのぼる羽生の自筆原稿類が存在する (113~192)。このなかには、石川が伝記を執筆するにあたって割愛した部分があり、羽生自身の生の回顧録として貴重である。また、自筆原稿の記述に、羽生が自らの「日記」を参考にして執筆している箇所がある。しかし、今回の受け入れ史料では確認できなかった。この点は今後の調査研究の課題としたい。なお、自筆原稿類に混じって、伝記作成の過程で羽生が石川に宛てた書簡が残されており (182-12、185-82~88)、二人の間でどのように伝記の編纂が進められたか、その一端を知ることができる。

書類の部として整理した名刺・パスポート・写真 (204~212) は、遺族の希望によりすべて返却した。

(2) 書簡について

書簡の多くは羽生への来簡である。政治家や知人からの書簡で目をひくものは、有沢広巳 (217-2・3)、後藤隆之助 (217-19~37)、近衛文麿 (217-38)、佐佐弘雄 (217-41・42)、富田健治 (217-55~63)、笠信太郎 (217-84) といった昭和研究会・近衛新体制運動の関係者の書簡である。なかでも有沢広巳、後藤隆之助、富田健治の書簡からは、羽生との親交の深さが伝わってくる。昭和 20 年の有沢書簡は、羽生への疎開先斡旋のお願いである。後藤書簡は全 20 通と最も多いが、すべて昭和 50 年代の晩年のものである。かつて近衛新体制を推進した後藤と羽生の交遊が、晩年にいたるまで継続していたことを物語っている。長野県知事であった富田の昭和 15 年 1 月の書簡には、「笠〔信太郎〕、林〔広吉〕両氏にはよろしく御伝言願う」と記されており、近衛新体制運動の一端が垣間見える。

戦後の社会党と労働組合の関係者の書簡では、鈴木茂三郎 (217-44~50) と高野実 (217-52~54) の書簡が内容的に充実している。二人の昭和 20 年の書簡は、いずれも日本社会党の結成をめぐる内部事情を記したもので、前述の石川真澄『ある社会主義者 羽生三七の歩いた道』に一部人名を伏せて引用された史料である。昭和 30 年 8 月の鈴木書簡には、鳩山首相と重光外相の羽生への賛辞が記されている。これは、日ソ国交回復を実現するため、参議院外務委員会で羽生が鳩山首相を激励したことに対して、二人が評価していたことを示している。

このほか自民党関係者では、鳩山一郎 (217-68)、池田勇人 (217-4・5)、三木武夫 (217-79~82)、福田赳夫 (217-72・73)、中曾根康弘 (217-64・65) ら 5 人の歴代首相の来簡がある。その多くは礼状や挨拶状である。とはいえ、福田元首相は、かつて羽生をソ連大

使に起用する構想を抱いていただけに、昭和 57 年 4 月の福田書簡（217-73）と昭和 53 年 11 月の福田電報（225-17）を読むと、党派を越えて互いに認め合う姿が見えてくる。

昭和 52 年の羽生の引退挨拶に対する返事には、赤城宗徳（218-3）、石田博英（218-4）、後藤隆之助（218-6）、関龍夫（218-7）、田牧保（218-8）など、与野党の関係者や知人からの書簡があり、労いの言葉が綴られている。

新聞などに掲載された羽生の回顧談や論文を読んだ感想も、羽生のもとに寄せられている。このなかには社会党の同僚議員であった稲村隆一（219-2）や、婦人運動・平和運動家の高良とみ（219-5）の書簡もある。また、石川真澄が朝日新聞に連載した羽生三七の評伝「20 世紀の軌跡—ある政治史」を読んだ感想では、小原慶次（220-4~9）、広重潔（220-15）といった地方の社会党関係者から寄せられた書簡が目をはく。とくに小原は、戦前から戦後を回顧し、彼が所属した社会大衆党や日本農民聯盟のこと、戦後の町長退任までの歩みなどを記していて興味ぶかい。

以上のほか、書簡として分類した史料に、羽生の書簡（印刷物）、羽生宛の送り状が添えられた郵送物、昭和 34 年参議院議員選挙の必勝祈願と当選祝賀の電報、羽生を励ます会に寄せられた電報がある（221~225）。

（3）雑誌・冊子・書籍について

長野県関係の雑誌は、羽生が寄稿したり対談・座談会に参加した昭和 20 年代から 50 年代の地元誌がほとんどである。長野県関係の冊子には、社会党長野県本部の結成 40 周年記念祝賀会の記念冊子（284）と社会党飯伊総支部が発行した結党 50 周年の記念小史（285）がある。それから自由青年聯盟の機関紙『第一線』の復刻版（289）もある。

社会党関係でも、羽生が寄稿したり対談・座談会に参加した社会党の機関誌紙などが多い。ソ連関係、社会運動関係についても、羽生が寄稿した雑誌などが目をひく。国会・選挙関係では、羽生も出席した昭和 40 年代の NHK 国会討論会の冊子が残されている（383~385）。伝記・回顧録は、羽生と長野県関係者に関するものがほとんどである。羽生は、『私の歩いた道』と題する小冊子を出している（392）。社会党長野県議団長として羽生を支えた溝上正男についても、回顧録（398）と県議在職 30 年の記念冊子（389）がある。同人誌は、大学のゼミ研究で羽生を取り上げた成果などである。その他として分類した一般図書類にも、羽生の寄稿した論文が多い。

（4）新聞について

原紙は、羽生の寄稿文と彼の関連記事が掲載された新聞がほとんどである。綴は、おもに羽生の参議院本会議における代表質問と予算委員会・外務委員会での質問記事を年代別にまとめたものである。封筒詰めされた新聞は、全部ではないがテーマ別に表題を付けて整理されたものである。それは、参議院議員選挙関係（581~583）、党関係（584）、欧米視察報告記事（585）、地方新聞・論文関係（586）などである。切抜は、受け入れた文書のな

かに雑多に入っていたものである。したがって、掲載紙の記載がないものも間々見受けられる。スクラップブックは、年代別やテーマ別に切抜を貼付したものである。下伊那自由青年聯盟関係のスクラップブック（668）には、羽生も写されている清浦内閣倒壊デモの写真が貼付されている。昭和6年に羽生が落選した県会議員選挙の関係のスクラップブック（669）には、選挙戦のさなか弟・三男に宛てた羽生の書簡が貼付されており、苦しい選挙戦に臨む胸の内を明かしている。それから昭和57年の石川真澄『ある社会主義者 羽生三七の歩いた道』の出版を祝う会関係のスクラップブック（693）には、祝う会の案内状と出席者に対する羽生の礼状が貼付されている。

以上が「羽生三七関係文書」の概要である。なお、国会図書館憲政資料室所蔵マイクロフィルム「羽生三七文書」には、「治安警察法違反事件刑事記録」全5冊（108）、風見章書簡（217-12）、近衛文麿書簡（217-38）、富田健治書簡（217-62）、高野実書簡（217-51）、鈴木茂三郎書簡（217-44）、笠信太郎書簡（217-84）、佐佐弘雄書簡（217-41）、有沢広巳書簡（217-2・3）、自由青年聯盟発起人書簡（4-4）、島田紀帆書簡（217-43）、ビラ類（1-3~6・12、2-7・31）が収められており、すでに公開されている。また、国会図書館憲政資料室所蔵「日本近代史料研究会旧蔵史料」には、伊藤隆氏がインタビュアーを務めた「羽生三七氏談話速記録 第1回 昭和43年10月28日」、「羽生三七氏談話速記録 第2回 昭和57年11月28日」が収められ、こちらも公開されている。

凡 例

1 文書の整理方針

封筒に一括された史料、ファイリングされている史料、綴られている史料等は、原状保存を心掛けた。ただし、史料保存の観点から、封筒一括の史料は封筒から出して整理し、クリップ等で綴られている史料は金具等を取り外し、目録の備考に原状に関する情報を記載した。

2 文書の分類

文書全体を書類、書簡、雑誌・冊子・書籍、新聞の4つに分類し、内容等を考慮して細分類した。

(例) 分類「書類」 細分類「政党関係」「選挙関係」等

3 目録の記載項目について

<番号><枝番> 通し番号を記載し、細目には枝番を付けた。

<表題> 原則として原史料の表題を記載した。表題の記載が無い場合は、括弧[]を付して適宜表題を作成した。なお、判読不能な文字は「□□……」と表記した(以下の項目も同じ)。

<作成者> 史料の記述者、著者・编者、文書の発信者などを記載した。書簡は差出人を記載した。新聞の切抜は記事の執筆者を記した。

<宛先> 文書の発信先、書簡の受取人などを記載した。

<内容> 書簡は、内容を摘記もしくは要約した。新聞・雑誌は、関連記事・論文を記載した。羽生三七の著作は、羽生「[論題名]」と記載し、史料にある羽生の情報も適宜記した。

<年・月・日> 年代は元号を用い、表記のないものは原則として空欄とした。

<種類> 1点ごとの史料を、書類・書簡・日記・新聞・雑誌・冊子・書籍・その他に分類した。

<形態> 史料の大きさ(B5など)、記述方法(ペン書、タイプ印刷など)、用紙(罫紙、原稿用紙など)に関する情報を記入した。

(例) B5 タイプ印刷・罫紙

<数量> 史料の枚数・頁数を記入した。書簡については通数を記した。

<備考> 上記の項目以外の情報を記入した。

- ・罫紙、原稿用紙などの特定(「参議院」罫紙など)
- ・史料の原状に関する情報(封筒に一括、クリップ一括など)
- ・雑誌・新聞切抜の掲載誌紙について(「朝日新聞」など)
- ・その他の情報(添付物、挿入物、書籍の発行元など)

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考	
政党関係													
1		[労働農民党関係ほかピラ・新聞]										「ピラ信伝文書」と記載の封筒に一括。	
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	1-2~12番所収。「ピラ信伝文書」と記載。	
	2	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。1-3~12番所収。	
	3	活動基金を送れ	労働農民党南信支部財政部						書類	ガリ版	1枚		
	4	養蚕家を救へ! これが百姓の血の出る様な叫びだ!	労働農民党長野県支部連合会・労働農民党諏訪支部				昭和2	9		書類	活版	1枚	
	5	電灯料値下げ 同盟に加はれ 十一月七日電燈料三割値下げデー	労働農民党南信支部							書類	活版	1枚	
	6	全町民諸君 本十日午後六時ヨリ 電燈料値下町電問題町民大会	電燈料値下期成同盟							書類	活版	1枚	
	7	政治と青年 13号	政治と青年社			「町村会議員選挙と青年」	大正14	1	20	新聞	活版・原紙	8頁	
	8	政治と青年 15号	政治と青年社			「治安維持法案を一蹴せよ」	大正14	2	10	新聞	活版・原紙	8頁	
	9	信濃時事 2853号	信濃時事新聞社			羽生「転換期の「国家」更に国家論について田中君に与ふ」	大正14	2	5	新聞	活版・原紙	4頁	
	10	信濃時事 2871号	信濃時事新聞社			羽生「治安維持法案反対 民衆の政治か! 特権階級の政治か!」	大正14	2	24	新聞	活版・原紙	4頁	
	11	信濃時事	信濃時事新聞社			羽生「行動哲学者の言葉 再び国家論に就て田中君に与ふ」				新聞	活版・原紙	4頁	
12	無産者新聞 号外	無産者新聞社			「治安維持法の徹底的改悪を緊急勅令で発布せんとす」	昭和3	5	21	新聞	活版・原紙	1枚		
2		[労働農民党・社会大衆党・日本社会党・立憲政友革新会、日本労働総同盟・日本労働組合評議会・日本農民組合・全国農民組合、ピラ・新聞・パンフレット]										封筒に一括。	
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。2-2~60番所収。	
	2	地主、資本家の機関たる農会を農民の手に奪還せよ!!	労働農民党中信支部				昭和2	3	28	書類	活版	1枚	
	3	信濃時事社争議に関する声明書	労働農民党南信支部				昭和2	3	30	書類	活版	1枚	
4	五億の金で民衆の急を救へ!(労働農民党リーフレット)(4)	労働農民党調査部				昭和2	5	5	書類	活版	1枚		

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
2	5	被霜害者を救へ!	労働農民党長野県支部联合会・霜害被害者同盟			昭和2	6		書類	活版	1枚	加盟申込書。
	6	これが県民の要求だ! 霜害救済請願運動は益々進展する	労働農民党長野県支部联合会・霜害被害者同盟			昭和2	7		書類	活版	1枚	
	7	立候補宣言	労働農民党公認県議候補久保田勇一/発行人・恩田彦太郎			昭和2	9	15	書類	活版	1枚	
	8	推薦状	労働農民党南信支部/責任者・永井弘		県会議員選挙公認候補久保田勇一の推薦	昭和2	9	20	書類	活版	1枚	
	9	養蚕家を救へ!	労働農民党長野県支部联合会・労働農民党諏訪支部			昭和2	9		書類	活版	1枚	
	10	失業手当法最低賃銀法即時制定実施健康保険法改正要求の全国無産団体協議会の開催を提唱す	労働農民党				8	8	書類	活版	1枚	
	11	諏訪郡下四万の製糸労働者諸君に激す 山一林組の争議団兄弟を見殺しにするな!	日本労働組合評議会南信一般労働者組合・労働農民党諏訪支部				9	4	書類	活版	1枚	
	12	8月10日失業反対デー	南信一般労働者組合・労働農民党諏訪支部						書類	ガリ版	1枚	
	13	全岡谷製糸従業員懇談会	南信一般労働者組合・労働農民党諏訪支部		9月11日開催の案内				書類	活版	1枚	
	14	我新労働党組織準備会 日労働へ無条件合同を提唱す 対支出兵、治安維持法、反対共同闘争を戦かひ抜け!	新労働党組織準備会/責任者・細迫兼光						書類	活版	1枚	
	15	社会大衆党県支部聯合大会記念大演説会	社会大衆党長野県支部联合会		12月12日開催の案内				書類	活版	1枚	弁士の一人に県議員・羽生三七の名前あり。
	16	社会大衆党パンフレット第六輯 無産階級の新天地政策	社会大衆党出版部			昭和10	8	25	冊子	活版	本文38頁・附録15頁	
	17	[日本社会党公認(参議院議員候補)全国区野溝勝挨拶状]	野溝勝			昭和31	6	12	書簡	活版・葉書	1通	推薦者氏名記載、羽生の名前もあり。
	18	[日本社会党公認参議院議員候補(地方区)棚橋小虎挨拶状]	棚橋小虎			昭和31	6	12	書簡	活版・葉書	1通	推薦者氏名記載、羽生の名前もあり。
	19	綱領 第一部・第二部・第三部	日本社会党綱領委員会(代表・稲村順三)編			昭和29	7	15	冊子	活版	60頁	日本社会党出版部発行
20	宣言・決議・会則	立憲政友革新会						書類	活版	1枚		
21	[国家予算と交付金財源の問題に関するメモ]	羽生三七						書類	ペン書・鉛筆書	1枚	史料中「昭和九年」の記載あり。	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	22	労働農民党脱退反対に関する 声明書	日本労働総同盟 労働農民党脱退反対 同盟			大正15	11	2	書類	活版	1枚	加盟組合名記載あり。
	23	岡谷に労働組合が出来た!! 全諏訪の労働者の要求はこ れだ!!	日本労働組合評 議会南信一般労 働者組合				6	30	書類	活版	1枚	
	24	労働者諸君! 南信一般労働 者組合に加入なさい	日本労働組合評 議会南信一般労 働者組合		日本労働組合評議会南 信一般労働者組合の規 約、加入申込書	昭和2			書類	活版	1枚	
	25	日本農民組合長野県聯合会 案内	日本農民組合長 野県聯合会		昭和2年4月24日日本農 民組合長野県小作組合 聯合会創立大会「綱領」 「主張」	昭和2			書類	活版	1枚	
	26	全養蚕農民は農民代表者会 議へ!!	下伊那郡鼎村村 沢平夫		全国農民組合長野県連 合会下伊那支部・新労 働党下伊那準備会ほか 主催養蚕家救済全南信 地方農民代表者会議開 催の案内	昭和3	10	18	書類	活版	1枚	
	27	宣言	日本プロレタリ ア芸術聯盟			昭和2	4		書類	活版	1枚	
	28	生気なき芸術より脱出せん とする芸術家、読者、観客諸 君 日本プロレタリア芸術 聯盟に加入せよ!!	日本プロレタリ ア芸術聯盟本部		入会申込書	昭和2	5		書類	活版	1枚	
	29	檄	信濃時事新聞従 業員一同		専務取締役片山を排斥 す	昭和2	3	29	書類	活版	1枚	
	30	普通選挙を即時実施せよ!	議会解散請願運 動全国実行委員 会		5月22日第6回請願デー	昭和2	5	19	書類	活版	1枚	
	31	支那出兵に反対せよ!	対支非干渉全国 同盟						書類	活版	1枚	同一2部。
	32	婦人同盟に参加せよ!	婦人同盟諏訪地 方同盟						書類	活版	1枚	同一2部。
	33	工場労働者も失業者も来た れ 会議は俺達のものだ			6月4日豊多摩地方工場 代表者会議の開催案内				書類	活版	1枚	参加工場名記載あり。
	34	全岡谷労働者は相談会を開 け!	諏訪製糸労働者 有志		山一林組の兄弟を見殺 にするな				書類	ガリ版	1枚	
	35	生活して行けない労働者は ストライキをやっている! 町民は何を要求するか!	岡谷町民有志		電燈料値下げほか				書類	ガリ版	1枚	
	36	村民大会通知	喬木村民有志		養蚕家農民の救済につ き				書類	ガリ版	1枚	
	37	第三回研究大会議事録	北原理一		大正13年11月9、10日長 野県聯合青年団主催第 3回研究大会の議事録	大正13	12	20	冊子	活版	21頁	付箋貼付あり。
	38	政治と青年 1号	政治と青年社			大正13	9	10	新聞	活版・ 原紙	8頁	付箋貼付あり。
	39	政治と青年 3号	政治と青年社			大正13	10	1	新聞	活版・ 原紙	8頁	付箋貼付あり。
	40	政治と青年 4号	政治と青年社			大正13	10	10	新聞	活版・ 原紙	8頁	付箋貼付あり。
	41	政治と青年 6号	政治と青年社			大正13	11	1	新聞	活版・ 原紙	8頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	42	政治と青年 7号	政治と青年社			大正13	11	10	新聞	活版・原紙	8頁	付箋貼付あり。同一3部。
	43	政治と青年 8号	政治と青年社			大正13	11	20	新聞	活版・原紙	8頁	付箋貼付あり。同一2部。
	44	政治と青年 9号	政治と青年社			大正13	12	1	新聞	活版・原紙	8頁	同一2部。
	45	政治と青年 10号	政治と青年社			大正13	12	10	新聞	活版・原紙	4頁	欄外の民友社活版所株式募集広告に掲載されている発起人の一人に羽生の名前あり。
	46	政治と青年 12号	政治と青年社			大正14	1	10	新聞	活版・原紙	8頁	付箋貼付あり。
	47	政治と青年 14号	政治と青年社			大正14	2	1	新聞	活版・原紙	8頁	
	48	政治と青年 20号	政治と青年社			大正14	4	1	新聞	活版・原紙	4頁	付箋貼付あり。同一2部。
	49	政治と青年 22号	政治と青年社			大正14	5	20	新聞	活版・原紙	4頁	付箋貼付あり。
	50	政治と青年 25号	政治と青年社			大正14	7	10	新聞	活版・原紙	6頁	付箋貼付あり。
	51	日本農民組合パンフレット第一編 百姓はなぜ貧乏する乎	行政長蔵			大正12	11	15	冊子	活版	51頁	日本農民組合総本部発行
	52	無産者大学パンフレット 古代日本の奴隷制度	白柳秀湖			昭和2	7	25	冊子	活版	35頁	南宋書院発行
	53	無産者大学パンフレット ソウェート聯邦の教育	蔵原惟人			昭和2	10	5	冊子	活版	30頁	南宋書院発行
	54	無産社パンフレット(5) 社会主義学説大要	堺利彦			大正14	2	25	冊子	活版	80頁	無産社発行
	55	信濃大衆新聞 729号(3日夕刊)	信濃大衆新聞社			昭和3	5	4	新聞	活版・原紙	4頁	付箋貼付あり。
	56	信濃大衆新聞 741号(15日夕刊)	信濃大衆新聞社			昭和3	5	16	新聞	活版・原紙	4頁	付箋貼付あり。一部破損。
	57	信濃時事 2831号(12日夕刊)	信濃時事新聞社			大正14	1	13	新聞	活版・原紙	4頁	付箋貼付あり。
	58	信濃時事 2840号(21日夕刊)	信濃時事新聞社			大正14	1	22	新聞	活版・原紙	4頁	
	59	北信毎日新聞 5860号(29日夕刊)	北信毎日新聞社			大正14	3	30	新聞	活版・原紙	4頁	付箋貼付あり。
	60	[封筒]							その他	角2封筒	1点	
3		[県会議員・村長時代、LYL裁判、戦後参議院議員選挙(第1回・第2回・第3回・第5回)、資格審査関係、羽生三七自筆史料]										封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	3-2~90番所収。
	2	[封筒]							その他	封筒	1点	3-3~8番所収。
	3	当選証書	長野県知事大村清一	羽生三七	下伊那郡選挙区県会議員当選につき	昭和10	10	4	書類	墨書	1枚	[長野県]封筒で郵送されたもの。3-2~6番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	4	当選告知書	長野県県会議員選挙下伊那郡選挙区選挙長長地方事務官杉原定寿	羽生三七	下伊那郡選挙区県会議員当選につき	昭和10	9	29	書類	ガリ版	1枚	
	5	[封筒]							その他	封筒	1点	3-6~8番所収の封筒。
	6	県会議員当選諾否申立書二関スル件	下伊那郡選挙長	羽生三七		昭和10	9	29	書類	カーボン写・罫紙	1枚	「当選告知書」と記載の茶封筒入り。
	7	一〇地第二六〇八号	長野県総務部	羽生三七	当選承諾書返戻につき	昭和10	10	4	書類	タイプ印書	1枚	「当選告知書」と記載の茶封筒入り。
	8	当選承諾書	羽生三七	長野県知事大村清一		昭和10	9	30	書類	墨書・罫紙	1枚	「当選告知書」と記載の茶封筒入り。
	9	[社会大衆党長野県連合会第四回大会記念大演説会開催ポスター]	社会大衆党長野県支部連合会						その他	縦54.7×横39.3cm	2枚	同一内容、色違い2枚。
	10	県会記録その他	羽生三七			昭和12	7	3	冊子	活版	121頁	組合製糸研究社発行
	11	[封筒]							その他	封筒	1点	
	12	[辞令]	農林省	羽生三七	長野県農地委員会委員を命ず	昭和14	1	4	書類	墨書・罫紙	1枚	「辞令在中」と記載の茶封筒入り。
	13	[辞令]	長野県	長野県会議員羽生三七	長野県経済調査会委員を委託す	昭和14	4	6	書類	墨書・罫紙	1枚	「辞令在中」と記載の茶封筒入り。
	14	[辞令]	長野県	羽生三七	経済更正事務を嘱託す	昭和14	10	18	書類	墨書・罫紙	1枚	「辞令在中」と記載の茶封筒入り。
	15	[辞令]	長野県	長野県嘱託羽生三七	長野県経済調査会蚕糸業部専門委員を命ず	昭和14	10	27	書類	墨書・罫紙	1枚	「辞令在中」と記載の茶封筒入り。
	16	[辞令]	長野県	長野県嘱託羽生三七	長野県経済調査会委員を命ず	昭和14	10		書類	墨書・罫紙	1枚	「辞令在中」と記載の茶封筒入り。
	17	[封筒]							その他	封筒	1点	「羽生村長殿」と記載。3-18、19番所収。
	18	祭文	鼎村長羽生三七		鼎国民学校々庭に祭壇を設け十五柱の村葬の典を挙げ勇士の英魂を吊らわんとす	昭和21	4	21	書類	墨書・和紙	1枚	「羽生村長殿」記載の茶封筒入り。
	19	祭文	鼎村長羽生三七		鼎国民学校に祭壇を設け十七柱の村葬の典を挙げ勇士の英魂を吊らわんとす	昭和21	7	31	書類	墨書・和紙	1枚	「羽生村長殿」記載の茶封筒入り。
	20	[封筒]							その他	封筒	1点	3-21~31番所収。[羽生三七宛前沢弁護士法律事務所]の押印あり。
	21	[LYL事件予審終結決定書謄本]	長野地方裁判所書記芹沢大吉		羽生三七ほか予審終結決定につき	大正13	7	21	書類	ガリ版	18枚綴	
	22	通知書	鼎村兵役優待会長関島喜代	羽生三七	徴兵適齢者賦金の件	大正13	1	4	書類	ガリ版	1枚	
	23	徴兵適齢届出方ノ件通知	鼎村長関島喜代	羽生亀之助	羽生三七の届出につき	大正13	1	4	書類	ガリ版	1枚	
	24	徴兵検査通達書	鼎村役場		羽生三七の徴兵検査につき	大正13	4	24	書類	活版	1枚	
	25	接見許可願	羽生静子	長野地方裁判所飯田支所藤本予審判事	被告人羽生三七への接見につき	大正13	3	27	書類	ガリ版	1枚	
	26	接見許可願	羽生三七父	長野地方裁判所飯田支所藤本予審判事	被告人羽生三七への接見につき				書類	ペン書・罫紙	1枚	草稿。
	27	差入許可願	羽生三七(父又ハ親戚)	長野地方裁判所飯田支所藤本予審判事	被告人羽生三七への差し入れ				書類	ペン書・罫紙	1枚	草稿。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
28		十三(予)四号	長野地方裁判所 飯田支所予審判 事藤本梅一・長野 地方裁判所書記 芦沢大吉		被告人羽生三七の接見 及び書類その他物件授 受の禁止に関して	大正13	3	22	書類	カーボン写 罫紙	1枚	謄本。「裁判所」罫紙。
29		一三(予)第四号	長野地方裁判所 飯田支所予審判 事藤本梅一・長野 地方裁判所書記 芦沢大吉		被告人羽生三七の勾留 継続の決定に関して	大正13	3	22	書類	カーボン写 罫紙	1枚	謄本。「裁判用紙」。
30		一三予第四号	長野地方裁判所 飯田支所予審判 事藤本梅一・長野 地方裁判所書記 芦沢大吉		被告人羽生三七の接見 及び書類その他物件授 受の解禁に関して	大正13	7	17	書類	カーボン写 罫紙	1枚	謄本。「裁判用紙」。
31		一三(予)四号	長野地方裁判所 飯田支所予審判 事藤本梅一・長野 地方裁判所書記 芦沢大吉		被告人羽生三七につき 検事の意見を聴き父亀 之助に責付すこと決定 に関して	大正13	7	19	書類	カーボン写 罫紙	1枚	謄本。「裁判用紙」。
32		[東京控訴院通知]	東京控訴院検事 総長三木猪太郎	羽生三七	羽生三七赦免につき	昭和2	2	7	書類	墨書・ 罫紙	1枚	「東京控訴院検事局」罫 紙。羽生への郵送物。
33		[封筒]							その他	封筒	1点	3-34、35番所収。「結社 事件ニ関スル裁判関係 文書」と記載。
34		公判期日通知書	大審院第二刑事 部	羽生三七	治安警察法違反上告事 件公判につき	大正14	2	27	書簡	活版・ 葉書	1枚	羽生への郵送物。「昭和 研究会」用茶封筒入り。
35		大正十四年(れ)第三四九号 決定書	大審院第二刑事 部裁判長判事豊 島直道・大審院第 二刑事部裁判所 書記鈴木喜一郎		羽生三七ほか被告に対 する治安警察法違反事 件に関する上告の棄却 につき	大正14	4	13	書類	ガリ版・ 罫紙	3枚1 綴	謄本。「裁判所」用紙、羽 生への郵送物。「昭和研 究会」用茶封筒入り。
36		法定選挙運動費用について	長野県会議員選 挙管理委員会委 員長官次佐源次	羽生三七		昭和22	3	26	書類	ペン書・ 罫紙	1枚	「長野県」罫紙。「陸軍」 封筒入り。「昭和22年立 候補」と記載のイン デックス紙片あり。
37		[封筒]							その他	封筒	1点	「本部公認状」と記載の 「国民運動研究会」封 筒。3-38～40番所収。
38		公認証	日本社会党中央 執行委員会	羽生三七	昭和22年度参議院議員 選挙公認候補者の証明	昭和22	3	14	書類	活版	1枚	昭和22年参議院議員選 挙。社会党本部からの 郵送物。
39		本選信第十一報 公選首長 及各議員立候補者通信連絡 費決定通達の件	日本社会党本部 選挙委員会委員 長平野力三	各首長各議員 候補者・各支部 連合会		昭和22	3	15	書類	B5ガリ版	1枚	社会党本部からの郵送 物。
40		公認状	日本社会党中央 執行委員長佐々 木更三	羽生三七	第7回参議院議員選挙 日本社会党公認候補者 の証明				書類	活版	1枚	第7回参議院議員選挙 (昭和40年)。
41		[封筒]							その他	封筒	1点	3-42～44番所収。「(昭 和廿二年四月 昭和廿 八年四月)参議院議員 選挙当選証書」と記載。
42		選第一六二号 参議院議員 地方選出議員当選証書送付 について	長野県会議員選 挙管理委員会委 員長尾崎章一	羽生三七		昭和22	4	28	書類	タイプ 印書	1枚	「長野県」用紙。
43		当選告知	参議院議員選挙 地方選出議員長 野県選挙区選挙 長官次佐源次	羽生三七	昭和22年4月執行参議 院地方選出議員当選に つき	昭和22	4	27	書類	カーボン写 墨書・ 罫紙	1枚	「長野県」罫紙。「陸軍」 封筒入り。
44		[当選告知]	長野県選挙管理 委員会委員長尾 崎章一	羽生三七	参議院議員当選につき	昭和28	4	28	書類	タイプ 印書	1枚	「長野県」罫紙。「陸軍」 封筒入り。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	45	昭和28年参院選立候補の挨拶の原稿	羽生三七		長野地方区羽生三七立候補の挨拶	昭和28			書類	ペン書・原稿用紙	8枚	表題記載の原稿用紙に梱包。
	46	[封筒]							その他	封筒	1点	3-47～49番所収。「参議院(廿八年)選挙公報在中」と朱書。
	47	昭和二十八年四月二十四日執行参議院地方選出議員長野県候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会委員長尾崎章一		羽生「日本の平和と経済再建のために」	昭和28			書類	活版	1枚	
	48	社会新報 355号(臨時増刊)	日本社会党		羽生「私の決意と抱負」	昭和34			新聞	活版	2頁	
	49	[郵便振込通知票]	社会タイムス社						その他	活版	1点	
	50	[封筒]							その他	封筒	1点	3-51～57番所収。「羽生委員長殿 県連」と記載。
	51	農選闘第一号 総力を参議院選挙闘争に結集せよ	日農県連参院選闘委会	各郡市選闘委員長	県連闘争委会委員長・同委員、郡市選闘委員長決定につき	昭和25	5	14	書類	ガリ版	1枚	3-51・52番は両面印刷。「羽生委員長殿」と記載の封筒入り。
	52	選闘九号 地区闘争に万全を期せ	日本社会党長野県連参議院選挙闘争委員会	各郡市選闘委員会	羽生委員長の遊説日程決定につき	昭和25	5	15	書類	ガリ版	1枚	
	53	日農選闘第二号 社会党郡市選闘委と共闘せよ	県連参選闘争委員会	郡市闘争委員長	郡市選闘委員長につき	昭和25	5	16	書類	ガリ版	1枚	
	54	選闘第十号 追撃をゆるめるな!! 青年部は先頭に立て!!	日本社会党長野県連選挙闘争委員会本部・日本社会党長野県連青年部			昭和25	5	18	書類	ガリ版	1枚	
	55	共闘委指令第三号 選挙民との密着戦術をとれ!!	日本社会党県連・日農県連参選共同闘争委員会			昭和25	5	18	書類	ガリ版	1枚	
	56	共闘指令第四号 言論戦術と潜行戦術の組織的統一を図り野溝・棚橋の必勝を期せ!!	参議院選挙共同闘争委員会・日本社会党長野県支部連合会・日本農民組合長野県連合会	各郡市共闘委		昭和25	5	21	書類	ガリ版	1枚	同一2部。
	57	立会演説会日程・会場表							書類	ガリ版	1枚	
	58	[封筒]							その他	長1封筒	1点	3-59～61番所収。表紙に「昭和三十四年六月二日参議院選挙公報其他」と記載。
	59	昭和34年6月2日執行参議院(地方選出)議員選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会		羽生「日本の平和と国民生活安定のために」	昭和34			書類	活版	1枚	羽生は日本社会党公認候補者(長野地方区)。
	60	[参議院議員立候補放送用原稿(第一回用)]	羽生三七			昭和34			書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
	61	[参議院議員立候補放送用原稿(第三回用)]	羽生三七			昭和34			書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
	62	候補者の横顔 号外	新信州日報編輯局同人		「参議候補羽生三七氏 青年、労農大衆の親 県蚕業再編に尽す」	昭和22	4	18	新聞	活版	2頁	
	63	昭和二十二年四月廿日執行参議院地方選出議員候補者経歴公報	長野県会議員選挙管理委員会委員長宮次佐源次		日本社会党公認羽生三七ほか	昭和22			書類	活版	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	64	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参議院県区・大勢決す」抱負を語る 社会党 羽生三七氏	昭和22	4	22	新聞	活版・原紙	2頁	
	65	討議資料 参議院議員候補者(長野地方区)羽生三七	羽生三七		私の主張、経済、外交、略歴	昭和46			書類	活版・三つ折	1枚	
	66	[封筒]							その他	長1封筒	1点	表紙に「当選証書在中」と記載。中身無し。
	67	羽生三七宛 別所和三郎書簡	長野放送局長別所和三郎	羽生三七	参議院議員立候補者政見発表放送の御申込につき御願い	昭和22	3	12	書類	ガリ版	1通	
	68	長野県選挙放送実施規定	長野放送局			昭和22	3	12	書類	ガリ版	2枚	3-67番の同封物。
	69	第二回参議院議員候補選挙放送日時通知書	長野放送局長別所和三郎	羽生三七		昭和22			書類	タイプ印刷	1枚	「長野放送局」押印の茶封筒入り。
	70	参議院議員候補者(長野地方区)羽生三七(放送要旨)	羽生三七						書類	ガリ版	5枚 1綴	
	71	時局講演会			社会党飯伊総支部主催・下伊那地区評後援の講演会案内				その他	活版	1枚	講演会ポスター。羽生も講演者の一人。
	72	羽生参議院議員永年勤続表彰記念講演会			社会党飯伊総支部・下伊那地区評主催の講演会案内				その他	活版	1枚	講演会ポスター。
	73	[封筒]							その他	封筒	1点	3-74~77番所収。表紙に「資格審査申請表控」と記載。
	74	[資格審査申請表控]	羽生三七			昭和22	2	18	書類	鉛筆書	7枚	
	75	履歴書	羽生三七			昭和21	3	30	書類	カーボン写・罫紙	1枚	茶封筒入り。
	76	調査表記載上に注意すべき事項							書類	活版	1枚	
	77	参議院議員候補者放送放送時刻変更のお知らせ	長野放送局長			昭和22	3	26	書類	B5カーボン写・罫紙	1枚	羽生宛郵送物。「長野放送局」罫紙。
	78	[資格審査申請英文控]	羽生三七						書類	鉛筆書	5枚	表紙に「資格英文在中」と記載の封筒入り。
	79	第一二八号 確認書	長野県知事	羽生三七	昭和22年勅令第3号に該当せざることを確認する	昭和22	3	7	書類	B5活版	1枚	表紙に「地方確認証」と記載の封筒入り。
	80	当選人告知書	長野県選挙管理委員会委員長宮沢増三郎	羽生三七	昭和40年7月4日執行参議院議員選挙当選人の通知	昭和40	7	8	書類	B5活版	1枚	表紙に「地方確認証」と記載の封筒入り。
	81	[封筒]							その他	封筒	1点	3-82・83番所収。表紙に「中央 確認証」と記載。
	82	第10308号 確認書	内閣総理大臣	羽生三七	昭和22年勅令第1号に該当する者でないことを確認する	昭和22	3	18	書類	B5活版	1枚	長野県からの郵送物。
	83	羽生三七宛電報	長野県知事	羽生三七	資格審査合格す、立候補届け出で差し支えなし	昭和22	3	19	書類	タイプ印書	1通	3-81番の同封物。
	84	経歴書	羽生三七						書類	活版	1枚	
	85	羽生三七書簡	羽生三七		朝日新聞社刊行の伝記出版記念会その他につき御礼	昭和57	1	1	書類	ペン書・葉書	1通	未投函。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	86	[封筒]							その他	長4封筒	1点	3-87・88番所収。表紙に「二〇年十一月号(信濃)掲載代田君に届けてくれる」など記載。
	87	ものの考へ方に就て	羽生三七			昭和20	11		雑誌	活版・コピー	2枚	「信濃」昭和20年11月号のコピー。
	88	近事片々	羽生三七			昭和7	1	1	新聞	活版・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」のコピー。
	89	今日の視角 羽生三七先生の命日を前に	安江良介			平成4	12	26	新聞	活版・コピー	1枚	「信濃毎日新聞」夕刊のコピー。
	90	昭和研究会 評価割れる戦前の頭脳集団 主宰者・後藤隆之助さんに聞く				昭和56	7	29	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」掲載。
4		[社会大衆党・日本社会党、羽生三七原稿、冊子ほか]										封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	4-2～16番所収。
	2	社会大衆党県支部聯合大会記念大演説会							書類	活版	1枚	弁士の一人に県会議員・羽生三七の名前あり。
	3	[クリアケース]							その他		1点	4-4～10番所収。
	4	発会式通知	自由青年聯盟発起人			大正11	9	20	書簡	ガリ版	1枚	包み紙に所収。
	5	党員証	日本社会党本部	羽生三七	長野県支部連合会下伊那支部所属	昭和22	7	24	書類	活版・ペン書	1枚	
	6	党員証	日本社会党中央本部	羽生三七	長野県支部所属	昭和44	8	30	書類	活版・ペン書	1枚	
	7	Identificattion Card	Secretary General of the House of Councillors	羽生三七		昭和23			書類	タイプ 印書・ペン書	1枚	
	8	国際情勢と日本の永世中立の提唱に関して		羽生三七		昭和23			書類	ガリ版	2枚	表紙に「永世中立宣言に関して」と鉛筆書の「国民運動研究会」用茶封筒入り。
	9	国際情勢と日本の永世中立の提唱に関して		羽生三七		昭和23			書類	ガリ版・ペン書	2枚	1枚は「大東亜研究室」用罫紙にペン書。
	10	[クリアケース]							その他		1点	
	11	レーニズムの理論と実践 スターリン著	羽生三七						書類	ペン書・ノート	36頁	
	12	[安全保障・財政問題等に関するメモ]	羽生三七		核兵器、軍拡、領土、半導体、国債問題				書類	ペン書・原稿用紙・罫紙	12枚	200字詰原稿用紙・「参議院」罫紙。
	13	山川均全集月報(5)	勁草書房		羽生「生涯の進路を決した山川宅の一夜」				冊子	A5活版	8頁	
	14	日本及日本人 3巻2号(臨時増刊) 人物手帖2集	日本新聞社			昭和27	1	20	雑誌	A5活版	31頁	「参議院常任委員長 羽生三七」。
	15	「新興文芸研究会」を組織する羽生三七君							新聞	活版・コピー	1枚	
	16	松濤義塾	松沢武夫			昭和44	9	15	冊子	A5活版	43頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	17	協同主義叢書第二輯 農村協同体への道	国民運動研究会			昭和14	5	9	冊子	活版	38頁	
	18	Communist Manifesto	フリードリヒ・エンゲルス						冊子	活版	56頁	
5		[社会党支部関係]										
	1	党費等納入表	羽生三七	日本社会党県支部	昭和45、46年度納入状況				書類	ガリ版・ペン書	1枚	昭和46年8月納入分まで記載。
	2	[一九五六年二月廿回大会に関するメモ]	羽生三七		スターリン批判、コミンフォルム解散など				書類	ペン書・罫紙	1枚	「日本社会党上伊那支部書記局」罫紙。
選挙関係												
6		[昭和6年長野県議員選挙、昭和40年第7回参議院議員選挙関係]										「羽生選対資料」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	「日本テレビ映画コーポレーション長野県事務所」封筒。6-2～23番所収。
	2	[昭和6年執行長野県議員選挙羽生三七候補の費用に関する覚え]	鼎町有権有志者一同			昭和6	9		書類	墨書・罫紙	5枚	「三秀社印刷」罫紙。
	3	[揮毫]	信濃俳風会	羽生三七	「白雲自去来」と記載	昭和21			書類	墨書・和紙	1枚	
	4	[封筒]							その他	封筒	1点	「放送対論会原稿」と記載、中身なし。
	5	[農民組合及び農村問題について]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	4枚	
	6	[農民組合と農業会について]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
	7	[第3回参議院議員選挙立候補の挨拶]	羽生三七			昭和28			書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
	8	[第3回参議院議員選挙立候補の挨拶(第2回放送原稿)]	羽生三七			昭和28			書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
	9	[第3回参議院議員選挙立候補の挨拶(第3回放送要旨)]	羽生三七			昭和28			書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
	10	経歴書	羽生三七		昭和34年までの経歴				書類	活版	1枚	
	11	羽生選対地区及び団体代表者会議			1965年2月19日の会議次第				書類	ガリ版	1枚	
	12	羽生県総合選対第二号 羽生三七県総合選対主催、各団体及び地区代表者会議の開催通知(出席要請)	羽生三七県総合選対委員長林虎雄・事務局長美谷島樺	地区評議長ほか6名		昭和40	2	6	書類	活版	1枚	
	13	県本部選対第十号 参院地区選対強化の支持(通達)	日本社会党長野県本部選対委員長林虎雄・事務局長美谷島樺	各総支部長		昭和40	1	30	書類	活版	1枚	6-12番の参考資料。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	14	羽生選対資料			1区から4区の得票ほか	昭和40			書類	活版	1枚	同一2部。
	15	第七回参議院議員選挙闘争方針(案)				昭和40			書類	活版	2枚	
	16	羽生選対支部代表者会議資料				昭和40			書類	活版	1枚	
	17	参議院議員通常選挙におけるポスター掲示場設置数一覧表				昭和40			書類	活版	1枚	
	18	参議院(長野選出)議員選挙立会演説会日程表	長野県選挙管理委員会資料			昭和40			書類	活版	1枚	
	19	羽生選対資料				昭和40	6		書類	活版	1枚	
	20	羽生三七宛 申原義直選挙事務所書簡	申原義直選挙事務所	羽生三七	選挙事務所開き 御案内	昭和38	3	30	書簡	活版・葉書	1通	
	21	[日本社会党公認全国区参議院議員候補野上元ポスター]	責任者大出俊						書類	縦41.3×横29.7cm	1枚	掲示責任者は羽生。
	22	[日本社会党公認全国区参議院議員候補者加藤シヅエポスター]	責任者杉山元治郎						書類	縦41.3×横29.7cm	1枚	
	23	[県知事候補者西沢権一郎ポスター]	掲示責任者西権会代表田島清						書類	縦41.3×横29.7cm	1枚	
7		[昭和10年長野県会議員選挙、昭和27、30年総選挙関係ほか]										表紙に「選挙」と朱書の「大東亜研究室」封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒		7-2~46番所収。
	2	選挙運動費用精算書	選挙事務長福島国雄	長野県知事石垣倉治	県会議員候補者羽生三七の選挙運動費用	昭和6	10	7	書類	カーボン写・罫紙	7枚綴	
	3	[県会議員候補羽生三七への投票につき懇願]	鼎村々会議員林倉蔵ほか12名			昭和10	9	23	書類	活版	1枚	
	4	羽生三七政見発表演説会	責任者福島国雄		社会大衆党公認県会議員候補者羽生三七の演説会案内	昭和10	9		書類	活版	1枚	同一2部。
	5	東京日日新聞 飯田号外	共立社新聞社		下伊那郡における県会議員選挙開票結果(羽生三七当選)	昭和10	9	29	新聞	活版	1枚	
	6	[県会議員候補者羽生三七立候補の挨拶]	責任者福島国雄						書簡	活版・葉書	1通	同一2部。
	7	推薦状	鼎町有権者有志一同		羽生三七を鼎村々会議員候補者に推薦	昭和12	3	30	書簡	活版	1枚	同一3部。
	8	昭和拾年度長野県県会議員選挙開票結果				昭和10			書類	活版・ペン書	1枚	「県会得票表」と記載の封筒入り。
	9	大東亜戦争完遂翼賛選挙貫徹に就て	長野県知事永安百治	有権者各位		昭和17	4	19	書類	活版	1枚	
	10	昭和二十七年十月一日執行衆議院議員総選挙長野県第三区候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会委員長矢ヶ崎賢次			昭和27			書類	活版	2頁	
	11	国会議員の選挙等の執行経費の基準額算定資料	全国選挙管理委員会			昭和27	2		書類	B4活版	23頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
12		昭和30年2月27日執行衆議院議員総選挙長野県第3区候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会			昭和30			書類	活版	2頁	7-12・13番は「昭和三十年二月衆議院議員選挙関係新聞」と記載の封筒入り。
13		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		衆院選全候補者確定得票	昭和30			新聞	活版・原紙	4頁	3～6面。
14		[封筒]	長野県	羽生三七					その他	封筒	1点	「選挙公報」送付の封筒。中身なし。
15		議員候補者・選挙事務長・其他運動者ニ対スル警告、注意、懇談協定事項							書類	活版	16頁	
16		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「県議戦開票完了」	昭和10	9	30	新聞	活版・原紙	4頁	1、2、7、8面。
17		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「第廿一回総選挙当選代議士名鑑」	昭和17	5	3	新聞	活版・原紙	2頁	
18		信濃毎日新聞 翼賛選挙版	信濃毎日新聞社		「県下乱戦の跡を顧みる」	昭和17	5	4	新聞	活版・原紙	2頁	
19		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「信州選出の十四氏決る」	昭和21	4	13	新聞	活版・原紙	2頁	
20		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「総選挙を顧みて(一)」	昭和21	4	15	新聞	活版・原紙	4頁	
21		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「総選挙を顧みて(二)」	昭和21	4	16	新聞	活版・原紙	2頁	
22		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「総選挙を顧みて(三)」	昭和21	4	17	新聞	活版・原紙	2頁	
23		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「初代公選知事決定」	昭和22	4	7	新聞	活版・原紙	2頁	
24		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「衆院選投票終る」	昭和22	4	26	新聞	活版・原紙	2頁	
25		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「信州の選良十三氏決定」	昭和22	4	27	新聞	活版・原紙	2頁	
26		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「衆院選町村別得票」	昭和22	4	28	新聞	活版・原紙	2頁	
27		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「社会党の作戦拙劣本県衆院選の性格」	昭和22	4	30	新聞	活版・原紙	2頁	
28		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「人物月旦 県下の新国会議員(1) 羽生三七氏」	昭和22	5	1	新聞	活版・原紙	2頁	
29		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「四月選挙を顧みて(1) 本社支局長座談会」	昭和22	5	4	新聞	活版・原紙	2頁	
30		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参議院議員補欠選挙」	昭和23	2	7	新聞	活版・原紙	2頁	
31		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「各候補者都市別得票表」	昭和23	10	7	新聞	活版・原紙	4頁	
32		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「確定せる本県当選者」	昭和24	1	25	新聞	活版・原紙	4頁	
33		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院選挙 県区各候補者の市町村別得票」	昭和25	6	8	新聞	活版・原紙	4頁	
34		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「知事に林虎雄氏再選す、県議開票結果」	昭和26	5	2	新聞	活版・原紙	4頁	
35		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「県農業委員選挙終る」	昭和26	8	22	新聞	活版・原紙	4頁	
36		朝日新聞	朝日新聞東京本社		「晴れの県議当選者」	昭和22	5	2	新聞	活版・原紙	2頁	長野版A。
37		毎日新聞	毎日新聞社		「新代議士13の横顔」	昭和22	1	25	新聞	活版・原紙	4頁	長野版。
38		毎日新聞	毎日新聞社		「総選挙と次期政権」	昭和24	1	26	新聞	活版・原紙	4頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	39	夕刊 信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「県区各候補得票の内訳」	昭和25	6	6	新聞	活版・原紙	2頁	
	40	毎日新聞	毎日新聞社		「参院選挙の勝敗決す」	昭和25	6	6	新聞	活版・原紙	2頁	
	41	朝日新聞	朝日新聞東京本社		「総選挙を顧みて」	昭和27	10	3	新聞	活版・原紙	8頁	長野版。
	42	飯田の新聞	飯田の新聞社		「第三区の開票結果」	昭和27	10	3	新聞	活版・原紙	2頁	
	43	信州日報	信州日报社		「きまる我等の選良」	昭和27	10	3	新聞	活版・原紙	2頁	
	44	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「決定得票数」	昭和27	10	3	新聞	活版・原紙	4頁	
	45	社会新聞 219号	社会新聞社		「参院選挙社会党自由党の決戦へ」	昭和25	5	20	新聞	活版・原紙	2頁	
	46	社会新聞 222号	社会新聞社		「参院選挙社会党圧倒的に進出」	昭和25	6	10	新聞	活版・原紙	2頁	
8		[選挙後援者名簿類]										「保存 昭和廿八年選挙」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	8-2~5番所収。
	2	羽生君陣中見舞寄附名簿	同級生						書類	墨書	1冊	
	3	羽生三七君後援者			上山区の名簿				書類	墨書・ペン書	1冊	
	4	[寄附金名簿]			竹下隆一ほか				書類	ペン書・ノート	1冊	
	5	[寄附金名簿]			小山鉄蔵ほか				書類	ペン書・ノート	1冊	
	6	[日本社会党各郡支部所在・鼎村ほか名簿]							書類	墨書	1冊	
9		[昭和28年第3回、昭和37年第6回参議院議員選挙関係文書]										「昭和卅七年参院選関係文書」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	9-2~11番所収。
	2	昭和37年7月1日執行参議院(全国選出)議員選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会			昭和37			書類	活版	6頁	
	3	第六回参議院通常選挙党派別得票一覧表	日本社会党長野県連選対委員会事務局			昭和37	7	6	書類	活版	1枚	
	4	第六回参議院選挙郡市・町村別得票結果一覧表	日本社会党長野県連選対委員会事務局			昭和37	7		書類	活版	1枚	
	5	市町村計速報	日本社会党長野県連選対委員会事務局			昭和37			書類	活版	4枚	
	6	討議資料 林虎雄	日本社会党長野県連合会(責任者羽生三七)		林虎雄の経歴	昭和37			書類	活版	1枚	
	7	後援会討議資料 堀込義雄			私の歩んだ道・私の信条・私の抱負・県議推薦の言葉				書類	活版	1枚	堀込は前上田市長。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
10	8	日本の平和と経済再建のために	日本社会党公認 参議院議員候補 者(長野地方区) 羽生三七			昭和28			書類	ガリ版	4枚	
	9	日本の平和と経済再建のために	日本社会党公認 参議院議員候補 者(長野地方区)羽 生三七			昭和28			書類	ペン書・ 原稿用紙	4枚	
	10	日本の平和と経済再建のために	日本社会党公認 参議院議員候補 者(長野地方区)羽 生三七			昭和28			書類	ペン書・ 原稿用紙	5枚	
	11	社会新報 796号(臨時増刊)	日本社会党		羽生「新年を迎えて 国民生活の向上を」	昭和39	1	9	新聞	活版・ 原紙	2頁	同一2部。
		参議院卅七年選挙資料										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	「全日本農民組合連合会農民運動資料」封筒。10-2～12番所収。
	2	昭和37年7月1日執行参議院選挙(全国区・地方区)市町村別得票表	中島巖事務所			昭和37			書類	ガリ版	2枚	
	3	長野県市町村別有権者数一覧表	日本社会党長野県連林虎雄選対			昭和36	12	20	書類	活版	6枚	
	4	昭和31年施行参議院議員選挙得票表							書類	活版	1枚	
	5	昭和34年参議院選挙得票表							書類	活版	1枚	
	6	昭和35.11.20執行衆議院議員総選挙第三区市町村別得票表							書類	活版	1枚	
7	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生「わが党はかく戦う 長野地方区 護憲、中立を訴える」	昭和37	6	7	新聞	活版・ 原紙	4頁	1、2、11、12面。	
8	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院選 候補者を語る(4) 林虎雄氏(社会・新) 林選対委員長羽生三七氏(参院議員)」	昭和37	6	26	新聞	活版・ 原紙	4頁	1、2、11、12面。	
9	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「林氏、小山氏が当選」	昭和37	7	2	新聞	活版・ 原紙	12頁		
10	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「林さん興奮さめやらぬ表情」	昭和37	7	2	新聞	活版・ 原紙	4頁		
11	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「参院の新分野きまる」	昭和37	7	3	新聞	活版・ 原紙	6頁		
12	毎日新聞	毎日新聞社		「四候補の人柄を知るために」	昭和37	6	26	新聞	活版・ 原紙	4頁	長野毎日。1、2、11、12面。	
11		[昭和37年第6回参議院議員選挙公報ほか]										「三十七年参院選公報」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。11-2～4番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	2	昭和37年7月1日執行参議院(地方選出)議員選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会			昭和37			書類	活版	2頁	
	3	昭和40年執行参議院選地方区町村別得票表							書類	活版	1枚	
	4	昭和40年7月執行参議院選全国区町村別得票表							書類	活版	2枚	
12		昭和四〇年参議院選公報・ポスター其他文書										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	12-2~13番所収。
	2	参議院地方選出議員候補者市町村別得票一覧表				昭和34			書類	ガリ版	13枚	
	3	中部日本新聞 号外	中部日本新聞社 飯田支局		「当選の喜び 羽生三七氏」	昭和34	6	3	新聞	活版	1枚	
	4	昭和40年7月4日執行参議院議員通常選挙長野県選出議員候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会		日本社会党公認参議院議員地方区候補者羽生三七「立候補の御挨拶」	昭和40			書類	活版	1枚	
	5	[日本社会党公認参議院議員候補者地方区羽生三七ポスター]	揭示責任者・林虎雄			昭和40			書類	縦41.6×横29.7cm	1枚	同一2部。
	6	市町村計速報			羽生三七ほか各候補者の票数	昭和40			書類	B4ガリ版	4枚	
	7	経歴書	羽生三七		社会運動歴、党歴、公職歴、国外出張				書類	活版	1枚	同一6部。
	8	地方区の当選者	朝日新聞東京本社		当選者に羽生の名前あり	昭和34	6	4	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
	9	朝日新聞	朝日新聞東京本社		「開票結果」(羽生当選)	昭和40	7	6	新聞	活版・原紙	4頁	1、2、11、12面(長野版)。
	10	毎日新聞	毎日新聞社		「参議院の新分野一覧」 「参院地方区確定得票数」	昭和34	6	4	新聞	活版・切抜	3頁	1、2、5面。
	11	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「羽生さん、心づくしの赤飯」	昭和34	6	3	新聞	活版・原紙	4頁	
	12	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「羽生さん 連続四期もトップ」	昭和40	7	5	新聞	活版・原紙	6頁	1、2、3、4、11、12面。
13	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「選ばれた人びと」	昭和40	7	6	新聞	活版・原紙	4頁	3、4、5、6面。	
13		昭和40年選挙テレビ政見放送原稿・公報関係文書										表題表記の封筒に一括。昭和46年参議院議員選挙関係も含む。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	13-2~8番所収。
	2	[SBC信越放送第二回放送原稿]	羽生三七		参議院議員選挙立候補につき	昭和40	6		書類	ペン書・原稿用紙	4枚	「6月18日録音」と記載あり。
	3	昭和40年7月4日執行参議院議員通常選挙長野県選出議員候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会		日本社会党公認参議院議員地方区候補者羽生三七「立候補の御挨拶」	昭和40			書類	活版	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	4	[立候補挨拶状]	羽生三七			昭和46	6	4	書簡	活版・ 葉書	1通	同一2部。未投函。
	5	堀川源雄宛 羽生三七書簡	羽生三七	堀川源雄	選挙事務所びらきのご案内				書簡	活版・ 葉書	1通	未投函。
	6	公報用原案	羽生三七		立候補につき所信の一端				書類	B4青焼 コピー	2枚	
	7	選挙公報掲載申請についての注意事項	長野県選挙管理委員会						書類	活版	2枚	「選挙公報掲載文原稿用紙」貼付。
	8	選挙公報掲載文原稿	長野県知事候補 相沢武雄						書類	活版・ コピー	1枚	
14		四〇年選ポスター見本										表題表記の封筒に所収。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	14-2番所収。
	2	[日本社会党公認羽生三七ポスター(見本)]							書類	縦43.9× 横31.2cm	1枚	
15		昭和四三年参院選資料										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	15-2～6番所収。
	2	参議院議員全国区候補別得票結果表			林虎雄ほか各候補者の市町村別得票数(飯田市ほか)	昭和43	7	7	書類	B4ガリ版	1枚	同一2部。
	3	参議院議員全国区得票結果表(政党別)			社会党ほか各党別市町村得票数(飯田市ほか)	昭和43	7	7	書類	B4ガリ版	1枚	
	4	参議院議員全国区政党別得票パーセント			社会党ほか各党別市町村得票割合(飯田市ほか)	昭和43	7	7	書類	B4ガリ版	1枚	
	5	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「長野地方区市町村別得票・投票率一覧」	昭和43	7	8	新聞	活版・ 原紙	4頁	3、4、9、10面。
	6	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院の新分野きまる」	昭和43	7	9	新聞	活版・ 原紙	4頁	1、2、13、14面(中南信版)。
16		四十三年参議院公報・ポスター										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。16-2～3番所収。
	2	昭和43年7月7日執行参議院長野県選出議員選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会		日本社会党公認参議院議員候補者林虎雄立候補	昭和43	7	7	書類	活版	1枚	
	3	[日本社会党公認参議院議員候補者地方区羽生三七ポスター]	掲示責任者・林虎雄						書類	縦41.9× 横29.9cm	1枚	
17		四六年参院選公報・ポスター等										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。17-2～6番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	2	昭和46年6月27日執行参議院長野県選出議員選挙公報	長野県選挙管理委員会		立候補に際しての羽生の所信と「政策の概要」「経歴」を掲載	昭和46			書類	活版	1枚	
	3	昭和46年6月27日執行参議院全国選出議員選挙公報	長野県選挙管理委員会			昭和46			書類	活版	6頁	
	4	[日本社会党公認参議院議員候補者(地方区)羽生三七ポスター]	掲示責任者・下正一						書類	縦41.7×横39.8cm	1枚	同一2部。
	5	討議資料 参議院議員候補者(長野地方区)羽生三七	羽生三七		私の主張、経済、外交、略歴	昭和46			書類	活版・三つ折	1枚	
	6	[立候補の挨拶原稿]	羽生三七		立候補に際して所信の一端				書類	手書・原稿用紙・コピー	6枚	
18		第一回参院選の時の陣中見舞名簿・S. 57年の出版記念(東京)の名簿										表題表記の封筒に一括。表題以外の資料を含む。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「南信州新聞社」封筒。18-2～14番所収。
	2	昭和廿二年四月(参議院選挙)寄附者芳名簿	羽生三七			昭和22	4		書類	ペン書・ノート	1冊	
	3	[名簿]							書類	ペン書・ノート	1冊	
	4	石川真澄著「ある社会主義者羽生三七の歩いた道」出版記念会名簿				昭和57	4	15	書類	ペン書・ノート	1冊	
	5	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費として	昭和53	8	11	書類	活版	1枚	
	6	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費として	昭和53	12	24	書類	活版	1枚	
	7	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費及び新報代	昭和54	8	12	書類	活版	1枚	
	8	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費として	昭和54	12	16	書類	活版	1枚	
	9	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費・新報代・支部費	昭和55	10	13	書類	活版	1枚	
	10	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費等	昭和55	12	29	書類	活版	1枚	
	11	領収証	佐々木重光	羽生三七	党費・支部費・新報代	昭和56	12	2	書類	活版	1枚	
	12	領収証	日本社会党飯伊総支部	羽生三七	4、5月分特別党費	昭和43	5	2	書類	活版	1枚	
	13	領収書	日本社会党長野県本部財務委員長高橋恭男	小山一平(総支部)	陣中見舞として	昭和52	5	15	書類	活版	1枚	
	14	領収証	日ソ親善協会	羽生三七	賛助会費として	昭和53	10	12	書類	活版	1枚	
19		選挙関係										表題表記の封筒に一括。昭和28年、34年、40年参院選関係ほか。
	1	[封筒]							その他	角5封筒	1点	19-2～13番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	2	参議院議員候補者の録音について	長野放送局・松本放送局			昭和28	3	24	書類	ガリ版	1枚	
	3	長野県参議院議員選挙放送一覧				昭和28	4	24	書類	ガリ版	1枚	
	4	公認証	日本社会党中央執行委員長鈴木茂三郎	羽生三七	第5回参議院議員選挙の公認候補者として	昭和34			書類	活版	1枚	
	5	推薦状	昭和電工大町労働組合執行委員長長荒木荒重	日本社会党中央執行委員長河上文太郎	参議院議員選挙長野地区推薦候補として	昭和39	11	6	書類	墨書	1枚	
	6	推薦決定書	全国金属労働組合中央執行委員長椿繁夫	羽生三七	参議院議員選挙長野地区推薦候補として	昭和39	12	10	書類	タイプ印刷	1枚	羽生宛の郵送物。
	7	羽生三七書簡	羽生三七		7月4日参議院議員選挙立候補にあたり激励の祝電、陣中見舞等に対する御礼	昭和40	6		書簡	墨書・印刷	1通	同一2部。
	8	推薦依頼状	鼎町勤労者協議会会長関島一郎		参議院議員通常選挙長野県区候補者として羽生三七を推薦決定につき	昭和40	5		書類	活版	1枚	
	9	[羽生三七鼎町参議院議員選挙対策委員会解散の案内]	鼎町参議院議員対策委員長福沢祐三						書類	タイプ印刷	1枚	
	10	[長野県下会合出席記録]	羽生三七		講演会、演説会、県評ほか				書類	ペン書・罫紙	5枚	「参議院」罫紙。
	11	昭和34年4月23日執行長野県知事選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会		日本社会党友党友県知事候補者西沢権一郎の責任者は羽生	昭和34			書類	活版	1枚	同一2部。
	12	羽生哲夫、頼子、結婚披露御席順							書類	ガリ版	1枚	同一2部。
	13	死亡届	羽生三七		羽生みつへ死亡につき	昭和36			書類	活版・ペン書	1枚	
20		[昭和40年第7回参議院議員選挙関係ほか]										「若き日の想ひ出の原稿」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。20-2〜7番所収。
	2	昭和四〇年参議院選挙陣中見舞芳名録			金額、氏名、住所	昭和40			書類	ペン書・ノート	1冊	
	3	陣中見舞受付(長野事務所分)			氏名、住所、金額				書類	ペン書・罫紙	3枚	20-2番の挿入物。
	4	昭和40年参議院選挙に候補自動車行動中協力を得た人々の名簿			氏名、住所	昭和40			書類	ノート	1冊	内表紙に「昭和40年6月施行第7回参議院選挙羽生三七支援者サイン帖」と記載あり。
	5	[封筒]							その他	角4封筒	1点	表紙に「健康手帳 参議院」と朱書あり。20-6〜8番所収。
	6	健康手帳	参議院議員医務室	羽生三七		昭和44	5	19	書類	活版	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	7	健康手帳	参議院議員医務室	羽生三七		昭和48	6	6	書類	活版	1枚	
	8	健康手帳	参議院議員医務室	羽生三七					書類	活版	1枚	
	9	時事解説 8201号	時事通信社		中嶋嶺雄「外交時評 木村新外相への期待」に羽生の記事(中嶋の送付文書込みあり)	昭和49	8	1	雑誌	B5活版	8頁	
21		[参議院議員候補者(長野地方区)羽生三七立候補挨拶]	羽生三七						書類	ガリ版	4枚	
22		羽生三七さん参議院選挙立候補について御願	世話人	各位		昭和46	6	2	書類	手書・コピー	8枚	
23		昭和二十五年六月四日執行参議院通常選挙地方選出議員候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会委員長矢ヶ崎賢次			昭和25			書類	活版	1枚	
24		昭和二十八年四月二十四日執行参議院全国選出議員候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会委員長尾崎章一			昭和28			書類	活版	10頁	
25		昭和31年7月8日執行参議院(長野県選出)議員選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会			昭和31			書類	活版	1枚	
26		昭和43年7月7日執行参議院全国選出議員選挙候補者選挙公報	長野県選挙管理委員会			昭和43			書類	活版	5頁	
27		[日本社会党公認羽生三七ポスター(見本)]							書類	縦44.0×横31.7cm	1枚	
28		選挙運動の費用、選挙運動に関する収入の届出及び公開について	長野県会議員選挙管理委員会・長野県						書類	活版	1枚	
29		部内討議資料 漆原恒実			羽生「うるし原君を推薦する」				書類	活版	1枚	
30		討議資料 社会党県議候補 漆原恒実のすべて			羽生「ねばり強く行動的な政治家」				書類	活版	1枚	
31		推薦資料 村沢牧			羽生「推薦の言葉」				書類	活版	1枚	
32		[日本社会党公認参議院議員候補者(長野地方区)棚橋小虎ポスター]	責任者羽生三七						書類	縦38.2×横26.3cm	1枚	
33		[包み紙]							その他	墨書・和紙	1枚	「選挙関係」と記載あり。
34		[昭和31年第4回参議院議員選挙、昭和30年・昭和33年衆議院議員総選挙、戦前・戦後新聞史料]										「新聞記事在中」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	34-2～38番所収。
	2	棚橋小虎第二回(昭和25年)参議院議員選挙郡市町村別得票表(町村は昭和31.5.1現在)				昭和31			書類	ガリ版	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	3	県下参院選にみた各党得票率比較				昭和31			書類	ガリ版	1枚	
	4	地方区棚橋小虎候補各支部割当得票目標数				昭和31			書類	ガリ版	1枚	同一2部。
	5	昭和28年4月羽生三七、黒田新一郎得票数(地方区)				昭和31			書類	ガリ版	1枚	同一2部。
	6	地方区棚橋小虎候補選対機構図				昭和31			書類	ガリ版	1枚	同一2部。
	7	参議院議員選挙地方区立会演説会表				昭和31			書類	ガリ版	1枚	同一2部。
	8	野溝勝昭和25年度町村別(合併后)得票数				昭和31			書類	ガリ版	1枚	
	9	全国区野溝勝候補各支部割当得票目標数				昭和31			書類	ガリ版	1枚	
	10	野溝勝昭和25年度町村別(合併后)得票数				昭和31			書類	ガリ版	1枚	
	11	第一回野溝勝選挙対策委員会報告				昭和31			書類	ガリ版	2枚	
	12	県連報第十五号 各支部労働部長会議報告	日本社会党長野 県連合会労働部 長藤森諫	顧問・役員・執 行委員・支部 長・労働部長		昭和31	6	6	書類	ガリ版	1枚	
	13	参議院議員選挙県連選対機構図				昭和31			書類	ガリ版	1枚	地方区棚橋小虎ほか。
	14	昭和30.2.27執行衆議院総選挙得票表							書類	ガリ版	4枚	
	15	昭和33年5月22日執行衆議院議員総選挙長野県第3区候補者選挙公報	長野県選挙管理 委員会			昭和33			書類	活版	1枚	
	16	東京日日新聞 号外	東京日日新聞社		「事変下の新装共産党 検挙」(自由青年聯盟に 関する記事あり)	昭和12	12	22	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	17	東京日日新聞	東京日日新聞社			昭和17	1	1	新聞	活版・ 原紙	8頁	
	18	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「労働農民党は如 何なる任務の負担者 か?」	昭和3	1	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	3、4、13、14面。
	19	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「時代・解放戦士- 身辺雑記めいた春草漫 語」	昭和4	1	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	5、6、11、12面。
	20	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「それでいゝか?」	昭和5	1	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	3、4、13、14面。
	21	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「近事片々」	昭和7	1	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	1、2、7、8面。
	22	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「青年」	昭和8	1	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	1、2、7、8面。
	23	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「嵐の時代の展望」	昭和9	1	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	3、4、5、6面。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	24	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「所謂『不況対策』の検討」	昭和9	10	15	新聞	活版・原紙	4頁	
	25	信濃大衆新聞	信濃大衆新聞社		羽生「近事片々」	昭和10	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	1、2、7、8面。
	26	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「新春号を飾る二大座談会 第一予告 事変下の信州産業座談会」	昭和12	12	22	新聞	活版・原紙	4頁	
	27	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「事変下の信州産業座談会(1)」	昭和13	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	5、6、7、8面。同一2部。
	28	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「事変下の信州産業座談会(2)」	昭和13	1	3	新聞	活版・原紙	4頁	3、4、5、6面。
	29	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「事変下の信州産業座談会(7)」(羽生の発言あり)	昭和13	1	8	新聞	活版・原紙	4頁	3、4、5、6面。
	30	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「事変下の信州産業座談会(8)」(羽生の発言あり)	昭和13	1	9	新聞	活版・原紙	4頁	3、4、5、6面。
	31	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「事変下の信州産業座談会(9)」(羽生の発言あり)	昭和13	1	10	新聞	活版・原紙	4頁	3、4、5、6面。
	32	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生出席「本社座談会 民主々義政治の具体化(4)」	昭和20	11	26	新聞	活版・原紙	2頁	
	33	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「総選挙、開票すすむ」	昭和33	5	23	新聞	活版・原紙	4頁	1、2、7、8面。
	34	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生「新春随想 成人の日に思う」	昭和43	1	18	新聞	活版・原紙	4頁	1、2、7、8面。同一2部。
	35	産業組合新聞	長野県産業組合青年聯盟		「一問一答 羽生社大県議」「二代議士五県議」(羽生の名前あり)	昭和11	8	1	新聞	活版・原紙	4頁	
	36	南信時事	南信時事新聞社		羽生「外交政策への希望」	昭和28	1	2	新聞	活版・原紙	2頁	
	37	朝日新聞	朝日新聞東京本社		「開票結果」	昭和30	3	1	新聞	活版・原紙	2頁	11、12面。長野版。
	38	朝日新聞 夕刊	朝日新聞東京本社		「参院予算委ひらく」(羽生の発言掲載)	昭和43	3	19	新聞	活版・原紙	4頁	1、2、11、12面。
参議院関係												
35		参議院改革問題資料										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。35-2～11番所収。
	2	参議院運営の改革に関する意見書	参議院問題懇談会			昭和46	9	23	冊子	A5活版	12頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	3	参議院運営の改革に関する意見一覧	参議院事務局			昭和46	10	8	冊子	A5活版	91頁	
	4	参議院運営の改革に関する各会派の提案(参議院問題懇談会答申を含む)一覧表(要約)				昭和46	10	8	書類	活版	4枚	
	5	参議院改革案	日本社会党参議院改革問題特別委員会			昭和44	10	9	書類	B4タイプ印刷・コピー	2枚	
	6	両院協議会に付された案件							書類	手書・野紙・青焼コピー	6枚	「参議院」野紙。
	7	参議院議員発議で成立した主な法律案一覧							書類	手書・野紙・青焼コピー	3枚	「参議院」野紙。
	8	[第10回国会可決法案一覧]							書類	B5手書・野紙・青焼コピー	1枚	「参議院」野紙。
	9	選挙を終わって	河野謙三				7	7	書類	B5タイプ印刷・コピー	5枚	
	10	両院協議会一覧表							書類	A4活版・コピー	2枚	58～61頁部分。
	11	両院協議会成案一覧表							書類	A4活版・コピー	4枚	591～596頁部分。
36		参議院の在り方等の問題資料										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。36-2～19番所収。
	2	国会正常化に関する私案	衆議院議員茜ヶ久保重光			昭和41	3	15	書類	B5タイプ印刷・コピー	24頁	
	3	議会制民主主義を守るために	日本社会党議会制度調査特別委員会			昭和44	9	24	書類	B4タイプ印刷・コピー	5枚	
	4	申し入れ	参議院改革五派連絡小委員会代表小柳勇・多田省吾・田淵哲也・渡辺武・市川房枝	参院自民党幹事長		昭和44	10	29	書類	B4手書・コピー	2枚	
	5	参議院を良識の府とするための改革案	公明党			昭和46	7	2	書類	B4タイプ・コピー	5枚	
	6	参議院運営の民主的改革についての提案	日本共産党国会議員団			昭和46	7	14	書類	B4タイプ・コピー	2枚	
	7	参議院改革特別委員会についての御案内	日本社会党参議院議員団会長加瀬完			昭和46	8	12	書類	B4手書・野紙・コピー	1枚	「参議院」野紙。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	8	参議院の自主性確立をめざして(草案)				昭和46	9	9	書類	B4手書・野紙・コピー	11枚	「参議院」野紙。
	9	参議院において否決した法律案一覧				昭和43	4	11	書類	B4手書・野紙・青紙コピー	2枚	「参議院」野紙。
	10	本院において修正議決した主な法律案一覧				昭和43	4		書類	B4手書・野紙・青紙コピー	6枚	「参議院」野紙。
	11	参議院の機能を発揮した顕著なる事例							書類	B4手書・野紙・青紙コピー	3枚	「参議院」野紙。
	12	緊急集会において議決した案件一覧							書類	B4手書・野紙・青紙コピー	1枚	「参議院」野紙。
	13	国会の会期関係一覧表							書類	活版・コピー	2枚	2～4頁部分。
	14	本会議各派登壇回数など	羽生三七						書類	B5ペン書	7枚	表題表記の封筒入り。
	15	[羽生三七自筆メモ]	羽生三七		国会正常化、議会政治の本質など				書類	B5鉛筆・ペン書・野紙	3枚	「参議院」野紙。裏書もあり。
	16	[名簿]			河野義克(東京市政調査会理事長)ほか7名				書類	B4手書・野紙・コピー	1枚	「参議院」野紙。
	17	参議院を見直す 0.5院というけれど 1～6				昭和43	5	1	新聞	活版・切抜	6枚	「朝日新聞」5月1日～8日。「A」とペン書あり。
	18	政治 二院制度の必要性 参院選挙を再出発の機会に	新井達夫			昭和43	5	13	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。「M」とペン書きあり。
	19	参議院の断面 上・中・下				昭和43	5	2	新聞	活版・切抜	3枚	「日本経済新聞」5月2、3、5日。「日経」とペン書あり。
37		米麦の統制廃止に対する反対意見	参議院議員農林委員長羽生三七ほか7名	ジョセフ・ドッチ ウィリヤム・エフ・マーカット		昭和26	11	6	書類	B4タイプ印刷	12頁	
38		代表質問要旨	日本社会党羽生三七						書類	B4ガリ版	2枚	同一2部。
国会・県会議事録												
39		本会議録	大蔵省印刷局		参議院会議録、羽生の質問あり	昭和22	5	22	書類	A4活版	1綴	昭和22年5月22日より47年2月1日までの官報号外を綴る。
40		第一回国会 参議院会議録	印刷局			昭和22	6	24	書類	A4活版	1綴	昭和22年6月24日から10月21日までの官報号外を綴る。
41		第七回国会(参議院)予算委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和25	2	1	書類	A4活版	1綴	昭和25年2月1日から3月27日までの会議録を綴る。
42		予算委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和25	3	22	書類	A4活版	1綴	昭和25年3月22日から44年3月29日までの会議録を綴る。
43		第九回国会・第拾回国会 予算委員会々議録 経済安定	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和25	12	1	書類	A4活版	1綴	昭和25年12月1日から9日までの会議録を綴る。
44		第二十四回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和30	12	21	書類	A4活版	1綴	昭和30年12月21日から31年3月23日までの会議録を綴る。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
45		第二十五、六、七回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和31	11	20	書類	A4活版	1綴	昭和31年11月20日から32年5月13日までの会議録を綴る。
46		第三〇回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和33	11	4	書類	A4活版	1綴	
47		第三十一回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和33	12	11	書類	A4活版	1綴	昭和33年12月11日から34年3月23日までの会議録を綴る。
48		第38回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和35	12	26	書類	A4活版	1綴	昭和35年12月26日から36年3月31日までの会議録を綴る。
49		第43回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和38	3	4	書類	A4活版	1綴	昭和38年3月4日から6月10日までの会議録を綴る。
50		第四十三回国会 参議院 予算委員会会議録第二十号	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和38	6	10	書類	A4活版	24頁	
51		第46回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和39	3	4	書類	A4活版	1綴	昭和39年3月4日から25日までの会議録を綴る。
52		第48回国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和40	3	9	書類	A4活版	1綴	昭和40年3月9日から29日までの会議録を綴る。
53		第49国会 参議院 予算委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和40	7	31	書類	A4活版	1綴	昭和40年7月31日から8月11日までの会議録を綴る。
54		第51回国会 参議院 予算委員会会議録-昭和四十年 度補正予算(第三号)-	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和40	12	25	書類	A4活版	1綴	昭和40年12月25日・26日の会議録を綴る。
55		第51回国会・52国会 参議院 予算委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和40	12	25	書類	A4活版	1綴	昭和40年12月25日から41年4月1日までの会議録を綴る。
56		第55回国会・56・59 参議院 予算委員会会議録(四十二年 度予算審議)	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和42	5	4	書類	A4活版	1綴	昭和42年5月4日から12月21日までの会議録を綴る。
57		四五年-四六年 予算委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和45	3	23	書類	A4活版	1綴	昭和45年3月23日から46年11月1日までの会議録を綴る。
58		四七年-四九年 予算委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和47	4	4	書類	A4活版	1綴	昭和47年4月4日から49年4月9日までの会議録を綴る。
59		参議院 昭和二八年-四二年 外務委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和28	6	30	書類	A4活版	1綴	昭和28年6月30日から42年9月6日までの会議録を綴る。
60		三六年 外務委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和36	2	28	書類	A4活版	1綴	昭和36年2月28日から9月12日までの会議録。
61		参議院 四四年-五二年六月九日マデ 外務委員会会議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和44	4	24	書類	A4活版	1綴	昭和44年4月24日から52年6月9日までの会議録を綴る。
62		第八十回国会 参議院外務委員会会議録第二十号	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和52	6	9	書類	A4活版	32頁	「参議院における自分の最後の発言」と朱書あり。
63		第八回国会 参議院 予算経済安定委員会々議録 附農林委員会々議録	参議院事務局		羽生の発言あり	昭和25	7	20	書類	A4活版	1綴	昭和25年7月20日から26日までの会議録を綴る。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
64		昭和廿二年八月 第一回国 会 農林及地方制度 参議院 委員会議録 上	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和22	8	1	書類	A4活版	1綴	昭和22年8月1日から12 月7日までの会議録を 綴る。
65		第二回国会 参議院農林・治 安委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和23	1	29	書類	A4活版	1綴	昭和23年1月29日から7 月5日までの会議録を 綴る。
66		第六・七回国会 参議院 議 院運営委員会々議録	参議院事務局		羽生の発言あり	昭和24	11	8	書類	A4活版	1綴	昭和24年11月8日から 12月5日までの会議録 を綴る。
67		第十四国会閉会後の参議院 緊急集会々議録	参議院事務局		官報号外 参議院緊急 集会会議録第一号	昭和27	8	31	書類	A4活版	1綴	
68		第五十回国会 参議院 日韓 条約等特別委員会々議録	参議院事務局		羽生の質問あり	昭和40	11	22	書類	A4活版	1綴	昭和40年11月22日から 12月4日までの会議録 を綴る。
69		四六年十二月 沖縄返還協 定特別委	参議院事務局		参議院沖縄返還協定特 別委員会会議録第二 号、羽生の質問あり	昭和46	12	8	書類	A4活版	1綴	
70		第九十三回国会 衆議院 安 全保障特別委員会議録第四 号	参議院事務局			昭和55	11	5	書類	A4活版	32頁	
71		昭和十年第五十八回 長野 県通常県会議事日誌 附昭 和十年六月・十月臨時県会 議事日誌			羽生の発言あり	昭和10			書類	活版	1021 頁	
72		昭和十年第五十八回 長野 県通常県会決議録 附昭和 十年六月臨時県会決議録 昭和十年十月臨時県会決議 録				昭和10			書類	活版	465頁	長野県臨時県会決議録 95頁あり。
73		昭和十一年第五十九回 長 野県通常県会議事日誌			羽生の発言あり	昭和11			書類	活版	890頁	
74		昭和十一年第五十九回 長 野県通常県会決議録				昭和11			書類	活版	490頁	
75		昭和十二年第六十回 長野 県通常県会議事日誌			羽生の発言あり	昭和12			書類	活版	693頁	「長野県臨時県会議事 日誌」合綴。
76		昭和十二年第六十回 長野 県通常県会決議録 附昭和 十二年八月臨時県会決議録 昭和十二年十月臨時県会決 議録				昭和12			書類	活版	494頁	「長野県臨時県会決議 録」合綴。
77		昭和十三年第六十一回 長 野県通常県会議事日誌			羽生の発言あり	昭和13			書類	活版	788頁	
78		昭和十三年第六十一回 長 野県通常県会決議録				昭和13			書類	活版	564頁	
外交関係												
79		昭和廿八年欧米視察関係										表題表記の封筒に一 括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「大東亜研究室」封筒。 79-2～13番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	2	欧米視察関係名簿	羽生三七		仙寿楼における壮行会出席者名簿	昭和28	8	25	書類	B5ペン書・ノート	1冊	
	3	[MSA援助を受けている国とその種類につき覚書]	調査立法考査局 政治部外務課・担当 三谷弘		イギリス・フランス・西ドイツ・イタリア・スウェーデン・デンマーク・オランダ・スイス・インドについての調査結果	昭和28	8	18	書類	B4タイプ 印書	1枚	
	4	貿易収支	調査立法考査局 経済部一般経済課・担当 内山脩策		アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・スウェーデン・オランダ・スイス・インドの輸出入表	昭和28	8	18	書類	B4タイプ 印書	1枚	
	5	主要各国の政党の議席数	担当 古畑時生		アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ドイツ連邦共和国・ドイツ民主共和国・イタリア・スイス・オランダ・デンマーク・スウェーデン・インドの政党議席数及び備考				書類	B4ペン書・ 統計用紙	4枚	「国立国会図書館統計用紙」。世界年鑑1953年版から作成したもの。
	6	飯田の新聞	飯田の新聞社		「国会を終えて(一)羽生参議に聞く」	昭和28	8	15	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	7	飯田の新聞	飯田の新聞社		羽生「ロンドン便り」(1)	昭和28	10	3	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	8	飯田の新聞	飯田の新聞社		羽生「ベートーベンの生家を訪う フランクフルトにて」	昭和28	10	16	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	9	飯田の新聞	飯田の新聞社		羽生「イタリー便りローマにて」(2)	昭和28	10	31	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	10	飯田の新聞	飯田の新聞社		「産業革命近し 羽生参議の帰朝談」	昭和28	11	11	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	11	朝日新聞	朝日新聞社		「生糸は混織に有望 羽生氏の欧米視察第一信」	昭和28	9	16	新聞	活版・ 原紙	2頁	3・4頁分。
	12	朝日新聞	朝日新聞社		羽生「欧米めぐりの旅から 英国は“いぶし銀”の味 第二信」	昭和28	10	4	新聞	活版・ 原紙	4頁	3～6頁分。
	13	欧米巡りの旅先から 信州を語るドイツの教授 第三信	羽生三七			昭和28	10	17	新聞	活版・ 切抜	1枚	「朝日新聞」。
80		[欧米・ソ連視察日記・自筆原稿]										封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	80-2～11番所収。
	2	外国視察	羽生三七		昭和28年8月25日から10月27日までの日記	昭和28	8	25	日記	B5ペン書・ ノート	1冊	
	3	欧米視察日記	羽生三七		昭和28年8月25日から10月27日までの日記	昭和28	8	25	日記	B5ペン書・ ノート	1冊	80-2番をもとに改稿・ 清書したもの。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	4	訪ソ日誌	羽生三七		昭和39年6月27日から8月2日までの日記	昭和39	6	27	日記	A5ペン書・ノート	1冊	
	5	[ソ連訪問・会談予定メモ]	羽生三七						書類	ペン書・罫紙	1枚	「参議院」罫紙、80-4番に挿入。
	6	[ソ連訪問・会談予定メモ]	羽生三七						書類	ペン書・罫紙	1枚	80-4番の挿入物。
	7	日ソ親善協会とソ連の対外友好文化交流団体連合会ソ日協会との文化協力計画とりきめのための訪ソメモ	羽生三七		昭和47年6月19日から6月24日までのメモ・会話	昭和47	6	18	日記	A5ペン書・ノート	1冊	
	8	社会新報 775号(臨時増刊)社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央機関紙		羽生「ソ連・東欧訪問記」	昭和39	8	23	新聞	活版・原紙	8頁	
	9	朝日 “私と社会党の30年”の記事のためにメモ, 77(S52)3/26~5/18順天堂入院	羽生三七			昭和52			書類	B5ペン書・ノート	1冊	
	10	[羽生原稿]	羽生三七		「徳田救一氏宅の一夜」「尾行」「監視」「予審廷への道」「妻の死と支部大会」	昭和48	2	2	書類	B5ペン書・原稿用紙	29枚	「コクヨ」原稿用紙。
	11	対談 河野謙三・羽生三七 党利党略から離脱を							新聞	活版・切抜・コピー	1枚	
81		[東欧歴訪記、ベトナム問題書類]										表紙に「ル・モンド紙邦訳論文 ベトナム問題(昭和同人)及び昭和同人掲載講演(ベトナム問題)速記」とペン書・鉛筆書があり、「予算参考資料」印がある封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒、81-2~6番所収。
	2	訪欧、米旅行日誌	羽生三七		昭和41年8月24日から9月30日までの日記	昭和41	8	24	日記	B5ペン書・ノート	1冊	
	3	社会新報 775号(臨時増刊)社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央機関紙		羽生「ソ連・東欧訪問記」	昭和39	8	23	新聞	活版・原紙	8頁	
	4	昭和同人 10巻10号	昭和同人会		羽生「ソ連・東欧の印象-変貌の姿と平和への願望に触れて-」	昭和39	10	1	雑誌	A5活版	37頁	
	5	昭和同人 13巻1号	昭和同人会		羽生「ベトナム問題は如何にあるべきか-欧米視察からえたもの-」	昭和42	1	1	雑誌	A5活版	30頁	同一2部。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
		6 le mond	Philippe Devillers		ベトナム問題における米国の責任を論じた PHILIPPE DEVILLERS論文要旨和訳、原文あり	昭和41	9	16	書類	B5手書・罫紙・コピー	15頁	「外務省」罫紙。表紙に「羽生」とペン書あり。
82		講和関係資料										表題表記の表紙あり。82-1～4番一括綴り。
	1	情報通信 35号 社会週報特集	日本社会党本部			昭和26	9	25	雑誌	B5活版	32頁	「外務委員会報告「講和論争」」に羽生の発言あり。
	2	情報通信 36号 社会週報特集	日本社会党本部			昭和26	10	20	雑誌	B5活版	12頁	
	3	果たして講和は独立と平和を約束するか-同志浅沼稲次郎君の誤謬-	岡田宗司			昭和26	10		書類	B5ガリ版	10頁	
	4	社会主義 号外	社会主義協会			昭和26	10	13	雑誌	A5活版	15頁	
	5	講和後の新経済政策案	日本社会党政策審議会			昭和26	9	19	書類	B5ガリ版	3頁	82-4番の挿入物。
83		外交に関する資料										表題表記の表紙あり。
	1	米国対日講和条約草案							書類	B4ガリ版	6頁	ワシントン4月5日発、訳文は朝日新聞のものを採用し、適宜外務省条約局、毎日新聞掲載の訳文を下欄に摘記。
	2	「ポツダム」宣言ノ受諾ニ伴ヒ発スル命令ニ関スル件(昭和二十一年勅令 第五百四十二号)			憲法・国会・国家行政・司法・警察・財政・農業関係	昭和26	5	1	書類	B4ガリ版	6頁	
	3	外交参考資料 対日講和に関する重要資料抜粋(3)			「ダレス特使のフィリッピンに於ける声明要旨と記者会見」「ダレス特使のオーストラリアに於ける濠及び新西蘭政府外相との共同声明要旨」「ダレス特使の帰米後の記者会見に於ける声明要旨」	昭和26			書類	B4ガリ版	3頁	
	4	対日講和に関する重要資料抜粋(1)			「平和条約に関する声明といきさつ」「中国、三国へ提案」「ソ、華の文書往復」他				書類	B4ガリ版	5頁	
	5	外委参考資料 対日講和に関する重要資料抜粋(2)			「日本の非軍事化と経済自立に関するロイヤル長官の演説」他				書類	B4ガリ版	3頁	
	6	外交委員会資料 外務省条約局条約課訳 対日平和条約の草案(UP電仮訳)							書類	B5ガリ版	8頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	7	外交委員会資料 ソ連の対米覚書全文							書類	B5ガリ版	8頁	
	8	外交委員会資料 米対ソ回答覚書全文							書類	B5ガリ版	8頁	
	9	日本経済協力問題にともなう総合経済政策資料の三	社会党政務調査部		「総合経済政策の構想」「合理化対策」「東南アジア開発の構想」「国民所得と特需超過利得について」				書類	B5ガリ版	13頁	
	10	外交委員会報告(要綱)			「外交委員の活動概要」「講和問題の進展状況」「党活動の効果」「当面の改題」「講和問題及び党外交委員会活動の推移一覧表」				書類	B4ガリ版	6頁	
	11	[講和問題に関する参考資料1～5]			「当面の講和方針(案)」「講和問題に対する態度(案)」「講和問題に関する私考」「講和問題に対する態度(案)」他				書類	B5ガリ版	12頁	
	12	日本国との平和条約の草案	外務省仮訳						書類	ガリ版	20頁	
	13	中執委通達第十八号 講和条約草案に対する要望に関する件	日本社会党中央執行委員会			昭和26	7	14	書類	B5タイプ印刷	1枚	
	14	講和条約草案に対する要望書	日本社会党中央執行委員会			昭和26	7	14	書類	A3ガリ版	1枚	
	15	本教情通達第二号 対日講和条約草案発表についての談話の件	日本社会党 書記長・情報部長 浅沼稲次郎 教宣局長 波多野カナエ	各支部連合会・衆参両院議員		昭和26	7	13	書類	B4タイプ印刷	1枚	
84		日本国との平和条約の草案			1951年7月13日米国及び英国政府が公式に発表した日本国との平和条約の英文草案を7月20日に通知された修正点を修正して翻訳したもの	昭和26			書類	A5活版	25頁	
85		千九百五十一年七月二十日付の「日本国との平和条約の草案」と同年八月十五日付の「日本国との平和条約」との比較(仮訳文)				昭和26			書類	A5活版	12頁	
86		日本国との平和条約草案の解説	外務省情報部			昭和26	8	4	書類	A5活版	40頁	
87		サン・フランシスコ会議事録	外務省			昭和26	9	20	書類	A5活版	381頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
88		サン・フランシスコ会議の解説	外務省情報部		第一から第八回までの会議	昭和26	9		書類	A5活版	本文32頁・ 附録7頁	「サン・フランシスコ会議の解説 附録二 議事規則」。
89		日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約第三条に基づく行政協定の協議のための合同会議公式議事録				昭和27	2	26	書類	A5活版	16頁	
90		行政協定の解説	外務省情報文化局			昭和27	3	10	書類	A5活版	28頁	
91		第2回日米関係民間会議 日本側出席者							書類	A4手書・ コピー	2枚	
92		第2回日米関係民間会議 日本側出席者 追加分							書類	A4活版	1枚	羽生の名前あり。
93		第2回日米関係民間会議 アメリカ側出席者							書類	A4活版	5枚	
94		日米下田会議資料										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「日本国際交流センター」封筒。94-2～12番所収。
	2	[羽生三七宛 山本正書簡]	日本国際交流センター 山本正	参議院議員 羽生三七	第三回日米関係民間会議招待状の添書	昭和47	5	2	書簡	ペン書	1枚	
	3	[羽生三七宛 山本正書簡]	日本国際交流センター 山本正	参議院議員 羽生三七	第三回日米関係民間会議案内状	昭和47			書簡	A4タイプ印刷	2枚	
	4	第三回日米関係民間会議討議議題(案)			全体テーマ「多極化時代の日米コミュニケーション」				書類	A4タイプ印刷	1枚	
	5	第三回「日米関係民間会議」出欠通知書		日本国際交流センター					書簡	タイプ印刷	1枚	未使用。
	6	第三回日米関係民間会議 日本側参加者							書類	A4タイプ印刷	2枚	羽生の名前あり。
	7	第三回日米関係民間会議 米国側参加者							書類	A4タイプ印刷	2枚	
	8	会議日程							書類	A4タイプ印刷	1枚	
	9	[会議注意事項等]			会議の順序、報道関係ルール、ホテル				書類	A4タイプ印刷	2枚	
	10	議題「多極化時代の日米コミュニケーション」							書類	A4タイプ印刷	2枚	
	11	第三回日米関係民間会議資料送付について			第三回日米関係民間会議(下田会議)の議題案、日米双方の参加者(予定)リスト、会議の進め方の資料送付について	昭和47	5	27	書類	A4ペン書・ コピー	1枚	
	12	newsletter 3			1972年4月21日から5月20日までの記事掲載	昭和47	4	21	新聞	活版	6頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
95		Shimoda Memorandum										表題表記の紙ファイルに一括。
	1	[ファイル]							その他		1点	「INFORMATION FILE」
	2	SOME THOUGHTS ON "THE FUKUDA DOCTRINE"	AKIRA IRIYE			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 1.
	3	The Implications of Japan's Economic Strength	Isamu Miyazaki			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 2.
	4	Understanding the Cultural Backgrounds of Political and Economic Issues	Oyamada Takashi			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 3.
	5	Asia Policy and Arms Control	Sanshichi Hanyu			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 4.
	6	"Free Trade Under Siege" by Barber B. Conable, Member, U.S. Congress	J. ROBERT SCHAETZEL			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 5.
	7	"Asian Development" by GUSTAV RANIS, Professor, Yale University	SAMUEL S. STRATTON			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 6.
	8	Questions re: "Free Trade Under Siege" by BARBER B. CONABLE, Member, U.S. House of Representatives	SAMUEL J. STRATTON			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 7.
	9	Questions re: "Energy Strategy" by JOHN C. SAWHILL, President, New York University	SAMUEL J. STRATTON			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 8.
	10	Comments on John C. Sawhill's paper "Some Considerations for Japan and the U.S. in Developing an Energy Strategy"	Walter E. Hoadley			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 9.
	11	Comments on Gustav Ranis' paper "Asian Development and the United States"	Walter E. Hoadley			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	3頁	「Shimoda Memorandum」No. 10.
	12	Comments on Barber B. Conable's paper "Free Trade Under Siege"	Walter E. Hoadley			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 11.
	13	Comments on "Some Considerations for Japan and the U.S. in Developing an Energy Strategy," paper by John C. Sawhill	Robert E. Pursley			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 12.

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	14	Comments on "Asian Development and the United States," paper by Gustav Ranis	Robert E. Pursley			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 13.
	15	Comments on "Free Trade Under Seige", paper by Congressman Barber Conable	Robert E. Pursley			昭和52	9	1	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 14.
	16	Commentary	Robert Pursley			昭和52	9	2	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 15.
	17	Comments--inspired by Barber Conable's paper on trade	William Diebold, Jr			昭和52	9	2	書類	A4タイプ印刷	5頁	「Shimoda Memorandum」No. 16.
	18	Korea	Peter C. White			昭和52	9	2	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 17.
	19	How to accept the "Era of Changes"	Akinobu Kojima			昭和52	9	2	書類	A4タイプ印刷	3頁	「Shimoda Memorandum」No. 18.
	20	Comments on the Sawhill Paper	J. Robert Schaetzel			昭和52	9	2	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 19.
	21	"Free Ride"	HIDEO SATO			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 20.
	22	Security in Northeast Asia and U.S. Withdrawal	TAKASHI HOSOMI			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 21.
	23	A Proposal for Long-Term Japan-U.S. Cooperation on the Peaceful Use of Nuclear Fusion Energy	TAKEO SASAGAWA			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 22.
	24	Security Issues in Northeast Asia [in relation to Agenda Item(b)]	YOSHIMI NAKAGAWA			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 23.
	25	On Political and Economic Development in Southeast Asia in Relation to Agenda Item(C)	YOSHIMI NAKAGAWA			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 24.
	26	Suggestions on Cultural Dialogue-Beyond Shimoda	KINHIDE MUSHAKOJI			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	3頁	「Shimoda Memorandum」No. 25.

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	27	"Free Trade Under Siege"by Congressman Barber B. Conable[1] Shimoda Memorandum by J. Robert Schaetzel, Former Ambassador to the European Community[2] Analysis of Bilateral Trade Problems by Kazuo Nukazawa[3]	JIRO MURASE			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 26.
	28	Korea	CHARLES HECK			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 27.
	29	"Japan's Greater Sharing in the Future in the Security of Korean Peninsula"	YOTARO KOBAYASHI			昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	1頁	「Shimoda Memorandum」No. 28.
	30	Statistics and Balance of Payments	KAZUO NUKAZAWA			昭和52	9	4	書類	A4タイプ印刷	2頁	「Shimoda Memorandum」No. 29.
	31	[Shimoda Memorandum(前欠)]				昭和52	9	3	書類	A4タイプ印刷	1頁	後半部分のみ。
	32	Discussion Group				昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	3頁	
	33	SHIMODA TOKYU HOTEL ROOMING LIST				昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	1枚	
	34	第四回日米関係民間会議(下田会議)参加者プロフィール				昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	17頁	羽生の名前あり。
	35	[メモ用紙]							その他	A4罫紙	1冊	
96		第四回日米関係民間会議(下田会議)問題提起論文										表題表記のファイルに一括。ファイルは「保存日米関係民間会議(下田)」とマジック書きの新聞に包まれる。「羽生三七」のインデックスはあるが論文は挿入されず。
	1	日本の国内政治の変化と日米関係	衆議院議員 小坂徳三郎			昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	22頁	
	2	日本とアメリカ 極東における安全保障問題	米国連邦下院議員 スティーブ・J・ソラーズ			昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	17頁	
	3	東アジアの安定とわが国の役割	衆議院議員 加藤紘一			昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	12頁	
	4	北東アジアの安全保障	衆議院議員 河上民雄			昭和52	9		書類	A4タイプ印刷	10頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	5	アジアの開発と米国の役割	エール大学教授 グスタフ・レイニス			昭和52	9		書類	A4タイプ 印刷	24頁	
	6	「福田ドクトリン」後の日米 協調-アジアにおける日米 政策の再調整を求めて-	京都大学助教授 矢野暢			昭和52	9		書類	A4タイプ 印刷	17頁	
	7	革新政党には何が足りない か	衆議院議員 渡辺 朗			昭和52	9		書類	A4タイプ 印刷	13頁	
	8	危機に立つ自由貿易	米国連邦下院議 員 バーバー・B・ コナブル			昭和52	9		書類	A4タイプ 印刷	13頁	
	9	日米エネルギー戦略の問題 点	ニューヨーク大 学総長 ジョン・ ソーヒル			昭和52	9		書類	A4タイプ 印刷	19頁	
	10	世界経済の運営と日本	株式会社日本興 業銀行顧問 細見 卓			昭和52	9		書類	A4タイプ 印刷	12頁	
97		The Fourth Japanese- American Assembly (Shimoda Conference)										96番の挿入物。表題表 記のファイルに一括。
	1	[ファイル]							その他		1点	
	2	第四回日米関係民間会議 (下田会議)ご出席依頼につ いて	第4回日米関係民 間会議(下田会 議) 日本議長 牛 場信彦 (財)日本 国際交流セン ター 代表理事 山本正	参議院議員 羽 生三七		昭和52	7	18	書簡	A4タイプ 印刷	1枚	
	3	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 日本側参加者							書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	4	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 米国側参加者							書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	5	下田会議の運営について			会議の進行方法、書面 による意見発表-下田 メモランダム、報道関 係ルール、ホテル				書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	6	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 日程			9月1日～4日の日程				書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	7	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 討議議題案	全体テーマ 新しい 世界秩序と日 米関係 他						書類	A4タイプ 印刷	3枚	
98		書簡其他										96番の挿入物。表題表 記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「財団法人 日本国際交 流センター」封筒。98-2 ～6番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	2	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 討議要約	(財)日本国際交 流センター		東アジアにおける安全 保障問題他	昭和52	9	1	書類	A4タイプ 印刷	10枚	
	3	SUMARY OF DISCUSSION			討議要約の英訳	昭和52	9	1	書類	A4タイプ 印刷	8枚	
	4	[参加者各位宛 山本正書 簡]	(財)日本国際交 流センター 代表 理事 山本正	第四回日米民 間会議(下田会 議)参加者各 位	会議無事成功につき御 礼、会議の討議要約修 正箇所について	昭和52	9	7	書簡	A4タイプ 印刷	2枚	
	5	[羽生三七宛 山本正書簡]	(財)日本国際交 流センター 代表 理事 山本正	羽生三七	下田会議欠席につき会 議関係資料送付の件	昭和52	9	10	書簡	B5ペン書・ 野紙	1枚	「財団法人 日本国際交 流センター」野紙。
	6	[米国側下田会議参加者]							書類	A4タイプ 印書	3枚	英文。
99		下田会議資料										表題表記の封筒に一 括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒、99-2～ 12番所収。
	2	第四回日米関係民間会議 (下田会議)ご出席依頼につ いて	第4回日米関係民 間会議(下田会 議) 日本議長 牛 場信彦 (財)日本 国際交流セン ター 代表理事 山本正	参議院議員 羽 生三七		昭和52	7	18	書簡	A4タイプ 印刷	2枚	
	3	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 米国側参加予 定者				昭和52	7	30	書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	4	[羽生三七宛山本正書簡]	(財)日本国際交 流センター 代表 理事 山本正	羽生三七	第四回日米関係民間会 議(下田会議)案内	昭和52	8	10	書簡	A4タイプ 印刷	3枚	
	5	第四回日米関係民間会議 (下田会議)日程、問題提起 論文および関係資料ご送付 について	(財)日本国際交 流センター 代表 理事 山本正	第四回下田会 議参加予定者 各位		昭和52	8	26	書簡	A4タイプ 印刷	1枚	
	6	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 米国側参加予定 者				昭和52	8	26	書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	7	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 日本側参加者							書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	8	下田会議の運営について			会議の進行方法、書面 による意見発表-下田 メモランダム、報道関 係ルール、ホテル				書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	9	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 日程			9月1日～4日の日程				書類	A4タイプ 印刷	2枚	
	10	第四回日米関係民間会議 (下田会議) 討議議題案			全体テーマ 新しい世 界秩序と日米関係				書類	A4タイプ 印刷	3枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	11	問題提起論文リスト							書類	A4手書・ タイプ 印刷	1枚	
	12	第四回日米関係(下田会議) 開催計画案			会議の背景と目的、会 議の具体的計画				書類	A4タイプ 印刷	5枚	
100		[日米関係につき雑誌複写 類]										封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	100-2~26番所収。「財 団法人 日本国際交流 センター」封筒。
	2	中期政策課題に関する有識 者意見調査 集計速報	(株)社会工学研 究所			昭和52	5		書類	B4タイプ 印刷	13枚	
	3	1980年代に臨む日本の選 択-中期政策課題に関する 有識者意見調査-(ビジョン 討論会用メモ)	社工研 吉田			昭和52	6	27	書類	A4手書・ コピー	11枚	
	4	第四回日米関係民間会議 (下田会議)開催計画案			会議の背景と目的、会 議の具体的計画	昭和52			書類	A4タイプ 印刷	5枚	
	5	[下田会議案内状]	(財)日本国際交 流センター			昭和52			書類	A4タイプ 印刷	1枚	前欠。
	6	[日米関係に横たわる懸案 についてのメモ・新聞コ ピー]	宮下	羽生三七	防衛問題・貿易摩擦な ど、朝日・日経などの新 聞コピー添付	昭和52			書類	ペン書・ コピー	9点	「衆議院」野紙、宮下作 成のメモ及び新聞は河 辺が羽生に送ったもの (8月26日付の羽生宛河 辺のメモあり)。
	7	日本の経済政策に注文する	ポール・A・サムエ ルソン			昭和52	5	24	雑誌	B4活版・ コピー	4枚	「エコノミスト」1977年 5月24日号。100-7~11 番は一括。
	8	カーター政権の経済戦略	西山千明			昭和52	5	24	雑誌	B4活版・ コピー	2枚	
	9	先進国会議が生んだ新たな 課題 対談 佐伯喜一・竹内 一郎				昭和52	5	24	雑誌	B4活版・ コピー	4枚	
	10	米国の核政策に反論する	井上五郎(原子力 委員・委員長代 理)			昭和52	5	24	雑誌	B4活版・ コピー	2枚	
	11	「総理大臣」がない				昭和52	5	24	雑誌	B5活版・ コピー	1枚	
	12	注目集めるソ連の新憲法草 案				昭和52	6	21	雑誌	B4活版・ コピー	1枚	「エコノミスト」1977年 6月21日号。
	13	米核戦略にひそむ危険な決 意	陸井三郎			昭和52	7	5	雑誌	B4活版・ コピー	5枚	「エコノミスト」1977年 7月5日号。100-13~15 番は一括。
	14	再検討迫られる日本の開発 体制	鈴木岑二			昭和52	7	5	雑誌	B4活版・ コピー	2.5枚	
	15	南北対立の新たな火ダネと なるか	斎藤優			昭和52	7	5	雑誌	B4活版・ コピー	2.5枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	16	ブレジネフ体制固めたソ連				昭和52	7	5	雑誌	B5活版・コピー	1枚	「エコノミスト」1977年7月5日号。
	17	共産党が経済再建策を提案				昭和52	7	5	雑誌	B5活版・コピー	1枚	「エコノミスト」1977年7月5日号。
	18	内外情勢調査会・七月全国月例懇談会におけるマンسفールド駐日米大使の演説 米国の対アジア関係-現実と課題	米国大使館広報文化局報道部			昭和52	7	19	書類	タイプ印刷・コピー	16枚	PRESS RELEASE。
	19	ソ連とユーロコミュニズムの“複雑で微妙な相克”	編集部			昭和52	7	22	雑誌	B4活版・コピー	4.5枚	「朝日ジャーナル」1977年7月22日号。
	20	ソ連、着々と軍備増強進める 同盟国を焦慮させる米新政権	編集部			昭和52	7	22	雑誌	B4活版・コピー	5.5枚	「朝日ジャーナル」1977年7月22日号。
	21	現代社会主義論争 根源的にしかしリアリスティックに	正村公宏			昭和52	7	29	雑誌	B4活版・コピー	3.5枚	「朝日ジャーナル」1977年7月29日号。100-21～23番は一括。
	22	現代社会主義論争 “人間の生活”をめざす多様な模索	河野健二			昭和52	7	29	雑誌	B4活版・コピー	2.5枚	
	23	特集 左翼陣営の“寒い夏” 「革新市民層」が待っている	篠原一			昭和52	7	29	雑誌	B4活版・コピー	1.5枚	
	24	中性子爆弾は是か非か 米国内で議論高まる				昭和52	7	29	雑誌	B4活版・コピー	3枚	「朝日ジャーナル」1977年7月29日号。
	25	政策について	溪内謙(東京大学教授)						雑誌	A4活版・コピー	8枚	「世界」か。
	26	野党はなぜ経済政策をもてないか	新田俊三(東洋大学教授・経済学)						雑誌	A4活版・コピー	7枚	「世界」か。
101		ビジョン討論会 第169回 沖縄・核つきか核ぬきか-沖縄返還と極東の安全保障-	フジテレビ・ニュース部			昭和44	2		書類	A4ガリ版	14頁	テレビ討論会。羽生他8名出席。羽生の赤ボールペン書あり。
102		第五十回国会 参議院日韓条約等特別委員会会議録第四号	参議院事務局			昭和40	11	27	書類	A4活版	34頁	「日韓会議録」とペン書のある「参議院」封筒に挿入。
103		国際緊張緩和の線で 日ソ交渉、総合的判断を誤るな	羽生三七		毎日新聞(S31年9月3日付)掲載分	昭和31			書類	B4活版	1枚	「S31.9月3日毎日「国際緊張緩和の線で 日ソ交渉、総合的判断を誤るな 羽生三七」とペン書がある「月刊社会党」封筒に在中。
104		第二次長野県親善訪ソ団名簿	日ソ親善協会会長 野県連			昭和49	7	5	書類	B4青焼コピー	1枚	「訪ソ団住所氏名」と赤鉛筆書のある「長野県職員労働組合」封筒に挿入。
105		[長野県訪ソ団名簿メモ]	羽生三七						書類	B5鉛筆書・罫紙	1枚	「参議院」罫紙。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
106		D・S・ポリヤンスキー駐日ソ連大使御夫妻県下御視察日程							書類	B4ペン書・ 罫紙	5枚	「長野県」罫紙。同一2部。一部はコピーを綴る。
107		外交講演資料										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。107-2～11番所収。
	2	外交	羽生三七		ソ連・東欧関係メモ	昭和42			書類	B5ペン書・ ノート	1冊	
	3	難航する中国の奪権闘争				昭和42	7	26	新聞	活版・ 切抜	1枚	「朝日新聞」。107-2番の挿入物。
	4	核時代の軍縮・抑止力							新聞	活版・ 切抜	1枚	掲載紙不明。「参議院」罫紙に貼付。107-2番の挿入物。
	5	[メモ]	羽生三七		パレスチナ問題につき				書類	ペン書・ 罫紙	1枚	「参議院」罫紙。107-2番の挿入物。
	6	部内資料 3次防ヒアリング要旨(2) 三次防-その政治的・軍事的側面	(政策審議会) 外交防衛政策委員会・内閣部会(国民運動局) 基地核武装阻止特別委員会編 講師 千葉大講師 藤原彰氏		三次防の基本的特徴他				書類	B5タイプ 印刷	12頁	
	7	欧四資料第三十号 イスラエル	外務省欧亜局第四課		概観、地理、歴史、政治、軍事、司法、経済、交通他	昭和32	11	30	書類	A5活版	40頁	
	8	世界の動き No184	外務省情報文化局		「激化するベトナム戦争」他収録	昭和42	7		雑誌	A5活版	33頁	
	9	社会新報 775号(臨時増刊) 社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央機関紙		羽生「ソ連・東欧訪問記」	昭和39	8	23	新聞	活版・ 原紙	8頁	
	10	ソ連中央委の公開状 中共、警告を無視				昭和38	7	14	新聞	活版・ 切抜	1枚	「朝日新聞」。
	11	核拡防条約草案の全文				昭和42	8	26	新聞	印刷・ 切抜	1枚	掲載紙不明。
LYL事件・青年運動関係												
108		LYL裁判記録										表題表記の包紙に包まれあり。遺族に返却。
	1	治安警察法違反事件刑事記録 第一冊	飯田警察署長	飯田区裁判所 検事山田春道	「羽生三七聴取書」あり	大正13	3	10	書類	カーボン写・ 罫紙	1冊	
	2	治安警察法違反事件刑事記録 第二冊	長野地方裁判所 飯田支局検事局 検事事務取扱検事 窪田徳次郎	長野地方裁判所 飯田支局予審判事	「被告人羽生三七尋問調書」第2回	大正13	3	22	書類	カーボン写・ 罫紙	1冊	
	3	治安警察法違反事件刑事記録 第三冊			「被告人羽生三七尋問調書」第4回～第7回	大正13			書類	カーボン写・ 罫紙	1冊	
	4	治安警察法違反事件刑事記録 第四冊			「証人尋問調書」の綴り	大正13			書類	カーボン写・ 罫紙	1冊	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	5	治安警察法違反事件刑事記録 第五冊			「被告人羽生三七尋問調書」第8回～第11回、「羽生三七素行調書」	大正13			書類	カーボン写・ 野紙	1冊	
109		[LYL事件関係文献・新聞記事コピー、信濃時事ほか]										表紙に「信濃時事」と朱書の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。109-2～27番所収。
	2	[下伊那青年運動史コピー]			第3章青年団自主化の胎動、第5章社会主義思想の導入と社会主義的青年団の形成、第6章政治活動・社会活動の展開と郡青の方向転換、第8章自主化運動の対外的展開	昭和35			書籍	活版・ コピー	10枚	30～39頁、50～53頁、56～57頁、70～71頁、90～91頁部分。109-2～23番は一括クリップ綴り。
	3	自由青年連盟の活動、LYLの結成、LYLの大検挙							書籍	活版・ コピー	4枚	126～133頁部分。
	4	死去いたむ県民の声 気骨のある政治家 羽生三七氏			吉田元首相の死去にあたり	昭和42	10	21	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	5	明治百年(177)長野県の歩み 社会運動(8) 特高がいやがらせ			羽生関係記事あり	昭和42	10	12	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「毎日新聞」。
	6	明治百年(178)長野県の歩み 社会運動(9) ありすぎる貧富差			羽生関係記事あり(LYL事件)、羽生とその自宅写真の掲載あり	昭和42	10	17	新聞	B4活版・ 切抜・ コピー	1枚	「毎日新聞」。
	7	明治百年(179)長野県の歩み 社会運動(10) 県、青年団自主化を圧迫			自由青年連盟その他	昭和42	10	18	新聞	B4活版・ 切抜・ コピー	1枚	「毎日新聞」。
	8	文化 大波小波 羽生三七青年の歌				昭和47	5	10	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「東京新聞」。
	9	イヤホン 超党派の祝いも人柄			羽生の25年永年勤続表彰関係記事	昭和47	5	14	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	10	信州の百年(69) 弾圧のあらし② LYLのおい立ち			羽生と自由青年連盟関係	昭和42	6	22	新聞	B4活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	11	信州の百年(70) 弾圧のあらし③ LYLその後			羽生と自由青年連盟関係(羽生の写真掲載あり)	昭和42	6	23	新聞	B4活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	12	信州と短歌 不思議に深い縁	太田青丘		羽生関係記事	昭和46	9	22	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	13	私の昭和史 政界問い語り<59> 新体制への動き⑥			国民運動研究会長野県支部(羽生の写真掲載あり)	昭和47	8	29	新聞	B4活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	14	私の昭和史 政界問い語り<60> 新体制への動き⑦			国民運動研究会長野県支部(羽生の写真掲載あり)	昭和47	8	30	新聞	B4活版・ 切抜・ コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。羽生の写真掲載あり

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	15	長野県教育の歩み-102-LYL事件 反体制的な実践運動			羽生と自由青年連盟関係	昭和51	12	7	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「信濃毎日新聞」。
	16	笠信太郎氏の思い出	羽生三七		昭和研究会との関係ほか	昭和42	12	17	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「南信州」。
	17	郷土の百年25 LYL事件のこと	小林常治		羽生関係記事	昭和42	11	30	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	掲載紙不明。
	18	『第一線』創刊から7号までなど 森本家提供の資料			羽生関係記事	昭和51	7	27	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「信州日報」。
	19	『伊那谷の歌人の系譜』をすすむ(上)	村沢武夫		羽生関係記事	昭和51	8	24	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「信州日報」。
	20	『伊那谷の歌人の系譜』をすすむ(下)	村沢武夫		羽生の歌あり	昭和51	8	25	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「信州日報」。
	21	理論と政策の確立でタブー破れ	社会党参議院議員会長羽生三七			昭和43	10	2	新聞	B4活版・切抜・コピー	2枚	「社会新報」1164号。
	22	この一冊 わが読書わが人生 3 プーハーリン著THE ABC OF COMMUNISM	羽生三七			昭和47	2	20	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「社会新報」。
	23	[メモ]			下伊那文化会、自由青年連盟ほか				書類	B5ペン書・野紙	1枚	「参議院」野紙。
	24	伊那電の争議を遠望して	羽生三七						雑誌	A4活版・コピー	3枚	「大衆」1巻5号掲載。
	25	信濃時事	信濃時事新聞社		羽生「労農露西亜の為に(上)」	大正11	11	14	新聞	活版・原紙	4頁	
	26	信濃時事	信濃時事新聞社		羽生「労農露西亜の為に(下)」	大正11	11	15	新聞	活版・原紙	4頁	
	27	南信新聞	南信新聞社		「『新興文芸研究会』を組織する羽生三七君」	昭和2	6	11	新聞	活版・原紙	4頁	
110		夕樺会その頃を語る	伊藤収一		鷺見京一、村沢平夫、北原亀二、山上孝一について				書類	A4手書・原稿用紙・コピー	39枚	「羽生様」と伊藤自署の封筒入り。
111		[[「第一線」、「政治と青年」、労働農民党関係ほか]										表紙に「第一線其他」と朱書の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	111-2~15番所収。
	2	プロレタリア文芸問題大講演会			主催・新興文芸研究会、後援・南信、時事、大衆文芸部		7	3	書類	活版	1枚	
	3	政治と青年 32号	政治と青年社		「青年運動の新戦術」	大正14	12	1	新聞	活版・原紙	4頁	
	4	第一線 1号	第一線社		「自由青年聯盟創立と長野県青年運動の現状」(5頁)	大正12	4	20	新聞	B4活版・コピー	8頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	5	第一線 2号	第一線社		「新興青年運動の使命」	大正12	6	5	新聞	B4活版・コピー	8頁	
	6	第一線 3号	第一線社		広告「主催自由青年聯盟 農民問題講演会」(4頁)	大正12	8	5	新聞	B4活版・コピー	4頁	
	7	第一線 4号	第一線社		「発会一ヶ年を迎ふる自由青年聯盟」(3頁)	大正12	9	1	新聞	B4活版・コピー	6頁	
	8	第一線 5号	第一線社		羽生「青年と政治運動」	大正12	10	12	新聞	A4活版・コピー	24頁	
	9	第一線 6号	第一線社		羽生「階級勢力の集中組織」	大正13	2	10	新聞	A4活版・コピー	11頁	
	10	第一線 7号	第一線社			大正13	5	28	新聞	B4活版・コピー	1枚	表紙と奥付。
	11	大衆 1巻5号							雑誌	B4活版・コピー	1枚	表紙のみ。
	12	日本労働組合評議会創立大会宣言-附録綱領規約-	飯石豊市			大正14	9	1	冊子	B6活版	25頁	労働問題研究所発行。
	13	自治権擁護の為に県下青年大衆諸君に激す!! -青年会の官僚的支配の撤廃を期せ-	労働農民党長野県支部聯合会				4	24	書類	活版	1枚	
	14	これが県民の要求だ! 霜害救済請願運動は益々進展する	労働農民党長野県支部聯合会霜害被害者同盟			昭和2	7		書類	活版	1枚	
	15	養蚕家を救へ!! -これが百姓の血の出る様な叫びだ!-	労働農民党南信支部			昭和2	9		書類	活版	1枚	
112		明治・大正期における青年団運動の史的考察-長野県下伊那郡青年会の自主化をめぐる-	平山和彦			昭和44	3	30	冊子	B5活版	1冊	「明治大学社会科学研究所紀要」7集抜刷。羽生三七への郵送物。
自筆原稿類												
113		[自伝原稿]	羽生三七		「まえがき」「文学から社会主義へ」「下伊那文化会の創立」「自由青年連盟の創立」「LYLの創立」「昭和研究会と国民運動研究会」「国民運動研究会の解散」「弾圧のはじまりと東条内閣の成立」など				書類	手書・原稿用紙・コピー	118枚	校正の跡あり。
114		[自伝原稿]	羽生三七		LYL結成以降の社会運動				書類	ペン書・原稿用紙	60枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
115		[自伝原稿]	羽生三七		昭和3年以降の下伊那の情勢、普通選挙、社会運動など				書類	ペン書・原稿用紙	82枚	原稿用紙表紙に③とあり。クリップで一括。
116		[自伝原稿]	羽生三七		昭和14年以降の情勢、国民運動研究会、東条内閣の成立など				書類	ペン書・原稿用紙	50枚	原稿用紙表紙に④とあり。
117		[自伝原稿]	羽生三七		昭和20年前後の情勢、大東亜研究室、後藤隆之助との交流、敗戦、日本社会党の結成など				書類	ペン書・原稿用紙	58枚	原稿用紙表紙に⑤とあり。
118		羽生が会った人-(主として運動初期)	羽生三七		LYL以前以後				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
119		雑誌「進め」	羽生三七		第六号は無産青年運動の特集号、羽生に対する編集者の感想				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
120		東京人の羽生評その他	羽生三七		「進め」第六号雑報欄の羽生評、猪俣津南雄の羽生評				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
121		[青木恵一著『長野県社会運動史』の一節]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
122		[自由青年連盟機関紙『第一線』寄稿の羽生の論文]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	6枚	紐で一括。
123		大正十四年四月「政治研究会」第二回全国大会に出席して東京芝協調会館で演壇に立つ	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
124		県会当時の一部を記録したもの	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	10枚	クリップ一括。石川真澄宛の羽生メモあり。
125		昭和元年労働農民党結成から昭和十年県会議員当選	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	22枚	紐で一括。「前の原稿の補足」とペン書あり。
126		労働農民党の解散から全国労農大衆党までの経過	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	9枚	クリップ一括。
127		プロレタリア独裁との訣別	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
128		国民運動研究会、昭和研究会、大政翼賛会当時、大東亜研究室時代	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	12枚	クリップ一括。
129		[大東亜研究室時代の心臓病について]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
130		歴史的検討の必要性	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	5枚	クリップ一括、昭和20年11月10日「信濃毎日新聞」所載。
131		村長時代	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	6枚	クリップ一括。
132		村長時代	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
133		社会党への入党勧誘を受けた当時の事情・参議院を選んだ事情	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	3枚	クリップ一括。
134		当選当時と秘書長女郁子のことなど	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	2枚	クリップ一括。
135		占領軍の要求で法案を国会の最終日に時計をとめて成立させる	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
136		自由討議	羽生三七		昭和22年本会議の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	2枚	クリップ一括。
137		芦田連立内閣の際のこと	羽生三七		昭和23年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	3枚	クリップ一括。
138		当選一期当時の質問及びその後	羽生三七		昭和24年本会議の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	3枚	クリップ一括。
139		県連委員長時代	羽生三七		昭和23～33年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	6枚	クリップ一括。
140		両社統一	羽生三七		昭和30年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
141		県知事問題	羽生三七		昭和33年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	5枚	クリップ一括。
142		日ソ問題	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	26枚	クリップ一括。「一九六四年(昭和三九年)のソ連東欧訪問については別に月刊「社会党」十月号「ソ連・東欧をめぐって」に詳細あり(別途ゼロックス参照)、朝日新聞「社会党と私の三〇年」第七回分詳細と赤ボールペン書あり。
143		日中問題	羽生三七						書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	10枚	クリップ一括。「社会党と私の三〇年」第八回、日中問題に関する詳細と赤ボールペン書あり。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
144		外国訪問	羽生三七		主として昭和四十一年ワシントンにおける各氏との会見記事				書類	ペン書・原稿用紙	14枚	144・145番はクリップ一括。「朝日新聞」社会党と私の三〇年」第十回分の詳細 後半にてベトナム戦争についての国会質問もあり」と赤ボールペン書あり。
145		ベトナム	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	11枚	「これは別稿の外国訪問とダブル点多し」と赤ボールペン書あり。
146		代表質問の前後にベトナム問題に触れた部分	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	3枚	クリップ一括。「昭和四十四年一月三十日参議院本会議における代表質問」も綴る。
147		訪日外国人との会談	羽生三七		昭和44～51年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	10枚	
148		日米民間人会議-いわゆる下田会議	羽生三七		昭和44・52年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	
149		戦後日本の外交	羽生三七		昭和46年の記事、羽生の出版物				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
150		ソ連関係の団体に関係したこと、羽生の変わりなき反戦平和の精神について	羽生三七		昭和47年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	3枚	クリップ一括。文末に「文章が下手なので、もしこれを取り入れて下さる場合には、もつと感情に訴えるようなものにしていただければ幸いです」と赤ボールペン書あり。
151		金大中氏と	羽生三七		昭和47年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
152		田中首相のこと	羽生三七		昭和48年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
153		田中首相について	羽生三七		昭和48年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。「朝日」社会党と私の三〇年」十一回田中首相の責任問題との関連」と赤ボールペン書あり。
154		国会関係 列島改造論批判・在来線の複線化問題・高度成長政策の批判・土地対策	羽生三七		昭和49年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	10枚	紐で一綴。
155		引退後	羽生三七		昭和52年の記事				書類	ペン書・原稿用紙	3枚	
156		なぜ連続最高点をしかも徹底的理想選挙で実現したか	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
157		講演その他	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	3枚	クリップ一括。
158		平沢和重氏のこと	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	2枚	平沢はNHK解説委員。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
159		淡谷のり子さんのこと・次女の和子のことなど	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	3枚	クリップ一括。
160		予審終結決定書・社会大衆党の解党宣言書・外国訪問・わが家の事情・私の私生活・趣味	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	58枚	クリップ一括。
161		国会の質問のことや身辺雑記	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	5枚	
162		私の身辺雑記	羽生三七		映画のことなど				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
163		結婚当時のこと	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	3枚	クリップ一括。
164		羽生の兄弟姉妹のこと・家族のこと	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
165		雑件	羽生三七		当選当時の事情・家庭のこと・訪日外人との懇談其他				書類	ペン書・原稿用紙	11枚	クリップ一括。
166		雑件	羽生三七		昭和51・52年参議院選挙、引退後妹春子の歌など				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
167		[履歴メモ]	羽生三七		戦争中・国会当選後の反戦活動、村長在職中・社会党初期の人的交流など				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
168		気のついたことなど	羽生三七		伝記原稿に付き指示書き				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	クリップ一括。
169		特に名前を書いてほしい人	羽生三七		溝上正男、小沢貞孝、深沢則吉ほか				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
170		訂正及び付記	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
171		訂正すべきこと	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
172		治安警察法違反事件刑事記録	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	4枚	予審調書より筆写。
173		参議院選挙経過	羽生三七		第1～5回分				書類	ペン書・原稿用紙	1枚	
174		停滞と円高にゆれる	羽生三七		昭和52年日本経済についての原稿草稿				書類	ペン書・原稿用紙	16枚	クリップ一括。
175		五五年経済の展望	羽生三七		原稿草稿				書類	ペン書・原稿用紙	16枚	クリップ一括。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
176		[参議院の存在価値について原稿草稿]	羽生三七						書類	ペン書・ 罫紙	3枚	
177		[経済情勢・価値観の変化などにつき原稿メモ]	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	4枚	
178		[ヴァルガのこと引用、学問における主観と客観の問題、経済成長率の各国比などメモ]	羽生三七						書類	ペン書・ 罫紙	1枚	
179		物価上昇要因分析	羽生三七						書類	ペン書・ 罫紙	1枚	「参議院」罫紙。
180		20世紀の軌跡 ある政治史 感想文 第三学年 政経授業にて 25人の手記	長野県阿智高等学校						書類	手書・ 原稿用紙・ コピー	26枚	
181		[朝日新聞寄稿の原稿]										「朝日P 原稿」と赤鉛筆書がある封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角4封筒	1点	「参議院」封筒。181-1～15番所収。
	2	社会党議席30年	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	5枚	クリップ一括。「1回目」と鉛筆書あり。
	3	[自筆原稿]	羽生三七		「社会党議席30年」の下書き原稿				書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	4枚	クリップ一括。
	4	私の政治姿勢	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	5枚	クリップ一括。「2回目」と鉛筆書あり。
	5	[自筆原稿]	羽生三七		「私の政治姿勢」の下書き原稿				書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	5枚	クリップ一括。
	6	参議院の歩みをかへりみて	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	12枚	クリップ一括。「3、4回目」と鉛筆書あり。
	7	参議院の在り方をかへりみて	羽生三七						書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	12枚	クリップ一括。
	8	「路線」にすぐれる「政策」態勢を-党に望んで-	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	7枚	
	9	[自筆原稿]	羽生三七		「「路線」にすぐれる「政策」態勢を-党に望んで-」の下書き原稿				書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	7枚	
	10	「中立声明」の提唱	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	7枚	クリップ一括。「「片面講和」の欠落を質し続けて」と鉛筆書あり。
	11	経済関係	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	9枚	クリップ一括。「国民生活と「予算委員会室」を結んで」と鉛筆書あり。
	12	ベトナム	羽生三七						書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	11枚	クリップ一括。
	13	安保改訂当時の情況	羽生三七						書類	B4鉛筆書・ 原稿用紙	5枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	14	河野参議院議長との訪ソ	羽生三七						書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
	15	[自筆原稿]	羽生三七		日中・日ソ関係について				書類	ペン書・ 原稿用紙	5枚	クリップ一括。6～10頁分。
182		[自伝原稿・石川真澄宛書簡類]										羽生三七宛羽生哲夫差出の封筒に挿入。
	1	[封筒]							封筒	角0封筒	1点	182-1～15番所収。
	2	仮出獄の時のことなど	羽生三七		大正14年頃の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	3枚	クリップ一括。
	3	[自筆原稿]	羽生三七		昭和7年～54年までの記事、選挙・ソ連などについて				書類	ペン書・ 原稿用紙	23枚	クリップ一括。
	4	県連委員長時代のこと(一)	羽生三七		昭和26年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	4枚	クリップ一括。
	5	県連委員長時代のこと(二)	羽生三七		昭和28年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	3枚	クリップ一括。
	6	[自筆原稿]	羽生三七		昭和34年の記事、林虎雄知事以後の県知事選挙などについて				書類	ペン書・ 原稿用紙	7枚	クリップ一括。
	7	フィンランドに近い国境の村	羽生三七		昭和52年の記事				書類	ペン書・ 原稿用紙	8枚	クリップ一括。
	8	[メモ]	羽生三七		少年時代・社会主義青年運動時代など				書類	ペン書・ 原稿用紙	2枚	クリップ一括。
	9	[メモ]	羽生三七		社会党県連委員長時代など				書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
	10	[メモ]	羽生三七		お手伝いさんにつき				書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
	11	[メモ]	羽生三七		胃の手術など				書類	ペン書・ 原稿用紙	1枚	
	12	石川真澄宛 羽生三七書簡(草稿)	羽生三七	石川真澄	石川さんに重荷を背負わせたこと恐縮、「序にかえて」拝見、「戦後日本の外交」出版の際の発起人について、佐々木敏二論文に反論あれば問題部分を正確に書くこと、戦時中の多少の間違ひについて、引退後反戦平和を貫いていることについて、ボリヤンスキー大使に会ったときのこと、敗戦後の共産党と私の関わりについて、戦中の私の動向と出版発起人について、など				書類	ペン書・ 原稿用紙	6枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	13	[自伝目次]			「一章三十五枚を目安とし、合計四百二十枚。各章を二―三節に分割。必要あれば年譜、写真も」と注記あり				書類	手書・原稿用紙・コピー	1枚	「朝日新聞社」原稿用紙。
	14	春浅し	羽生三七		最近の心境を詠んだ歌	昭和54	2	21	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。「参議院」野紙に貼付。
	15	一地方におけるファシズム運動-長野県下伊那の場合-	佐々木敏二							冊子	A5活版	73頁
183		父の原稿										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							封筒	角2封筒	1点	「朝日新聞東京本社」封筒。183-1～6番所収。
	2	[自伝原稿]	羽生三七		養鶏・鯉の飼育のこと				書類	ペン書・野紙	4枚	「参議院」野紙。
	3	[自伝原稿]	羽生三七		検挙の時のこと、社会主義運動について				書類	ペン書・野紙	2枚	「参議院」野紙。
	4	[自伝原稿]	羽生三七		「まえがき」「文学から社会主義へ」「自由青年連盟の創立」「LYLの創立」機関紙『第一線』の発行」「理論把握と教宣活動」「大衆運動の展開」「地域青年団に根をおろす」「LYLを「九月会」と改称」「亀戸事件」「私の身辺関係」「県青年会における活動」「自由大学について」「LYLの検挙」「保釈出獄と判決」「保釈中の動き」「服役と病気仮出獄」「自由青年連名解散後の動き」「労働農民党の結成から解散まで」「全国労働大衆党の結成」「社会大衆党の結成と県会当選」の記事				書類	ペン書・原稿用紙	73枚	クリップ一括。校正の跡あり。
	5	[自伝原稿]	羽生三七		「昭和研究会」と「国民運動研究会」「後藤隆之助氏との出会い」「第二次近衛内閣の成立」「弾圧のはじまりと東条内閣の成立」「太平洋戦争はじまる」「大東亜研究室のころ」「郷里へ帰る」「太平洋戦争の終結」「終戦後のことなど」の記事				書類	ペン書・原稿用紙	45枚	校正の跡あり。
6	[自伝原稿]	羽生三七		まえがきに相当する小論、昭和12～22年の昭和研究会、後藤隆之助、社会運動に関する記事など				書類	ペン書・野紙	53枚	クリップ一括。	
184		父の原稿										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							封筒	角3封筒	1点	「朝日新聞社」封筒。184-1～3番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	2	[自伝原稿]	羽生三七		明治37～昭和3年の記事				書類	手書・ 原稿用紙・ コピー	42枚	
	3	[自伝原稿]	羽生三七		昭和12～20年の記事				書類	手書・ 原稿用紙・ コピー	18枚	
185		[自伝関係史料・石川真澄宛 羽生三七書簡他]										封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角0封筒	1点	185-1～96番所収。
	2	信濃往来 6巻10号	信濃往来社		羽生・藤沢藤雄対談「忙中閑談(七)弾圧に抗し続けた先駆時代-終戦の裡面工作あれこれ-	昭和31	10	10	雑誌	B5活版	44頁	
	3	ぬかご 第7号	佐々木茂		山田邦夫「『夕樺』の創刊と『潮音』について」	昭和49	3	5	雑誌	A5活版	36頁	185-4番の添付物。
	4	石川真澄宛 山田邦夫書簡	山田邦夫	石川真澄	「第一線」「政治と青年」に政治研究会下伊那支部の活動などが掲載されているとのこと	昭和55	2	29	書簡	ペン書・ 郵便紙	1枚	「信州日報株式会社」封筒入り。
	5	自由大学研究 別冊 I 伊那自由大学の記録	自由大学研究会		羽生他11名「第二部座談会」	昭和54	10	10	雑誌	A5活版	72頁	
	6	オピニオン長野 No. 34	長野総合情報研究所		羽生「日本社会党へ直言する(上)」	昭和55	11	18	雑誌	活版	30頁	
	7	戦時農業と食糧対策	羽生三七・平野義太郎・黒沢西蔵・前橋真八郎・島木健作・東畑精一・近藤康男・桜井武雄						雑誌	A4活版・ コピー	14枚	「中央公論」(戦前)、96～122頁。
	8	社会主義政党と現実政治・理想と現実の調整	羽生三七			昭和29			雑誌	A4活版・ コピー	2枚	「政策」6号、10～13頁。
	9	激動する中近東と東欧-最近の国際情勢について-	羽生三七			昭和31			雑誌	A4活版・ コピー	4枚	月刊「社会主義」11月号、20～27頁。
	10	平和への条件-日米共同声明と日本の安全保障-	羽生三七			昭和32			雑誌	A4活版・ コピー	4枚	月刊「社会主義」11月号、2～9頁。
	11	積極中立をどう進めるか	羽生三七・飛鳥田一雄・岩井章・加藤万吉			昭和36			雑誌	A4活版・ コピー	6枚	月刊「社会主義」11月号、2～12頁。
	12	中国問題と国際関係の論理	羽生三七			昭和38			雑誌	A4活版・ コピー	5枚	月刊「社会党」2月号、32～41頁。
	13	座談会・“核停時代”の外交路線	羽生三七・穂積七郎・和田博雄			昭和38			雑誌	A4活版・ コピー	6枚	月刊「社会党」9月号、6～17頁。
	14	対談・「アジア外交」への問題意識	羽生三七・蠟山芳郎			昭和38			雑誌	A4活版・ コピー	4枚	月刊「社会党」12月号、96～103頁。
	15	ソ連・東欧をめぐって	羽生三七			昭和39			雑誌	A4活版・ コピー	10枚	月刊「社会党」10月号、74～92頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	16	或る青春の形見-二人の社会運動家の短歌-	太田青丘			昭和47			雑誌	A4活版・コピー	2頁	「潮音」58巻4号(昭和47年4月号)、6~9頁。太田青丘は水穂の息、現「潮音」主幹。
	17	シンポジウム・「非武装中立」政策の意義と今後の発展のために	羽生三七・関寛治・石垣純二・川崎寛治・久保綾三			昭和50			雑誌	A4活版・コピー	6枚	月刊「社会党」11月号、104~107、114~119、130・131頁。
	18	ある社会主義者の歩み 第二回 平和の旗をかかげて	羽生三七			昭和52			雑誌	A4活版・コピー	6枚	月刊「社会党」5月号、198~209頁。
	19	社会新聞	社会新聞社		田所輝明追悼録	昭和9	12	15	新聞	活版・原紙	4頁	
	20	日ソ親善 No. 172	日ソ親善協会		羽生「真の平和への道」	昭和54	9	25	新聞	活版・原紙	4頁	
	21	価値観について	羽生三七			昭和53	1	6	新聞	活版・切抜	1枚	「信濃毎日新聞」夕刊。
	22	下伊那も着々 新党支部組織へ				昭和6	7	30	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」。185-22~37番までクリップ一括。
	23	闘士を迎へ 新党組織演説会				昭和6	8	8	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」。
	24	下伊那の新党 発会式当分延期				昭和6	8	13	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」。
	25	闘士羽生三七君 疾風迅雷的出馬				昭和6	9	8	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」。
	26	政戦火蓋を切る 峡谷無産運動のピカール闘士羽生派				昭和6	9	12	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」。
	27	関川氏を圧して 中川氏当選らしい 当初から番狂せ				昭和6	9	30	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「信濃大衆新聞」。
	28	労農党支部 解散手続きをとる				昭和3	4	17	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	29	治維反対演説 大山細迫書記長来飯				昭和3	7	8	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	30	未曾有の弾圧に 激昂せる新労農党員				昭和3	7	13	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	31	新労農党事件 傍聴人相手に長広舌を奮ひ				昭和3	7	28	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	32	左翼の花形 羽生三七君出馬確定				昭和6	9	8	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	33	右翼派らしい行動 羽生派に対立する社民党				昭和6	9	11	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	34	無産者解放の闘士羽生君 お目出度い結婚話 長い顔に浮べる喜びの色							新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「南信新聞」。
	35	顔124 左社参議院議員 羽生三七氏							新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「東京日日新聞社」。
	36	文化人の横顔(十一) 冷徹なるヒューマニスト羽生三七氏							新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「東京日日新聞社」。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	37	向坂・羽生両先生語る							新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「下伊那地区評」(春闘特別号)。
	38	北方領土、議題に 社党使節 団ソ連首脳との会談で				昭和39	6	1	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	185-38～72番までクリップ一括。「64社会党ソ連・東欧訪問使節団」と表題のある「朝日新聞社」異紙を表紙とする。「朝日新聞」縮刷版。
	39	佐々木氏、28日に出発 社 党、中共訪問を了承				昭和39	6	12	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	40	領土問題の糸口探る 社党 訪ソ団、27日に出発				昭和39	6	25	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	41	中ソ論争には不介入「領 土」ソ連の出方次第 社党訪 ソ団				昭和39	6	25	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	42	社党訪ソ使節団が出発				昭和39	6	27	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	43	社党の訪中視察団出発				昭和39	6	28	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	44	社党訪ソ団ナホトカ着				昭和39	6	30	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	45	社党訪ソ団ハバロフスク着				昭和39	7	1	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	46	日本人墓地に参拝 ハバロ フスク 社党訪ソ使節				昭和39	7	2	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	47	イルクーツク到着 社党訪 ソ使節団				昭和39	7	3	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	48	日ソ懸案、率直に協議 モス クワ入りの社党使節団が声 明				昭和39	7	4	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	49	きょうから会談 社党訪ソ 使節団				昭和39	7	6	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	50	領土問題、進展せず 社党訪 ソ団第二回会談				昭和39	7	8	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	51	平和共存をともに確信 成 田訪ソ団長演説				昭和39	7	9	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	52	会議予定を遅らす 社党訪 ソ使節団				昭和39	7	9	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	53	レニングラード着 社会党 代表団				昭和39	7	10	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	54	社党訪ソ使節団ソチで休養				昭和39	7	11	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	55	プラウダに「成田論文」原 水禁で日共批判				昭和39	7	12	新聞	活版・ 切抜・ コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	56	“貿易拡大は可能” 社党訪ソ使節団 貿易相と意見一致				昭和39	7	14	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	57	「領土」対立のまま？社会党使節団 ソ連側と最終会議				昭和39	7	15	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	58	日本人形に大喜び フ首相へ社党使節団が贈る				昭和39	7	15	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	59	「領土問題」共同声明に盛り込む ソ連側が草案作成で了承				昭和39	7	15	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	60	空路開設は可能 フ首相、成田氏と合意				昭和39	7	16	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	61	歓迎された社党訪ソ使節団	石川特派員			昭和39	7	16	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	62	協力し平和運動を「領土」平和条約に努力 社党使節とソ連が声明				昭和39	7	16	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	63	両国の発展を協議 社党・チェコ、コミュニケ				昭和39	7	19	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	64	日本へ政府代表団 チェコ首相 社党使節団に発表				昭和39	7	20	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	65	ルーマニア首脳と会談 社党使節団				昭和39	7	21	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	66	ブカレストを出発 社党使節団				昭和39	7	24	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	67	ブタペスト到着 社党使節団				昭和39	7	24	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	68	三日夜帰国 成田書記長ら				昭和39	7	26	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	69	ユーゴ到着 社党使節団				昭和39	7	28	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	70	チトー大統領と会談 社党使節団				昭和39	7	30	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	71	中共の意図を非難 チトー大統領、社党使節団に				昭和39	7	31	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」縮刷版。
	72	成田使節団長、帰国前に語る “現在の政策に自信” ソ連・東欧諸国 深めた親善友好				昭和39	7	31	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」夕刊縮刷版。
	73	第十九回国会 参議院外務委員会会議録第二十号	参議院事務局		3～7、20・21頁に羽生の発言あり	昭和29	4	12	書類	A4活版	24頁	
	74	参議院外務委員会(第十九回国会継続)会議録第一号	参議院事務局		10～12頁に羽生の発言あり	昭和29	9	8	書類	A4活版	28頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	75	参議院外務委員会(第十九回国会継続)会議録第五号	参議院事務局			昭和29	9	22	書類	A4活版	4頁	
	76	第二十二回国会 参議院外務委員会会議録第五号	参議院事務局		1～3頁に羽生の発言あり	昭和30	5	24	書類	A4活版	14頁	
	77	第二十二回国会 参議院外務委員会会議録第二十一号	参議院事務局		6頁に羽生の発言あり	昭和30	7	26	書類	A4活版	12頁	
	78	第二十四回国会 参議院外務委員会会議録第七号	参議院事務局		5・6頁に羽生の発言あり	昭和31	4	10	書類	A4活版	8頁	
	79	第二十八回国会 参議院外務委員会会議録第十一号	参議院事務局		1・2頁に羽生の発言あり	昭和33	3	20	書類	A4活版	8頁	
	80	参議院外務委員会(第四十一回国会閉会后)会議録第一号	参議院事務局		1～4、7、12・13頁に羽生の発言あり	昭和37	10	31	書類	A4活版	18頁	
	81	参議院外務委員会会議録第二十号			15～18、29頁分、15～18頁に羽生の発言あり	昭和52	6	9	書類	A4活版・コピー	5枚	
	82	石川真澄宛 羽生三七書簡	羽生三七	石川真澄	姉原とみ子や後藤隆之助の存命中に是非出版したき旨	昭和54	6	22	書簡	ペン書・便箋	1通	
	83	石川真澄宛 羽生三七書簡	羽生三七	石川真澄	11月1日日ソ親善協会全国理事会に出席のため上京、都合よければホテルオータニでお目にかかりたく、ポリヤンスキー大使夫妻、書記官二名わが家を訪問のこと	昭和54	10	19	書簡	ペン書・便箋	1通	
	84	石川真澄宛 羽生三七書簡封筒	羽生三七	石川真澄		昭和54	12	3	書簡	ペン書	1通	封筒のみ。年月日は消印より。表紙に「原稿在中」とあり。
	85	石川真澄宛 羽生三七書簡	羽生三七	石川真澄	後藤隆之助の話について、日ソ国交回復については新聞記事より私の書いたことのほうが正確なことなど、気のついた点	昭和54	12	19	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	
	86	石川真澄宛 羽生三七書簡	羽生三七	石川真澄	労働農民党解散以後の事情を大山氏から送付された『新労働党樹立の提案』、鈴木茂三郎著書、木原実『日本社会主義運動史』『日本社会運動史年表』を照合して執筆のこと、社会党勧誘を受けた当時やなぜ参議院を選んだかを執筆、結婚当時のこと執筆など、昭和10・14年当時、当局への迎合が見られるものの無理にまづい点は書くまでもないと思うがどうか				書簡	ペン書・原稿用紙	1通	草案か。
	87	石川真澄宛 羽生三七書簡	羽生三七	石川真澄	原稿拝見、より詳しく調べられたこと敬服の他なし、原稿中や「別紙」に必要なに応じて書き込みのこと、後藤隆之助、ポリヤンスキー大使らに面会のこと				書簡	ペン書・原稿用紙	1通	「別紙」(No1～7)あり。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	88	石川真澄宛 山野晴雄書簡	山野晴雄	石川真澄	ご執筆の『二〇世紀の軌跡-ある政治史 羽生三七の証言』興味深く拝読のこと、自由大学研究を志し昨年羽生を招き研究会を開催、ご参考のためにその時の記録を同封のこと	昭和55	4	22	書簡	ペン書・便箋	1通	山野は三鷹市牟礼在住。
	89	徹底的理想選挙(法定費用の半分程度)で連続三〇年最高点で当選した理由	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1点	
	90	[新労農党結成についてメモ]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1点	
	91	[未使用原稿用紙]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	1点	上部に「No. 1-80」「No. 1」とペン書あり。
	92	[羽生三七参議院委員会委員の経歴表]							書類	手書・コピー	1点	
	93	[長野県郡名と統計データ]							書類	ペン書・罫紙	1点	「参議院」罫紙。
	94	ながの日ソ親善 4号	日ソ親善協会長野県支部連合会		ソ連大使の長野視察日程、「信濃毎日新聞」他新聞記事あり	昭和54	10	5	書類	B4活版・コピー	8枚	ホチキスで一括。
	95	第一線 五号				大正12	11	12	雑誌	A4活版・コピー	1枚	表紙のみ複写。
	96	[写真]			成人男性の上半身				その他	縦10.9×横16.5cm	1枚	
186		中央公論原稿										表題表記の封筒に挿入。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。186-2～4番所収。
	2	原稿目次			「社会党議席30年 5枚」「参議院の歩みをかえりみて 12枚」他				書類	ペン書・罫紙・コピー	1枚	「参議院」罫紙。
	3	社会党議員三十年の歳月	羽生三七		『中央公論』9月号グラフ				書類	B4活版・コピー	5枚	
	4	経歴			羽生の社会運動歴、党歴他				書類	B4タイプ印刷	3枚	同一3部。
187		[昭和研究会・近衛新体制などについてメモ]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	9枚	
188		[中曽根内閣などについてメモ]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	11枚	
189		[飯田市・県町人名・住所書上]	羽生三七						書類	ペン書・原稿用紙	5枚	
190		[揮毫]	羽生三七		「真実一路」と記載				その他	墨書・和紙	1枚	
191		[揮毫]	羽生三七		「生」と記載				その他	墨書・和紙	1枚	
192		[揮毫]	羽生三七		「以創造為生命」と記載				その他	墨書・和紙	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
履歴関係												
193		羽生三七の略歴と主なる事績			生誕から昭和47年(68歳)まで				書類	B4手書・コピー	2枚	
194		経歴			羽生三七67歳時のもの				書類	B5活版	1枚	「参議院」封筒入り。同一47部。
195		経歴・切抜き										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	195-2～5番所収。
	2	羽生三七メモ	羽生三七		経歴に関して				書類	ペン書・原稿用紙	2枚	
	3	社党県連も事実上分裂 拡 大執委 “左”を再確認 棚橋 派の決別は決定的			羽生は社会党県連委員長	昭和26	10	30	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
	4	予算委員会会議録第二十号 昭和三十八年六月十日 参 議院			羽生三七の発言部分 (所得倍増計画批判)	昭和38	6	10	書類	活版・コピー	1枚	
	5	羽生三七宛 徳田球一没三 〇周年記念の集い実行委員 会書簡	徳田球一没三〇 周年記念の集い 実行委員会	羽生三七	徳田球一についての評 価につきご高見を賜り たし	昭和58	8	1	書簡	B5活版	1枚	
	6	徳田没30周年記念報 創刊 号	徳田球一没後30 周年記念の集い 準備委員会	羽生三七		昭和58	7	10	書類	B5活版	4頁	195-5番の同封物。
祝賀会・記念会関係												
196		廿五年永年勤続祝賀会関係										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	196-2～33番所収。「日本社会党飯伊総支部」封筒。
	2	廿五年永年勤続受彰記念祝 賀会関係記録	羽生三七			昭和47	5	13	書類	ペン書・ノート	1冊	
	3	羽生三七書簡(草稿)	羽生三七		祝賀会の礼状	昭和47	5		書簡	鉛筆書・野紙	2枚	196-2番の挿入物。「参議院」野紙。
	4	羽生議員をたゝえて	福島光三郎			昭和47			書類	A4ペン書・原稿用紙	3枚	196-2番の挿入物。
	5	羽生三七参議院議員永年勤 続表彰			羽生三七参議院議員の あゆみ、祝賀会メッ セージ	昭和47	5	13	書類	活版	1枚	同一2部。
	6	羽生参議祝賀会案内状発送 先名簿(鼎町関係分)							書類	B4手書・青 焼コピー	1枚	
	7	[名簿]			町村長・町村議長				書類	B5手書・青 焼コピー	1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	8	[名簿]			町村議長・農協組合長				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	9	[名簿]			議員・友人知人				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	10	[名簿]			友人知人・郡農協青年部長				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	11	[名簿]			友人知人				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	12	[名簿]			各単協労委員長・友人知人				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	13	[名簿]			農協組合長・町村職組委員長				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	同一2部。
	14	[名簿]			飯田商工会議所				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	15	[名簿]			青年会議所・郡商工連・新聞社・中央県出先機関長				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	16	[名簿]			婦人会議				書類	B5手書・青紙コピー	1枚	
	17	党労組関係出席者			名簿				書類	ペン書・野紙	6枚	
	18	その他			名簿				書類	ペン書・野紙	2枚	加筆修正あり。
	19	夕樺の会参会者の一部	羽生三七		名簿				書類	鉛筆書・野紙	1枚	「参議院」野紙。
	20	羽生三七宛 社会党参議院議員一同電報	社会党参議院議員一同	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	21	羽生三七宛 参議院議長河野謙三電報	参議院議長河野謙三	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	22	羽生三七宛 参議院会長加瀬完電報	参議院会長加瀬完	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	23	羽生三七宛 衆議院議員原茂電報	衆議院議員原茂	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	24	羽生三七宛 溝上正男電報	溝上正男	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	25	羽生三七宛 小諸市長小川タケオ電報	小諸市長小川タケオ	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	26	羽生三七宛 阿南町長関勝夫電報	阿南町長関勝夫	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	27	羽生三七宛 吉沢茂男電報	吉沢茂男	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	28	羽生三七宛 松井卓治電報	松井卓治	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	29	羽生三七宛 向山一八電報	向山一八	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	30	羽生三七宛 参議院事務総長宮坂サダ男電報	参議院事務総長 宮坂サダ男	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	31	羽生三七宛 田中セエネン電報	田中セエネン	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	32	羽生三七宛 ナカハラカノキチ電報	ナカハラカノキチ	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
	33	羽生三七宛 コウベマサユキ・シンコ電報	コウベマサユキ・ シンコ	羽生三七	永年勤続祝賀につき	昭和47	5	13	書簡	タイプ 印書	1通	
197		出版記念会関係										表題表記の封筒に一括。表紙に「(印のあるは永年勤続祝賀会)」と記載あり。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	197-2~3番所収。「参議院」封筒。
	2	[名簿]			鼎町在住者				書類	B5手書・ コピー	4枚	
	3	[名簿]			飯田市在住者				書類	B5手書・ コピー	5枚	
198		出版記念会出席者名簿在中										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	198-2~7番所収。
	2	羽生三七出版記念会出席者			名簿				書類	B5手書・ コピー	4枚	
	3	羽生三七氏出版祝賀会参加者住所氏名			当日出席者名簿				書類	B5手書・ コピー	6枚	
	4	[名簿]			長野市在住の県議・市長その他				書類	B5手書・ コピー	4枚	
	5	[第1回~第8回参議院議員通常選挙後国会召集日・会派及び議員数一覧]							書類	B4活版・ 罫紙・ コピー	1枚	「参議院」罫紙。
	6	内閣総理大臣の指名一覧表							書籍	活版・ コピー	2枚	35、36頁部分。
	7	[国会議事速記録]			昭和27年度予算案等に対する質問				書類	活版・ コピー	1枚	「官報 号外」44頁。
199		羽生三七参議院議員永年勤続表彰			羽生三七参議院議員のあゆみ、祝賀会メッセージ	昭和47	5	13	書類	活版	1枚	同一3部。
200		名誉町民称号記贈呈式次第				昭和52	7	23	書類	B4タイプ 印刷・ コピー	1枚	同一2部。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
201		鼎町名誉町民条例				昭和52	3	18	書類	B4タイプ印刷	1枚	200番の挿入物。
202		羽生さんを讃える会決算							書類	B4ペン書・野紙	1枚	
203		松村蓬麻先生頌徳碑除幕式次第				昭和44	9	15	書類	タイプ印刷	1枚	
名刺・パスポート・写真												
204		[名刺]	羽生三七		肩書表記は「参議院議員」				その他	活版	1枚	2種類あり。遺族に返却。
205		父・パスポート										表題表記の封筒に一括。遺族に返却。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	205-2～3番所収。
	2	パスポート	羽生三七			昭和28	8	7	その他	活版	6冊	昭和28、39、41、46、47、52年発行。
	3	航空旅券その他							その他	活版	21点	
206		[写真]	河原写真館撮影		台紙裏に「松尾小学校尋六記念」と墨書あり	大正5	3	26	その他		1枚	遺族に返却。
207		[写真]	河原写真館撮影		台紙裏に「松濤義塾十四周年記念会」と印刷あり、羽生三七も被写体の一人	大正7	10	13	その他		1枚	遺族に返却。
208		[写真]	藤井紫苑撮影		台紙裏に「松濤義塾十五周年記念会」と印刷あり、羽生三七も被写体の一人	大正8	10	12	その他		1枚	遺族に返却。
209		[写真]			台紙裏に「太田水穂氏歓迎短歌会記念察映」とペン書きあり、羽生三七も被写体の一人	大正10			その他		1枚	遺族に返却。
210		[写真一括]										茶封筒に一括。遺族に返却。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	210-2～11番所収。
	2	[写真]			台紙裏に「大正六年度鼎小学校高等科卒業記念撮影」と記載あり、羽生三七も被写体の一人	大正7	3		その他		1枚	
	3	[写真]			台紙裏に「共産主義結社事件公判の帰途同志一同で」とペン書あり、羽生三七も被写体の一人	大正13			その他		1枚	
	4	[写真]	羽生一口撮影		「為長男正之中学入校記念 於自宅超然書屋」と墨書あり		5	5	その他		1枚	大正期のもの。
	5	[写真]	伊那大島宮下写真館		羽生三七も被写体の一人				その他		1枚	
	6	[写真]	飯田松尾町藤井写真館		羽生三七も被写体の一人				その他		1枚	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
	7	[写真]			羽生三七も被写体の一人				その他		1枚	
	8	[写真]	ミヤシタ写真館						その他		1枚	
	9	[写真]			写真裏に「国民運動研究会長野県の集い」とペン書あり				その他		1枚	「サンケイ新聞社・サンケイスポーツ写真部」封筒入り。
	10	[写真]			写真裏に「昭和十年県会議員当選」と鉛筆書あり	昭和10			その他		1枚	「サンケイ新聞社・サンケイスポーツ写真部」封筒入り。
	11	[写真]			台紙裏に「夕樺社郊外短歌会の際風越館に於て」とペン書あり	大正10	4	10	その他		1枚	「サンケイ新聞社・サンケイスポーツ写真部」封筒入り。
211		[写真]			被写体に羽生三七と川端康成ほか				その他		1枚	「南信州新聞社」封筒入り。遺族に返却。
212		[写真]			『川端康成自選集』(昭和41年)の写真、羽生に謹呈の川端自署あり				その他		1枚	「南信州新聞社」封筒入り。遺族に返却。
その他												
213		国立国会図書館文書預り書										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角5封筒	1点	213-2～5番所収。「東京大学出版会」封筒。
	2	借用証	国立国会図書館憲政資料室広瀬順皓	羽生三七	笠信太郎書翰ほか借用につき				書類	A5ペン書・ルーズリーフ	1枚	
	3	借用証	広瀬順皓	羽生三七	有沢広巳書翰借用につき		10	29	書類	A5ペン書・ルーズリーフ	1枚	
	4	[名刺]	広瀬順皓		広瀬は国会図書館憲政資料室				その他	活版	1枚	
	5	[名刺]	伊藤隆		伊藤は東京大学教授				その他	活版	1枚	
214		[封筒]	羽生三七		表紙に「鈴木茂三郎・高野実その他諸氏の書信在中」とペン書あり(中身なし)				その他	角6封筒	1点	「月刊伊那」封筒。
215		[封筒]			表紙に「編集委員石川真澄様」とペン書あり(中身なし)				その他	角1封筒	1点	「政治広報センター」封筒。
216		[表題を記した原稿用紙]			表紙に「祖父・父古い資料 特重要資料 大切」とペン書あり				その他	原稿用紙	1点	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
羽生三七宛 政治家・知人など書簡												
217		[羽生三七宛書簡一括封筒入り]										無記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	217-2～84番所収。
	2	羽生三七宛 有沢広巳書簡	有沢広巳	羽生三七	戦局も愈々苛烈、両親を信州地方に疎開致させたく、斡旋の御願い	昭和	2	21	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	「大東亜研究室」原稿用紙。217-2、3番の包み紙あり。
	3	羽生三七宛 有沢広巳書簡	有沢広巳	羽生三七	疎開に関し御尽力の御礼、浅川駅(中央線)の奥に疎開しようと考えます、10日の空襲で下町一帯は火の海、大震災の時と同じ惨状	昭和	3	16	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	「大東亜研究室」原稿用紙。
	4	羽生三七宛 池田勇人書簡	池田勇人	羽生三七	入院につき御見舞の御礼	昭和	10	24	書簡	活版	1通	217-4、5番の包み紙あり。
	5	羽生三七宛 池田勇人書簡	池田勇人	羽生三七	無事退院につき御礼	昭和	12	28	書簡	活版	1通	
	6	羽生三七宛 稲葉秀三書簡	稲葉秀三	羽生三七	選挙には是非連勝して下さい	昭和	6	3	書簡	B5ペン書・原稿用紙	1通	「稲葉用箋」使用。包み紙あり。
	7	羽生三七宛 江田三郎書簡	江田三郎	羽生三七	日本社会党を離れ「社会市民連合」(仮称)を結成しました	昭和	4	1	書簡	活版	1通	
	8	離党にあたって	江田三郎		日本社会党離党、「社会市民連合」(仮称)発足、参議院選挙立候補にあたって	昭和	3	26	書類	活版	1点	217-7番の同封物。
	9	羽生三七宛 江幡清書簡	江幡清	羽生三七	なぜ参院に立候補したかという先生の御話をラジオで聞きました	昭和	7	19	書簡	ペン書・葉書	1通	217-9～11番の包み紙あり。
	10	羽生三七宛 江幡清書簡	江幡清	羽生三七	「ある社会主義者 羽生三七の歩いた道」出版記念会の発起人の件承知	昭和	2	16	書簡	ペン書・便箋	1通	
	11	羽生三七宛 江幡清書簡	江幡清	羽生三七	その後、御病気の方はいかがですか	昭和	9	12	書簡	ペン書・葉書	1通	
	12	羽生三七宛 風見章書簡	風見章	羽生三七	別種三紙を用ゆ				書簡	墨書	1通	包み紙あり。
	13	羽生三七宛 具島兼三郎書簡	具島兼三郎	羽生三七	東京朝日欧亜部次長畑中正春君にソ連の話でも聞かれています、立候補中止の由、急ぐ必要もありません	昭和	2	26	書簡	B5ペン書・罫紙	1通	「南満州鉄道株式会社東京支社」罫紙。217-13、14番の包み紙あり。
	14	羽生三七宛 具島兼三郎書簡	具島兼三郎	羽生三七	読売争議のため大分疲れ、4、5日寝込みました	昭和	8	5	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	
15	羽生三七宛 楠田実書簡	楠田実	羽生三七	残暑お見舞い、退任に際してのご配慮に対するお礼	昭和	8	21	書簡	印刷・ペン書・葉書	1通	217-15、38、64、65番の包み紙あり。	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
217	16	羽生三七宛 久保田昭夫書簡	久保田昭夫	羽生三七	暑中お見舞い、当事務所(旬報法律事務所)全面改装することになりました	昭和58	8	3	書簡	活版・業書	1通	
	17	羽生三七宛 後藤徹太書簡	後藤徹太	羽生三七	沢村克人の消息につき(封筒に「東京での出版会に出席して下さいそのあと家を訪問して下さい」と記載あり)	昭和57	5	17	書簡	ペン書・便箋	1通	217-17~33番は「後藤隆之助氏 徹太さんより」と記載の包み紙入り。
	18	羽生三七宛 後藤徹太書簡	後藤徹太	羽生三七	先般、父隆之助永眠の際には御弔辞ならびに御香資を賜わり有難うございました、95才の生涯でございました	昭和59	9	11	書簡	ペン書・便箋	1通	
	19	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	家内との最後の別れ、全斗煥には聊か失望、寧ろ北朝鮮の御大将の方が優っております、全は曾ての東条程度の男か	昭和55	9	21	書簡	ペン書・便箋	1通	
	20	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	林檎の御願ひ恐縮、白隠禪師の夜船閑話を再読	昭和55	11	20	書簡	ペン書・便箋	1通	
	21	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	林檎代送金致しました、白隠禪師の夜船閑話を読んでおります	昭和55	12	18	書簡	ペン書・業書	1通	
	22	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	林檎に就て大変御配慮を煩わし、白隠禪師健康法と逸話	昭和55	12	26	書簡	ペン書・便箋	1通	
	23	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	年賀状、関口商店の支払い未了分につき	昭和56	1	4	書簡	ペン書・業書	1通	
	24	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	入金次第関口商店の方は解決の予定	昭和56	1	9	書簡	ペン書・罫紙	1通	「壮年団中央協会」罫紙。
	25	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	市川さん逝去、貴方と市川さんは参議院の名物であったが惜しいこと	昭和56	2	13	書簡	ペン書・罫紙	1通	「壮年団中央協会」罫紙。
	26	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	今度送りました白隠禪師につき	昭和56	3	2	書簡	ペン書・罫紙	1通	「壮年団中央協会」罫紙。
	27	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	貴方の御病気の根源が不眠症にあると知って以来、真剣に研究を進めております	昭和56	3	6	書簡	ペン書・業書	1通	
	28	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	足心で呼吸し乍ら悠々御静養願度存じます	昭和56	4	26	書簡	ペン書・業書	1通	
	29	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	その後御病状如何ですか、一度木曾にも行って見たいと思っております	昭和56	7	2	書簡	ペン書・業書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
217	30	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	貴方の伝記出版記念祝賀会発起人に加へて頂く事は光栄なる次第	昭和57	2	12	書簡	ペン書・便箋	1通	
	31	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	御病気の方その後如何	昭和57	9	15	書簡	ペン書・便箋	1通	「昭和研究会」用箋ほか。
	32	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	昨秋入院、三週間程病院生活致しました	昭和58	2	12	書簡	ペン書・便箋	1通	
	33	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	橋本清之助君のしのぶ会に参りました、帰りは酒井三郎の車で帰って来た、後藤文夫さん御一族も参っておられた	昭和58	7	30	書簡	ペン書・便箋	1通	
	34	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	今後の戦争は一体どうなるか、日本のとるべき態度、華国鋒の行動、ソ連の態度	昭和53	9	8	書簡	ペン書・便箋	1通	217-34～37番は封筒に一括。
	35	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	政界の事、新聞をよみあきれ果てておりますが、御退隠されておつてよかったですと存じます、茲で一大革新が肝要	昭和54	11	28	書簡	墨書・便箋	1通	
	36	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	先日頂いた飯田中央農協の林檎の御礼、官僚の農村指導も改めねばならぬ時代到来	昭和54	12	2	書簡	墨書・便箋	1通	「昭和研究会」用箋。
	37	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	大東亜研究室に就ては先日始めて知る、御執筆者が朝日新聞の記者なる事は好都合、今日は昭和塾友会中心にて大来君の祝賀会	昭和54	12	17	書簡	墨書・便箋	1通	
	38	羽生三七宛 近衛文麿書簡	近衛文麿	羽生三七	全快退院につき御礼	昭和19	2	28	書簡	活版・葉書	1通	包み紙あり。
	39	羽生三七宛 向坂逸郎書簡	向坂逸郎	羽生三七	無事帰りました、これからは時々講演等ではなく伊那地方に親しみたく存じます	昭和26	9	5	書簡	ペン書・葉書	1通	
	40	羽生三七宛 向坂逸郎書簡	向坂逸郎	羽生三七	年賀状	昭和56	1	12	書簡	ペン書・葉書	1通	包み紙あり。
	41	羽生三七宛 佐佐弘雄書簡	佐佐弘雄	羽生三七	貴簡拝受、御帰省晴耕雨読の御生活に御沈潜の趣拝承	昭和16	5	5	書簡	墨書・状	1通	217-41、42番の包み紙あり。
	42	羽生三七宛 佐佐弘雄書簡	佐佐弘雄	羽生三七	御見舞拝謝、家の件等厚く御礼	昭和29	4	29	書簡	墨書・葉書	1通	
	43	羽生三七宛 島田紅帆書簡	島田紅帆	羽生三七	「農民組合は今後如何に進むべきか」を聴きました、私は最近日農組合に入ったもので、御指導を頂きました		11	2	書簡	ペン書・葉書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
217	44	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	綱領政策の作製、結成準備委員、県連(長野)について、結党式は11月2日、お出で下さい	昭和20	10	3	書簡	鉛筆書・罫紙	1通	217-44～50番の包み紙あり。
	45	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	地元からは昨夜も、社会党の現状の打開について責められた始末	昭和23	7	28	書簡	ペン書・葉書	1通	
	46	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	奥さんはお丈夫のやうにお見受けしたのだが、大きな打撃をうけて居られることと察し入ります	昭和28	11	20	書簡	ペン書	1通	
	47	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	鳩山も重光も兄のことは口を極めて賞めておりました	昭和30	8	17	書簡	ペン書・葉書	1通	
	48	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	労働党もたいへんのですが、これはなんとかやっつけませう、西独の社民は対ソ強硬を旗印にして行こうとするところに危ふなき、まちがひがある	昭和35	9	28	書簡	ペン書・葉書	1通	
	49	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	山口氏や皆さんとおめにかかりたい念願、承まれば御入党的の由、何分よろしく			19	書簡	ペン書・葉書	1通	
	50	羽生三七宛 鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	羽生三七	選挙も労組のせんきよでいつまでもあったのでは党は亡びますね			28	書簡	ペン書・葉書	1通	日刊平民新聞社の絵葉書。
	51	羽生三七宛 高野実書簡	高野実	羽生三七	加藤、鈴木等も是非此の際羽生君のケッキを促すやうにとのこと、報告(I)～報告(V)有馬や船田を担いだ勢力、「労働組合準備会」を組織、人民叢書出版、左翼・中間・右翼各派各様のグループ出来てゐる	昭和20	9	30	書簡	B5ペン書・便箋	1通	217-51～54番の包み紙あり。
	52	羽生三七宛 高野実書簡	高野実	羽生三七	革新自治とは何んですか、日本の階級闘争は重大な段階	昭和47	10	24	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	217-52、53番は「高野君からの手紙」と朱書の封筒入り。
	53	羽生三七宛 高野実書簡	高野実	羽生三七	猪俣研究3号をお贈りします		2	7	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	
	54	羽生三七宛 高野実書簡	高野実	羽生三七	国会における奮闘深謝、戸叶氏の佐藤に対する質疑をききあき果てました	昭和46	7	23	書簡	ペン書・葉書	1通	
	55	羽生三七宛 富田健治書簡	長野県知事富田健治	羽生三七	長野県農地委員会委員に任命の御依頼	昭和14	1	17	書簡	タイプ印刷	1通	217-55～57、59の包み紙あり。
	56	羽生三七宛 富田健治書簡	長野県知事富田健治	羽生三七	長野県経済調査会委員依頼	昭和14	4	6	書簡	ガリ版	1通	封筒なし。
	57	羽生三七宛 富田健治書簡	長野県知事富田健治	県会議員羽生三七	長野県経済調査会蚕糸業部専門委員依頼	昭和14	8	22	書簡	タイプ印刷	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考	
217	58	羽生三七宛 富田健治書簡	富田健治	羽生三七	時局は予想通りに進行、之に伴ふ政治の一向に進展を見ないと云ふ事は情けないこと	昭和	10	16	書簡	ペン書・葉書	1通	217-58, 60~62番の包み紙あり。	
	59	羽生三七宛 富田健治書簡	長野県経済調査会長・長野県知事富田健治	羽生三七	経済調査会経済改善部々委員会開催の通知	昭和	12	21	書簡	タイプ印刷	1通		
	60	羽生三七宛 富田健治書簡	富田健治	羽生三七	過日は、愉快なる一夕を過ごすことを得厚く御礼、笠、林両氏にはよろしく御伝言願う	昭和	1	26	書簡	ペン書・葉書	1通		
	61	羽生三七宛 富田健治書簡	富田健治	羽生三七	内閣書記官長退官、貴族院議員就任の挨拶	昭和	11	24	書簡	活版・葉書	1通		
	62	羽生三七宛 富田健治書簡	富田健治	羽生三七	御上京の節は、当平塚宅にお泊りのつもりでお越し下さい	昭和	2	20	書簡	ペン書・葉書	1通		
	63	羽生三七宛 富田健治書簡	富田健治	羽生三七	鼎村における数十分間は、非常な感激でありました、貴君より村民諸君によるしく御伝言を願う		7	19	書簡	墨書・便箋	1通		
	64	羽生三七宛 中曽根康弘書簡	中曽根康弘	羽生三七	『戦後日本の外交』拝受、主張を超えてふれ合うものを発見して幸い	昭和	46		書簡	ペン書・葉書	1通	217-64, 65番の包み紙あり。	
	65	羽生三七宛 中曽根康弘書簡	内閣総理大臣中曽根康弘	羽生三七	新宿御苑の八重桜御来観の案内	昭和	59	4	書簡	活版・葉書	1通	「新宿御苑案内図」、「入場整理券」など同封。	
	66	羽生三七宛 西村栄一書簡	西村栄一	羽生三七	選挙も終盤戦、御当選あらむ事を衷心より御祈り致して居ります	昭和	59	5	25	書簡	ペン書・便箋	1通	包み紙あり。
	67	羽生三七宛 日本社会党松本支部書簡	日本社会党松本支部	羽生三七	羽生先生を囲む新春座談会の案内	昭和	37	12	30	書簡	活版・葉書	1通	
	68	羽生三七宛 鳩山一郎書簡	鳩山一郎	羽生三七	芳墨拝誦致しました	昭和	30	7	27	書簡	ペン書・葉書	1通	封筒に在中。
	69	金田正義宛 羽生三七書簡	羽生三七	金田正義	日本社会党公認参議院議員候補者(長野地方)立候補の挨拶	昭和	22		書簡	活版・葉書	1通		
	70	綿貫紀子宛 羽生三七書簡	羽生三七	綿貫紀子	日本社会党公認参議院議員候補者(長野地方)立候補の挨拶	昭和	22		書簡	活版・葉書	1通	差出人名は青木正。	
	71	小林武夫宛 羽生三七書簡	羽生三七	小林武夫	参議院議員選挙立候補の御挨拶	昭和	28	4	書簡	活版・葉書	1通		
	72	羽生三七宛 福田赳夫書簡	福田赳夫	羽生三七	内閣総理大臣、自由民主党総裁辞任の挨拶	昭和	53	12	1	書簡	活版・葉書	1通	217-72, 73番の包み紙あり。
	73	羽生三七宛 福田赳夫書簡	福田赳夫	羽生三七	世界が何か戦前昭和初期のような様相です、あなたの見識が愈々要求されている秋です	昭和	57	4	19	書簡	ペン書・葉書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
217	74	羽生三七宛 保利茂書簡	保利茂	羽生三七	衆議院議長就任の御挨拶	昭和51	12	24	書簡	墨書・葉書	1通	217-74~76番の包み紙あり。
	75	羽生三七宛 保利茂書簡	保利茂	羽生三七	国会に於ける御活躍の御姿を拝見、先生が若し一党を率いて居たら、と思いますこと一再ならずでした	昭和52	7	5	書簡	ペン書・葉書	1通	
	76	羽生三七宛 保利茂書簡	保利茂	羽生三七	病氣御見舞につき御礼	昭和54	2	16	書簡	活版・葉書	1通	
	77	羽生三七宛 馬島憊書簡	馬島憊	羽生三七	奥様のなくなられた事への悼みを申し損ねておりました	昭和28	12	28	書簡	ペン書・便箋	1通	217-77,78番の包み紙あり。
	78	羽生三七宛 馬島憊書簡	馬島憊	羽生三七	今日の日共の指道ぶりにはあきれて物が言へません、フルチョフ氏が原爆実験の声明をした時反対したため日共から追い出された私です、参院選で野坂君は落ちるのではないか、その方が日共のためになる	昭和37	12	22	書簡	ペン書	1通	
	79	羽生三七宛 三木武夫書簡	三木武夫	羽生三七	自民党総裁選出馬決意への激励に対する御礼	昭和45	10		書簡	活版	1通	217-79~82番の包み紙あり。
	80	総裁選出馬の決意表明	三木武夫			昭和45	9	24	書類	活版	1枚	217-79番の添付物。
	81	七〇年代の日本を思う(於 軽井沢研修会)	三木武夫			昭和45	9	15	冊子	B6活版	15頁	217-79~82番の包み紙に所収されていたもの。
	82	羽生三七宛 三木武夫書簡	三木武夫	羽生三七	ソ連・東欧はなかなか興味があります(ワルシャワにて)	昭和51	7	27	書簡	ペン書・葉書	1通	
83	羽生三七宛 尾崎哲之助書簡	尾崎哲之助	羽生三七	お借りした笠信太郎の手紙返却につき	昭和43	6	7	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	「朝日新聞社図書部用箋」。尾崎は朝日新聞東京本社図書編集第一部笠信太郎全集刊行係。	
84	羽生三七宛 笠信太郎書簡	笠信太郎	羽生三七	御申越の問題の要領送付につき(単一為替レート設定をめぐって、西ドイツとの比較、レート設定の結果)	昭和24	4	23	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	217-83番の同封物。	
羽生三七宛 引退挨拶への返書												
218		[昭和52年羽生三七引退挨拶への返書]										218~220番は封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	218~220番所収。
	2	[包み紙]							その他	状	1枚	218番の包み紙、「77(S52)引退」と記載。
	3	羽生三七宛 赤城宗徳書簡	赤城宗徳	羽生三七	参議院から先生の姿を見ることが出来なくなりましたことは参議院の存在価値を低減するものと思つて残念です	昭和52	6	30	書簡	ペン書・葉書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
218	4	羽生三七宛 石田博英書簡	石田博英	羽生三七	御引退残念、日ソ関係について御志しをつぎ何とか潤滑油の役割を果たしたいと決意してゐます	昭和52	8	19	書簡	ペン書・葉書	1通	
	5	羽生三七宛 小川一平書簡	小川一平	羽生三七	永い間に亙り御教導賜はり御礼申し上げます	昭和52	7	11	書簡	ペン書・葉書	1通	
	6	羽生三七宛 後藤隆之助書簡	後藤隆之助	羽生三七	議会を去つての山中の生活は如何、君は金も使はず長野県の為にもそれ程おつとめもせず、沢山の票を集めいつも当選して来たが不思議に思はれます	昭和52	7	12	書簡	ペン書・便箋	1通	
	7	羽生三七宛 関龍夫書簡	関龍夫	羽生三七	長い間御苦勞様でした、私は今は共産黨員ですが、以前同志として運動致しました頃をなつかしく思ひます	昭和52	6	28	書簡	ペン書・葉書	1通	
	8	羽生三七宛 田牧保書簡	田牧保	羽生三七	私も結党以来の黨員として青春時代のほとんどを社会党の運動と共にすごしてきた、現在は社会党はこれでよいかと問う	昭和52	6	27	書簡	ペン書・葉書	1通	
	9	羽生三七宛 野々村一雄書簡	野々村一雄	羽生三七	六日付の御挨拶状感慨深く拝見、私も一九七六年で一橋大学を停年退職、千葉商科大学に就職いたしました	昭和52	10	3	書簡	ペン書・葉書	1通	
	10	羽生三七宛 原虎三郎書簡	原虎三郎	羽生三七	長い間の最高最善のお勤めご苦勞さま、鼎村長以来(もっと遡れば青年運動以来)すこしのゆるみもない渾身の力、吉田内閣以来外交問題ではいつもすぐれた方向付けをなされた数々	昭和52	7	18	書簡	ペン書・葉書	1通	
	11	羽生三七宛 平田敬一郎書簡	平田敬一郎	羽生三七	今般御勇退の由、敬意を表し、今後とも一層の御活躍をお祈りします	昭和52	6	27	書簡	ペン書・葉書	1通	
	12	羽生三七宛 堀込孫一書簡	堀込孫一	羽生三七	長い参院生活ご苦勞さま、最近の社会党の党内抗争を見ていると「社会党よどこへ行く」と疑問を投げたくなります	昭和52	8	1	書簡	ペン書・葉書	1通	
	13	羽生三七宛 前島忠夫書簡	前島忠夫	羽生三七	永年の議員の御生活有終の美、御帰郷の趣、心より御喜申上ます	昭和52	6	28	書簡	墨書・葉書	1通	
	14	羽生三七宛 宮沢泰書簡	宮沢泰	羽生三七	政界御引退の御挨拶状への御礼	昭和52	7	3	書簡	ペン書・便箋	1通	
	15	羽生三七宛 百瀬嘉郎書簡	百瀬嘉郎	羽生三七	貴兄の歩まれた道はそのまま近代日本の思想史です、ご苦勞様でした	昭和52	6	28	書簡	ペン書・葉書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
218	16	羽生三七宛 若林卓弥書簡	若林卓弥	羽生三七	御勇退の御知らせ拝受、御苦勞様でした	昭和52	6	25	書簡	ペン書・葉書	1通	
羽生三七宛 「社会党と私の30年」ほか読後感に関する書簡												
219		[[「社会党と私の30年」ほか読後感に関する書簡]										包み紙あり。
	1	[包み紙]							その他	状	1枚	219番の包み紙、「77 S52 社会党と私の30年」など記載あり。
	2	羽生三七宛 稲村隆一書簡	稲村隆一	羽生三七	毎日新聞掲載の貴殿論文宰相論は立派な論文です、政策の一致しない革新連合政権など誰も信ずるものはありません、今迄候補者のないときは三宅君を支持した同盟、民社は今度は殆んど自民党を応援しました	昭和55	7	2	書簡	ペン書・便箋	1通	
	3	羽生三七宛 岡一太書簡	岡一太	羽生三七	朝日でごらん下さったようで、ほんとは恥かしいのです	昭和55	9	18	書簡	ペン書・葉書	1通	
	4	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	本日の朝日新聞「声」欄に「新議員が学ぶべき羽生三七の半生」の投稿がありました	昭和55	6	28	書簡	ペン書・葉書	1通	
	5	羽生三七宛 高良とみ書簡	高良とみ	羽生三七	「月刊社会党」熟読、「永世中立」の分らぬ石橋君に失望致し居ります	昭和56	7	11	書簡	ペン書・葉書	1通	
	6	羽生三七宛 法眼晋作書簡	法眼晋作	羽生三七	朝日新聞紙上に連載された貴先生の話に感銘、本日読売紙上の無党派層と政治実践の御説も同感です	昭和52	6	4	書簡	ペン書・便箋	1通	
	7	羽生三七宛 細川正書簡	細川正(日本社会党中央本部機関紙局)	羽生三七	『月刊社会党』の読者にも好評、また御執筆お願いできれば幸いです	昭和55	12	9	書簡	ペン書・便箋	1通	
	8	羽生三七宛 吉村克巳書簡	吉村克巳	羽生三七	朝日新聞連載の回顧録拝見、フルシチョフの墓の写真お送りします、小生は時事新報記者として片山内閣の頃から社会党を担当	昭和52	8	4	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	
羽生三七宛 「20世紀の軌跡」読後感に関する書簡												
220		[[「20世紀の軌跡」読後感に関する書簡]										包み紙あり。
	1	[包み紙]							その他	状	1枚	220番の包み紙、「20世紀の軌跡一九八〇(S55)」と記載。
	2	羽生三七宛 遠藤利信書簡	遠藤利信	羽生三七	朝日新聞連載「ある政治史」拝見	昭和55	6	27	書簡	ペン書・葉書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
220	3	羽生三七宛 岡一太書簡	岡一太	羽生三七	私も昭和初年の狂瀾時代から、同じ道入り、とうとう中国で亡命のような形でのがれ、戦争を8年横目ですごしてきました	昭和55	7	2	書簡	ペン書・葉書	1通	
	4	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	本日の朝日新聞読みました、私も昭和十年社会大衆党公認で秋田県会議員に当選、日本農民組合に所属、昭和二十二年参議院落選、二十六年増田町長に当選、二十七年退任、今日まで革新運動をしています	昭和55	4	8	書簡	ペン書・葉書	1通	
	5	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	本日最終回を拝読、実に万感胸にせまるものがあります、何れお会いする期を得たし	昭和55	6	22	書簡	ペン書・葉書	1通	
	6	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	故阪本勝君は首長は二期以上は無理であり悪政になる危険があると申して、蜷川京都府知事にも長期連続を忠告しました	昭和55	8	9	書簡	ペン書・葉書	1通	
	7	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	社会党の審議拒否には日本テレビの竹村健一世相批判と同じく賛成出来ません	昭和56	2	9	書簡	ペン書・葉書	1通	
	8	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	何と申しても長生きすることです、戦前社会大衆党のスローガンに「長生きせんとする人は大衆党え」としたこともあります、これも田所輝明の案でした	昭和56	3	3	書簡	ペン書・葉書	1通	
	9	羽生三七宛 小原慶次書簡	小原慶次	羽生三七	私は昭和十三年に満州に参りました、中原謹司、木村武雄、白井壮一、淡谷悠蔵、南喜一、田辺納、矢郷嘉蔵等が同行と記憶している日本農民連盟でした、日農の活動が出来ないので中野正剛の東方会系でした	昭和56	3	4	書簡	ペン書・葉書	1通	
	10	羽生三七宛 甲田寿彦書簡	甲田寿彦	羽生三七	佐々木忠綱先生は昔を回想しながら当時の青年運動と「羽生三七の青春像」を語ってくださいました、私は既成革新に絶望しました、朝日の「ある政治史」拝見しております	昭和55	6	17	書簡	ペン書・原稿用紙	1通	
11	開拓記念像のしおり	西富士長野開拓団		甲田寿彦の撰文	昭和55	4	12	書類	B4活版	2枚	220-10番の添付物と思われる。	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
220	12	羽生三七宛 田所八重子書簡	田所八重子	羽生三七	田所が亡くなりましたのは昭和九年十一月十九日です、当時の社会新聞御参考までに御送りいたします	昭和53	1	22	書簡	ペン書・便箋	1通	
	13	羽生三七宛 田所八重子書簡	田所八重子	羽生三七	「廿世紀の軌跡」拝見しています、飯田の運動の歴史を興味深く心にきざむ思い	昭和55	4	26	書簡	ペン書・葉書	1通	
	14	羽生三七宛 芳賀綾書簡	芳賀綾	羽生三七	朝日連載の先生の御足跡感銘深く拝読しております	昭和55	6	20	書簡	ペン書・葉書	1通	
	15	羽生三七宛 広重潔書簡	広重潔	羽生三七	小生も二十一年四月社会党に入党、熊本県下党員では党歴三位の党員、クリスチャンで、賀川豊彦、杉山元治郎、安部さん方御指導頂きました	昭和55	7	7	書簡	ペン書・便箋	1通	
	16	[名刺]	広重潔		広重は日本社会党熊本総支部顧問・日本社会党熊本本部会計監査・学校法人霊泉学園理事				その他	活版	1点	220-15番の同封物。
	17	羽生三七宛 松沢章雄書簡	松沢章雄	羽生三七	朝日信濃人国記にて先生の近況拝見、私は北京大学卒業、昭和二十八年より故松村謙三先生に師事	昭和58	1	17	書簡	B5ペン書・便箋	1通	「松沢章雄箋」を使用。
	18	羽生三七宛 松沢章雄書簡	松沢章雄	羽生三七	二十年も前に松村謙三先生が同郷と云ふことで羽生先生にお会いするように云はれながら御目に掛る機会を失ひました	昭和58	1	29	書簡	B5ペン書・便箋	1通	「松沢章雄箋」を使用。
	19	羽生三七宛 松沢美枝書簡	松沢美枝	羽生三七	朝日の「二十世紀の軌跡」拝見、ひょっとすると義兄(故須山計一)関係の記事が…位の思いで切り抜きをしておりました	昭和55	7	2	書簡	ペン書・便箋	1通	「鳩居」便箋。
20	羽生三七宛 松山幸雄書簡	松山幸雄(朝日新聞論説委員室)	羽生三七	石川君の二〇世紀の軌跡愛読、彼は今、朝日でいちばん筆の油ののりきった人	昭和55	4	30	書簡	ペン書・葉書	1通		
羽生三七発信書簡ほか												
221		[羽生三七発信書簡ほか]										包み紙あり。
	1	[包み紙]							その他	状	1枚	221番の包み紙。「父・印刷のはがき 年賀出版記念会等」と朱書。
	2	花井節治宛 羽生三七書簡	羽生三七	花井節治	羽生三七選挙事務所開き御案内	昭和46	5	31	書簡	活版・葉書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
221	3	桜川明巧宛 羽生三七書簡	羽生三七	桜川明巧	年賀状(八〇年代を迎えたわが国は、政治的混沌のもとで、財政再建、エネルギー、インフレ、教育、通貨、農業、福祉問題等きわめて困難な問題の解決を迫られるというきびしい年)	昭和55	1		書簡	活版・薬書	1通	
	4	参議院議員三十年羽生三七先生の功績を讃えはげます会の御案内	羽生三七先生の功績を讃えはげます会発起人会		発起人は林虎雄、溝上正男、村沢牧ほか、11月26日飯田商工会館にて	昭和53			書簡	活版・薬書	1通	返信薬書あり。
	5	羽生伝推薦者書簡	推薦人 石橋政嗣・林虎雄・溝上正男・村沢牧・清水勇ほか		石川真澄『社会主義者-羽生三七の歩いた道』(朝日新聞社)の推薦状	昭和57	3		書簡	活版・薬書	1通	
	6	羽生三七書簡	羽生三七		石川真澄『社会主義者-羽生三七の歩いた道』(朝日新聞社)の出版を祝う会御参会に対する御礼	昭和57	4		書簡	活版・薬書	1通	同一文3点。
	7	余録				昭和42	10	30	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
挨拶状												
222		[挨拶状]										
	1	御挨拶	新井蒼一・小林一雄		新井義之・小林美智子の結婚の挨拶および結婚祝賀会案内、羽生夫妻が媒酌人	昭和43	12		書簡	活版	1通	
	2	羽生三七・綾子宛 小林則子書簡	小林則子	羽生三七・綾子	先生の一位当選を耳にした時は本当に嬉しかったです	昭和46	7	17	書簡	ペン書・便箋	1通	
郵送物												
223		[羽生三七宛郵送物および送り状]										
	1	羽生三七宛 上木澄子・多加志書簡	上木澄子・多加志	羽生三七	『土田杏村とその時代』復刊第1号(第17号)送付につき	平成元	4	14	書簡	B5ワープロ	1通	
	2	土田杏村とその時代 復刊1号(17号)	上木敏郎			平成元	4	14	雑誌	B5活版	112頁	223-1番の送付物。
	3	羽生三七宛 上木敏郎書簡	上木敏郎	羽生三七	「自由大学運動六十周年記念誌」にお書きの御文章を拝読、同封の小冊およみいただければ幸い	昭和56	11	6	書簡	ペン書・便箋	1通	
4	精神的中国大使土田杏村	上木敏郎			昭和47	12		冊子	A5活版	27頁	「成蹊論叢」11号別刷(115~141頁)。223-3番の送付物。	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
223	5	土田杏村伝記資料蒐集の十四年	上木敏郎			昭和54	12		冊子	A5活版	23頁	「成蹊論叢」18号別刷(74~96頁)。223-3番の送付物。
	6	羽生三七宛 鈴木徹三書簡	鈴木徹三	羽生三七	聴きとりの節は宜しくお願ひします、大原社会問題研究所に資料の御寄贈を願ひます、御寄贈の資料は「鈴木茂三郎文庫」として保存しております	昭和60	8	15	書簡	A4ワープロ	1通	
	7	鈴木茂三郎(26)-日本社会主義運動史の一断面-	鈴木徹三			昭和54	12		雑誌	B4活版・コピー	7枚	「月刊社会党」279号(169~180頁)。223-6番の同封物。
	8	鈴木茂三郎(27)-日本社会主義運動史の一断面-	鈴木徹三			昭和55	1		雑誌	B4活版・コピー	5枚	「月刊社会党」280号(210~218頁)。223-6番の同封物。
	9	鈴木茂三郎(28)-日本社会主義運動史の一断面-	鈴木徹三			昭和55	2		雑誌	B4活版・コピー	5枚	「月刊社会党」281号(252~260頁)。223-6番の同封物。
	10	鈴木茂三郎(29)-日本社会主義運動史の一断面-	鈴木徹三			昭和55	3		雑誌	B4活版・コピー	8枚	「月刊社会党」282号(231~244頁)。223-6番の同封物。
	11	鈴木茂三郎(最終回)-日本社会主義運動史の一断面-	鈴木徹三			昭和55	4		雑誌	B4活版・コピー	5枚	「月刊社会党」283号(221~228頁)。223-6番の同封物。
	12	「労働大学」の創立について	鈴木徹三			昭和59	9	25	冊子	A5活版	13頁	「月刊社会党」1984年11月号掲載の「日本社会党労働大学の創立」をパンフレット化したもの。223-6の同封物。
	13	羽生三七宛 今村真直	今村真直	羽生三七	旧論入手拝見、雑誌「伊那」への私のコメント掲載をお許し願ひたい	昭和53	10	12	書簡	鉛筆書・罫紙	1通	
	14	鉄窓裡の幻想	羽生三七			昭和5	10	20	雑誌	B4活版・コピー	6枚	「天龍公論」第1年2号(6~14頁)。223-13番の添付物。
15	羽生三七宛 横山利秋書簡	横山利秋(衆議院議員)	羽生三七	協会の総会と円卓会議の準備をして居ります、円卓会議第二分科会(日ソの政治関係)での私の基調報告原案につき御批判を下されば幸いです	昭和57	4	1	書簡	B5ペン書・罫紙	1通	「衆議院」罫紙。	
16	第二分科会日ソ政治外交の発展について	横山利秋			昭和57			書類	B4ペン書・原簿用紙・コピー	14枚	223-15番の送付物。	
電報類												
224		[昭和34年参議院議員選挙関係電報綴ほか]										封筒に一括。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
224	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	224-2~5番所収。
	2	電報綴	羽生事務所	羽生三七	昭和34年6月2日執行第5回参議院議員通常選挙必勝祈願の電報	昭和34	5		書簡	タイプ印書	62通	「飯田下伊那地区交通運輸労働組合連合会加盟申込書」挿入あり。
	3	[電報綴]		羽生三七	昭和34年6月2日執行第5回参議院議員通常選挙当選祝賀の電報	昭和34	6		書簡	タイプ印書	172通	
	4	羽生三七宛 電報		羽生三七	昭和34年6月2日執行第5回参議院議員通常選挙当選祝賀の電報	昭和34	6		書簡	タイプ印書	3通	
	5	林虎雄著『過ぎて来た道』刊行に当たって	林虎雄回想録編纂委員長・長野県議会議員溝上正男		羽生三七は林虎雄回想録推薦者の一人	昭和56			書類	活版	1枚	
225		飯田商工会にて「羽生三七を励ます会」電報										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角3封筒	1点	225-2~22番所収。「参議院」封筒。
	2	羽生三七宛 秋山長蔵電報	秋山長蔵(社会党参議院議員会長)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	3	羽生三七宛 飛鳥田一雄電報	飛鳥田一雄(日本社会党委員長)	羽生三七	三十年の長きに渡り参議院理論家として活躍、社会主義運動入り一貫して働らく者の幸福を求めてこられた羽生さん	昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	ペン書の筆耕書込みあり。
	4	羽生三七宛 石橋政嗣電報	石橋政嗣(衆議院議員)	羽生三七	度々政策討論会に御一緒したことを思い出します、革新の政党政策にたえず生命をあたえようとされた御努力	昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	ペン書の筆耕書込みあり。
	5	羽生三七宛 ウスダキヨシ電報	ウスダキヨシ(県議)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	6	羽生三七宛 カシワギユズル電報	柏木ユズル(県会議員)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	7	羽生三七宛 加瀬完電報	加瀬完(参議院副議長)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	8	羽生三七宛 北沢清功電報	北沢清功(県議)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	9	羽生三七宛 キタムラマサオ電報	北村マサオ(日ソ親善協会)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	10	羽生三七宛 黒柳忠勝電報	黒柳忠勝(阿智村長)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	11	羽生三七宛 下平正一電報	下平正一(衆議院議員)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
12	羽生三七宛 玉木保電報	玉木保(県職労委員長)	羽生三七		昭和53	11	26	書簡	タイプ印書	1通		

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
225	13	羽生三七宛 中村茂電報	中村茂 (衆議院議員)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	14	羽生三七宛 ハニユウマ サアキ電報	羽生マサアキ (天竜広告社々 長)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	15	羽生三七宛 原茂電報	原茂	羽生三七		昭和 53	11	25	書簡	タイプ印書	1通	
	16	羽生三七宛 平岩平志電 報	平岩平志 (根羽村長)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	17	羽生三七宛 福田赳夫電 報	福田赳夫 (内閣総理大臣)	羽生三七	政治上の立場はこと なりましたがけれども、 羽生さんの卓越した 識見と公平無私な御 テイゲンは教えられ るところ少くなく、威 敬する友であったと 信じています	昭和 53	11	25	書簡	タイプ印書	1通	ペン書の筆耕書込み あり。
	18	羽生三七宛 宮下忠安電 報	宮下忠安(参議 院予算委員会調 査室専門委員)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	19	羽生三七宛 本島文男電 報	本島文男 (高森村長)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	20	羽生三七宛 山崎林齊電 報	山崎林齊 (上村長)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	
	21	羽生三七宛 ヤマモト電 報	ヤマモト(参議 院外務委員会調 査室長)	羽生三七		昭和 53	11	25	書簡	タイプ印書	1通	
	22	羽生三七宛 吉川金利電 報	吉川金利(飯田 商工会議所会 頭)	羽生三七		昭和 53	11	26	書簡	タイプ印書	1通	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
長野県関係												
226		伊那 24巻7号	伊那史学会		寺沢正人「明治三十八年の南信新聞」	昭和51	7	1	雑誌	A5活版	51頁	寺沢論文に赤鉛筆の印あり。
227		伊那 28巻10号	伊那史学会		羽生「赤石林道について」	昭和55	10	1	雑誌	A5活版	51頁	
228		伊那 29巻2号	伊那史学会		羽生「八〇年代日本の平和外交路線」	昭和56	2	1	雑誌	A5活版	51頁	
229		伊那 29巻5号	伊那史学会		後藤総一郎・波多江貴代美「羽生三七小論」	昭和56	5	1	雑誌	A5活版	51頁	同一二部。
230		伊那 29巻8号	伊那史学会		羽生「米要人についての回想」	昭和56	8	1	雑誌	A5活版	51頁	
231		オピニオン長野 34号	長野総合情報研究所		羽生「インタビュー日本社会党へ直言する(上)」	昭和55	11	18	雑誌	活版	30頁	
232		オピニオン長野 35号	長野総合情報研究所		羽生「インタビュー日本社会党へ直言する(下)」	昭和55	12	4	雑誌	活版	38頁	同一二部。
233		オピニオン長野 63号	長野総合情報研究所		羽生「何の活動もできぬ無念さ」(34頁)	昭和54	1	28	雑誌	活版	34頁	同一二部。
234		オピニオン長野 137号	長野総合情報研究所		「安田浄の取材レポート 故羽生三七さんの平和への願い」	昭和61	2	1	雑誌	活版	34頁	
235		季刊 地域と創造 3号	銀河書房		羽生・林虎雄・上条宏之「対談 日本の中の信州の政治」	昭和52	10	15	雑誌	A5活版	272頁	
236		月刊 信濃ジャーナル Vol. 31・1	新信州社		羽生「新春随想「国債」談議」	昭和55	1	10	雑誌	B5活版	124頁	
237		月刊 信濃ジャーナル Vol. 31・6	新信州社		羽生「「安居楽業」など滅相もない」	昭和55	6	10	雑誌	B5活版	84頁	
238		月刊 信濃ジャーナル Vol. 31・9	新信州社		羽生「信濃ジャーナルに寄せる「商業誌」に陥らぬよう」	昭和55	9	10	雑誌	B5活版	88頁	
239		月刊 信濃ジャーナル Vol. 33・7	新信州社		塩川清人「県政コンフィデンシャル 県会トロイカ体制の崩壊を喜ぶ」	昭和57	7	10	雑誌	B5活版	96頁	塩川論文に羽生の記事、赤マジックの印あり。
240		信濃 11月号	信濃毎日新聞社		羽生「ものゝ考へ方について」	昭和20	11	25	雑誌	A5活版	26頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
241		信濃往来 14号	信濃往来社		羽生「前途は愈々多難」	昭和26	10	10	雑誌	B5活版	34頁	
242		信濃往来 21号	信濃往来社		羽生「顔の右、組織の左」	昭和27	5	10	雑誌	B5活版	42頁	
243		信濃往来 3巻11号	信濃往来社		羽生「朝鮮休戦と米経済の動き」	昭和28	11	10	雑誌	B5活版	34頁	
244		信濃往来 4巻1号	信濃往来社		羽生「戦争の危機は遠のいた!」	昭和29	1	10	雑誌	B5活版	58頁	同一4部。
245	1	信濃往来 4巻6号	信濃往来社		羽生「両社の統一を衝く!尚“慎重”を要す」	昭和29	6	10	雑誌	B5活版	34頁	同一2部。
	2	[写真]			卯辰会選暦記念集合写真	昭和38	2	10	その他	縦10.6×横15.0cm		245-2~6番は「ホリキ写真館」封筒に一括で245-1番に挿入。「卯辰会選暦記念 昭和38年2月10日大宮温泉にて」と印刷あり。
	3	[写真]			宴会で乾杯する羽生の写真				その他	縦13.0×横9.0cm		裏に「羽生」と自筆鉛筆書あり。245-2番の写真と関連か。
	4	[写真]			野外宴会風景				その他	縦6.0×横8.5cm		羽生も被写体の一人。
	5	[写真]			領土問題で池田総理に質問中の羽生(テレビ中継を撮影)				その他	縦7.9×横11.7cm		裏に「昨年十一月 領土問題で池田総理に御質問中」と自筆鉛筆書あり。
	6	[卯辰会選暦記念会計報告・人名録]				昭和38			書類	B5ガリ版	1枚	245-2番被写体名前書き付けあり。
246		信濃往来 4巻8号	信濃往来社		羽生「特集 あの頃を語る!徳球弁護に立つ-LYL当時の思い出-」	昭和29	8	10	雑誌	B5活版	42頁	同一2部。
247		信濃往来 6巻6号	信濃往来社		羽生「政治のよしあしに就て-“政治を良くする座談会”から-」	昭和30	6	10	雑誌	B5活版	42頁	同一2部。
248		信濃往来 6巻2号	信濃往来社		羽生「随筆 思い出」	昭和31	2	10	雑誌	B5活版	42頁	
249		信濃往来 6巻10号	信濃往来社		羽生・藤沢藤雄対談「忙中閑談(七)弾圧に抗し続けた先駆時代-終戦の裡面工作あれこれ-」	昭和31	10	10	雑誌	B5活版	44頁	同一5部。
250		信濃往来 7巻11号	信濃往来社		羽生「要は“把握の仕方”にある!-ちかごろ心にとまった二、三のこと-」	昭和32	11	10	雑誌	B5活版	42頁	同一2部。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
251		信濃往来 8巻3号	信濃往来社		羽生「特集 岸政府の所信をただす郷土代表 須らく信を国民に問え」	昭和33	3	10	雑誌	B5活版	44頁	同一2部。
252		信濃往来 9巻1号	信濃往来社		羽生「当面する新たな課題-国債均衡主義で日本経済は救われるか-」	昭和34	1	10	雑誌	B5活版	64頁	
253		信濃往来 9巻12号	信濃往来社		羽生「軍備・外交・生活・災害!-病んで寝て“政治の貧困”を思う-」	昭和34	12	10	雑誌	B5活版	43頁	同一2部。
254		信濃往来 10巻8号	信濃往来社		羽生「特集 故・藤沢藤雄主幹追悼録 藤沢さんとの交際」	昭和35	8	10	雑誌	B5活版	58頁	
255		信濃産業新報 18巻194号	信濃産業新報社発行		羽生「農地改革の方向」	昭和22	1	30	雑誌	A6活版	41頁	
256		自由大学研究 別冊1 伊那自由大学の記録	自由大学研究会		羽生他7人「座談会 伊那自由大学と自由青年連盟他」	昭和54	10	10	雑誌	A6活版	72頁	同一2部。
257		自由大学研究 7号 第8回 春季研究例会の記録	自由大学研究会			昭和57	10	10	雑誌	A6活版	63頁	松沢兼人「信州自由大学の土壌」(討論2)に羽生の記事あり。
258		信州往来 7巻3号	信州往来社		橋本博「マスコミ街道散見(14)私の見た政治家群像」	昭和56	3	1	雑誌	B5活版	32頁	
259		信州往来 7巻4号	信州往来社		橋本博「マスコミ街道散見(15)私の見た政治家群像(続) 政策と政治で貫く 羽生三七」	昭和56	4	1	雑誌	B5活版	34頁	
260		信州往来 8巻1号	信州往来社		羽生他27名「みなさまおめでとう 誌上年賀状」	昭和57	1	1	雑誌	B5活版	62頁	
261		信州白樺 No. 29 特集 土田杏村と自由大学	信州白樺			昭和53	5	20	雑誌	A6活版	152頁	猪坂直一「土田杏村先生と自由大学」に傍線・赤線あり。
262		新信州 12巻1号	新信州社		羽生「理想と現実との問題-簡単に割り切るのは危険である-」	昭和36	1	10	雑誌	B5活版	56頁	
263		新信州 12巻4号	新信州社		羽生「まず政治の在り方を!-参議院予算委での代表質問-」	昭和36	4	10	雑誌	B5活版	38頁	同一2部。
264		新信州 12巻5号	新信州社		羽生「外交方針の基本を示せ!!-参議院予算委での質疑応答-(承前)」	昭和36	5	10	雑誌	B5活版	44頁	同一2部。
265		新信州 12巻10号	新信州社		羽生「集中豪雨のあとさき-郷土の災害に予定のソ連行きも中止して-」	昭和36	10	10	雑誌	B5活版	40頁	同一2部。
266		新信州 13巻5号	新信州社		羽生「外交は共通の広場で!」	昭和37	5	10	雑誌	B5活版	38頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
267		新信州 15巻11号	新信州社		羽生「北方領土とソ連の肚-直き々々会って叩いてみたが-」	昭和39	11	10	雑誌	B5活版	34頁	同一2部。
268		新信州 18巻1号	新信州社		羽生「二つの世界を歩いて-ベトナム問題を中心に-」	昭和42	1	10	雑誌	B5活版	56頁	同一2部。
269		新信州 18巻11号	新信州社		羽生「誌上訪問 云い分・聞き分(第一回)」	昭和42	11	10	雑誌	B5活版	60頁	同一2部。
270		信毎情報 創刊号	信濃毎日新聞社		羽生「農業生産調整法について」	昭和23	1	15	雑誌	B5活版	32頁	
271		信毎情報改題 月刊信毎1月号	信濃毎日新聞社		羽生「今年はどうしたい 党の質的發展に尽力」	昭和24	1	1	雑誌	B5活版	32頁	
272		中央裂線 Vol. 1	美しい郷土を創る会			昭和50	6	20	雑誌	A6活版	58頁	
273		中央裂線 Vol. 2	美しい郷土を創る会		羽生「「中央裂線」創刊号を読んで」	昭和50	11	10	雑誌	A6活版	64頁	
274		土田杏村とその時代 7・8合併号 特集「自由大学運動」	上木敏郎			昭和43	3	20	雑誌	B5活版	67頁	表紙に「謹呈 羽生三七様 上木敏郎」とペン書あり。
275		天龍公論 1年2号	天龍公論社		羽生「鉄窓裡の幻想」	昭和5	10	20	雑誌	A6活版	21頁	
276		日本の屋根 No. 228	信越放送株式会社			昭和54	5	1	雑誌	A5活版	34頁	13頁の「池上謙策」(出身地 下伊那・生田村)に赤線引き。
277		ぬかご 57号	飯田下伊那歌人連盟		表紙裏に「ある社会主義者-羽生三七の歩いた道-」出版記念会写真掲載(羽生も被写体の一人)	昭和57	7	5	雑誌	A5活版	33頁	表紙に「表紙裏 於飯田の出版記念会写真33頁その記事掲載」と鉛筆書あり。
278		南・信濃 2号	信濃文化経済社			昭和53	7	1	雑誌	A4活版	21頁	表紙に「保存「伊那谷の顔」羽生三七」と墨書あり。串原義直「伊那谷の顔」に羽生の写真掲載。
279		夕樺 1巻3号	夕樺社		羽生白葉「雨の深夜」	大正10	3	1	雑誌	活版	22頁	
280		飯田・下伊那の戦争遺跡-飯田下伊那の戦争遺跡ハンドブック-	長野県歴史教育者協議会下伊那支部			平成2	9	15	冊子	B5活版	46頁	
281		伊那自由大学関係書簡(横田家所蔵)	山野晴雄			昭和48	9	1	冊子	活版	140頁	自由大学研究会発行。
282		会報	下伊那郡聯合青年会			昭和10	1	11	冊子	活版	24頁	昭和9年度会報。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
283		鼎町壮年団史-長野県下伊那郡鼎町壮年活動四十年の記録-	鼎町壮年団史編集委員会			昭和41	2	10	冊子	活版	61頁	裏表紙に「贈呈 鼎町壮年団」の印鑑あり。
284		結成40周年記念祝賀会	日本社会党長野県本部			昭和59	3	22	冊子	B5活版	10頁	とき・1984年3月22日、 ところ・長野市県町 長野国際会館。
285		結党50周年記念小史 昭和20年～平成7年	日本社会党飯伊総支部		羽生「あしあと 社会党再生への直言 不毛な原則論議 一時タナ上げを」	平成7	12	23	冊子	B5活版	87頁	
286	1	県評30年略史(年表)-1952-1982-	長野県労働組合評議会			昭和57	9		冊子	B5活版	189頁	
	2	「県評機関紙縮刷版」の贈呈について	長野県労働組合評議会 議長 岡田幸雄	各位		昭和57	10	5	書簡	B5ワープロ	1枚	286-1番に挿入。
287		長野県政史索引-付:図表一覧-	総務部文書学事課県政資料室			昭和48	12	15	冊子	B5活版	37頁	長野県発行。
288		はたち 昭和54年度 成人者記念文集	成人者記念文集編集委員会		羽生「寄稿「考える」ことの大切さ」	昭和54	10	20	冊子	B5活版	65頁	鼎町公民館発行。
289		復刻版 第一線	「第一線」復刻版刊行会		羽生「「第一線」の思い出」	昭和59	3	17	冊子	活版	81頁	「飯田市役所」の封筒に挿入。封筒表には「羽生三七様 市立飯田図書館 今村兼義」とペン書。「保存 第一線復刻版」と赤鉛筆書あり。
290		牧野元先生と大平街道改修	竹村浪の人						冊子	A5活版	13頁	
291		朝日新聞記者の証言7 信州の社会党	朝日新聞長野支局		信州社会党の展望に関する羽生の談話所収(264～267頁)	昭和56	12	30	書籍	活版	293頁	朝日ソノラマ発行。
292		郷土の歩み-長野県現代史-	土屋弼太郎			昭和24	9	15	書籍	A5活版	309頁	信濃毎日新聞社発行。
293		善意を世界に-平和実現の具体化へ-	小林多津衛			昭和46	7	20	書籍	B6活版	260頁	小林多津衛先生支援の会発行。
294	1	土田杏村と自由大学運動-教育者としての生涯と業績-	上木敏郎			昭和57	7	26	書籍	活版	278頁	誠文堂新光社発行。
	2	羽生三七宛 上木敏郎書簡	上木敏郎	羽生三七	著書謹呈の添書	昭和57	7		書簡	手書・コピー	1枚	294-1番に挿入。
295		転形期の文化運動-長野県の実践記録-	小林キジ			昭和52	9	20	書籍	活版	381頁	サントク書房発行。
296		長野県下の労働運動-長野県労働組合協議会史-	小林キジ			昭和28	6	15	書籍	A5活版	243頁	サントク書房発行。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
297		長野県下伊那社会主義運動史	佐々木敏二			昭和	1	10	書籍	A5活版	516頁	信州日報株式会社発行。
298		長野県評創立20周年記念階級的労働運動の要綱-戦後労働運動の一総括-	国際労働運動研究協会・労働運動部会 岩井章 編著			昭和	8	20	書籍	活版	294頁	社団法人国際労働運動研究協会出版局(労働文庫)発行。
299		変貌する信州-戦後政治労働界の動き-	信州政経懇話会			昭和	12	20	書籍	B6活版	169頁	白馬書房発行。
300		館報 西鼎 31号	西鼎分館		山田寿男「母から聞いたむかし話(2)満洲開拓と羽生三七さん」	平成	3	10	新聞	活版・原紙	4頁	
301		広報 かなえ 特集号				昭和	12	26	新聞	活版・原紙	4頁	
302		政治と青年 2号	政治と青年社			大正	9	20	新聞	活版・原紙	8頁	
303		政治と青年 26号	政治と青年社			大正	8	1	新聞	活版・原紙	6頁	
304		政治と青年 27号	政治と青年社			大正	8	10	新聞	活版・原紙	8頁	
305	1	政治と青年 28号	政治と青年社			大正	9	5	新聞	活版・原紙	8頁	2～5頁までの分2部あり。
	2	号外 政治と青年	政治と青年社			大正	8	17	新聞	活版・原紙	2頁	305-1番に挿入。
306		政治と青年										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。
	2	政治と青年 7号	政治と青年社			大正	11	10	新聞	活版・原紙	8頁	
	3	政治と青年 1号～34号	政治と青年社						新聞	活版・コピー	122枚	
307		団報 東壮年	東鼎支部編集委員会		創立55周年記念号、羽生「私と東部壮年団」				新聞	活版・原紙	4頁	
308		釣と獵 313号	信濃釣獵会			昭和	3	1	新聞	活版・原紙	4頁	
309		小林多津衛著『善意を世界に』推薦の言葉	小林多津衛先生支援の会		書籍案内	昭和	7		その他	活版	8頁	
310		小林多津衛著『善意を世界に』推薦の言葉	小林多津衛先生支援の会		書籍案内	昭和	1		その他	活版	2頁	「務台理作先生の手紙(『善意を世界に』に就いて)著者宛」パンフレットあり。
311		[佐々木敏二著『長野県下伊那社会主義運動史』出版案内]							その他	活版	1枚	

社会党関係

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
312		月刊社会党 創刊号	日本社会党		羽生他3人「座談会 第26国会を顧みて」	昭和32	5	10	雑誌	A5活版	80頁	
313		月刊社会党 68号	日本社会党機関紙局		羽生「日中問題と党外交路線」	昭和38	2	1	雑誌	A5活版	144頁	同一2部。
314		月刊社会党 75号	日本社会党機関紙局		羽生他2名「座談会 “核停時代”の外交路線」	昭和38	9	1	雑誌	A5活版	144頁	同一3部。
315		月刊社会党 78号	日本社会党機関紙局		羽生他1名「対談「アジア外交」への問題意識」	昭和38	12	1	雑誌	A5活版	144頁	
316		月刊社会党 82号	日本社会党機関紙局		羽生他4名「座談会 いまこそ日中国交回復を」	昭和39	4	1	雑誌	A5活版	160頁	
317		月刊社会党 88号	日本社会党機関紙局		羽生「ソ連・東欧をめぐる」	昭和39	10	1	雑誌	A5活版	184頁	
318		月刊社会党 208号	日本社会党機関紙局		羽生「随想 飯田線往来」	昭和49	5	1	雑誌	A5活版	232頁	
319		月刊社会党 227号	日本社会党機関紙局		羽生他4名「シンポジウム「非武装中立」政策の意義と今後の発展のために」	昭和50	11	1	雑誌	A5活版	264頁	同一2部。
320		月刊社会党 245号	日本社会党機関紙局		羽生「ある社会主義者の歩み 第一回 伊那谷をともした灯」	昭和52	4	1	雑誌	A5活版	236頁	
321		月刊社会党 246号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「ある社会主義者の歩み 第二回 平和の旗をかかげて」	昭和52	5	1	雑誌	A5活版	236頁	
322		月刊社会党 252号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「ロシア革命六十周年に思う 十月革命六十周年に思う」	昭和52	11	1	雑誌	A5活版	236頁	
323		月刊社会党 292号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「八〇年代・革新運動の再構築 八〇年代日本の平和外交路線-平和保障と非武装中立の実現へ-」	昭和55	12	1	雑誌	A5活版	220頁	
324		月刊社会党 341号	日本社会党中央本部機関紙局		「人物風土記 社会主義者の群像 長野 栃木 飛騨・木曾・赤石山脈を貫く先見と不屈の闘士たち」に羽生の記事あり	昭和59	9	1	雑誌	A5活版	228頁	
325		社会思潮 13号	日本社会党社会思潮編集局		羽生「日本農業の将来」	昭和23	5	1	雑誌	A5活版	64頁	同一2部。
326		社会主義 63号	社会主義協会		羽生「激動する中近東と東欧-最近の国際情勢について-」	昭和31	11	1	雑誌	A5活版	80頁	同一3部。
327		社会主義 75号	社会主義協会		羽生「平和への条件-日米共同声明と日本の安全保障-」	昭和32	11	1	雑誌	A5活版	80頁	同一3部。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
328		社会主義 121号	社会主義協会		羽生他3名「積極中立をどう進めるか」	昭和36	11	1	雑誌	A5活版	80頁	同一3部。
329		情報通信 25号	日本社会党政務調査部		「昭和二十六年の予算批判」などの記事あり	昭和26	2	15	雑誌	ガリ版	36頁	日本社会党教育宣伝局発行。表紙に「見本」と墨書あり。
330		資料 平和経済 66号	平和経済計画会議		羽生「海外論調解説 東欧・西欧・アメリカを歴訪して-ベトナム戦争にたいする反応-」	昭和41	11	10	雑誌	活版	50頁	
331		政策資料 No49	日本社会党政策審議会		羽生「インタビュー 社会主義への人づくり 羽生三七参院議員に聞く」	昭和37	11		雑誌	B5活版	45頁	政審資料改題。
332		社会党政権の探求 1970年をめぐって	平和経済計画会議		第6回総会記念研究会報告書、羽生「報告にたいする予定討議者のコメント 社会党の外交政策のあり方」	昭和41	11	5	冊子	活版	140頁	同一2部。
333		親愛なる全国の同志諸君の前に 新労農党樹立の提案	大山郁夫・上村進・細迫兼光			昭和4	8		冊子	活版	47頁	
334		1952年の前進 日本社会党運動方針書並に新外交方針と平和運動	日本社会党出版部			昭和27	3	1	冊子	B6活版	91頁	
335		反安保シリーズ 非武装中立 武器なき日本をめざして	日本社会党教宣局			昭和44	1	24	冊子	B6活版	70頁	社会新報発行。
336		平和への友好 社会党訪ソ・東欧使節団報告	日本社会党訪ソ・東欧使節団			昭和39	9	25	冊子	B6活版	104頁	日本社会党機関紙局発行。
337		傭兵、再軍備との闘い 二十七年度軍事予算と国民生活	日本社会党政策審議会		羽生「蒋介石、国府承認はアジアの危機を増大する 参議院本会議に於ける代表質問より」	昭和27	3	10	冊子	B6活版	57頁	日本社会党出版部発行。
338		労農党第二回大会議案	労農党本部			昭和5	12	15	冊子	活版	45頁	石原美行編集・発行、表紙に「山本 昭和四年」と鉛筆書あり。
339		社会新報 775号(臨時増刊) 社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「ソ連・東欧訪問記」「この眼でみた東欧」	昭和39	8	23	新聞	活版・原紙	8頁	同一3部。
340		社会新報 活動版 春闘方針特集号	日本社会党中央本部機関紙局			昭和40	2	20	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。
341		社会新報 号外	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「平和と生活を守る-第48国会参議院速記録から-」	昭和40	3	30	新聞	活版	16頁	同一3部。
342		社会新報 931号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「討論 国連の機能強化」	昭和41	5	29	新聞	活版・原紙	4頁	3～6面分。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
343		社会新報 日本社会党長野県本部新年特集号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「ベトナム問題での国際会議」	昭和42	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	号外。
344		社会新報 2183号	日本社会党中央本部機関紙局			昭和53	12	12	新聞	活版・原紙	4頁	3～6面分。
345		社会新報 2187号	日本社会党中央本部機関紙局			昭和53	12	26	新聞	活版・原紙	8頁	
346		社会新報 号外 運動方針特集号	日本社会党中央本部機関紙局			昭和57	1	20	新聞	活版・原紙	16頁	
347		社会新聞 ソ連東欧訪問記掲載紙										表題表記の封筒入り。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「長野県農業協同組合中央会」封筒。347-2番所収。
	2	社会新報 775号(臨時増刊) 社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「ソ連・東欧訪問記」「この眼でみた東欧」	昭和39	8	23	新聞	活版・原紙	4頁	同一12部。
ソ連関係												
348		今日のソ連邦 16号	ソビエト社会主義共和国連邦大使館			昭和39	8	15	雑誌	活版	32頁	同一4部。
349		社会新報 775号(臨時増刊) 社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央本部機関紙局			昭和39	8	23	新聞	活版・原紙	8頁	348番の挿入物。
350		今日のソ連邦 9号	ソビエト社会主義共和国連邦大使館			昭和40	5	1	雑誌	活版	40頁	
351		日刊APNプレスニュース No2266	ノーボスチ通信社 東京支局			昭和56	2	5	雑誌	活版	24頁	表紙に「要」とペン書あり。
352		日刊APNプレスニュース No2273	ノーボスチ通信社 東京支局			昭和56	2	17	雑誌	活版	24頁	
353		日刊APNプレスニュース No2275	ノーボスチ通信社 東京支局			昭和56	2	19	雑誌	活版	24頁	表紙に「保存重要」とペン書あり。
354		日刊APNプレスニュース No2764	ノーボスチ通信社 東京支局			昭和58	2	18	雑誌	活版	24頁	表紙に「保存」とペン書あり。
355		共産主義者の団結強化のために	L. I. プレジネフ			昭和44	7	10	冊子	活版	76頁	国際事情研究会発行。
356		現情勢下の主要政治課題について	G. フサーク			昭和44	7	10	冊子	活版	80頁	国際事情研究会発行。
357		世界一大きな国ソビエトを訪ねて	桜井俊夫		羽生「発刊に寄せて」	昭和48			冊子	活版	65頁	南信州新聞社印刷。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
358		1973年私たちの見たソ連邦	第一次日ソ親善長野県訪ソ代表团 桜井俊夫		羽生「理事長あいさつ」	昭和49	1	15	冊子	A5活版	40頁	
359		1980年度日ソ親善協会第16回総会 日ソ友好でアジアと世界の平和を！日ソ親善運動の輪を強く大きく	日ソ親善協会			昭和55	4	19	冊子	B5活版	51頁	
360		日ソ親善ソ連見聞録	第七次長野県親善訪ソ代表团			昭和54	12		冊子	A5活版	71頁	
361		日ソ関係と領土問題-ソ連はどう考えているか-	ソ連の店 白樺編集発行			昭和56	8	15	書籍	B6活版	124頁	裏扉に「贈呈 飯田市江戸浜町 漆原恒実」の印鑑あり。
362		北方領土問題資料集	南方同胞援護会			昭和43	3	20	書籍	A5活版	304頁	表紙に「外務調査室」の印鑑あり。
363		日ソ親善 160号	日ソ親善協会		羽生「核なき国に核を使うな ソ連が国際条約を提案」	昭和53	9	25	新聞	活版・原紙	4頁	
364		日ソ親善 172号	日ソ親善協会		羽生「真の平和への道」	昭和54	9	25	新聞	活版・原紙	4頁	同一6部。
365		日ソ親善 号外	日ソ親善協会			昭和55	1	20	新聞	活版・原紙	4頁	
366		日ソ親善 178号	日ソ親善協会			昭和55	3	25	新聞	活版・原紙	2頁	
367		日ソ親善 179号	日ソ親善協会			昭和55	4	25	新聞	活版・原紙	4頁	
368		日ソ親善 181号	日ソ親善協会			昭和55	6	25	新聞	活版・原紙	4頁	
369		日ソ親善 188号	日ソ親善協会			昭和56	1	25	新聞	活版・原紙	4頁	
社会運動関係												
370		月刊 労働組合 2巻1号	労働大学調査研究所		羽生「たたかいの足跡 伊那谷にともした灯火(上)農村青年を結集した自由青年連盟」	昭和43	1	1	雑誌	B5活版	67頁	労働大学発行。同一2部。
371		月刊 労働組合 2巻2号	労働大学調査研究所		羽生「たたかいの足跡 伊那谷にともした灯火(中)運動の高まりとともにきびしくなった弾圧」	昭和43	2	1	雑誌	B5活版	67頁	労働大学発行。同一3部。
372		月刊 労働組合 2巻3号	労働大学調査研究所		羽生「たたかいの足跡 伊那谷にともした灯火(下)」	昭和43	3	1	雑誌	B5活版	67頁	労働大学発行。同一2部。
373		国鉄文化 6巻2号	国鉄労組本部		羽生他2名「座談会 本年度国家予算の軍事的性格を衝く」	昭和27	3	25	雑誌	B5活版	80頁	同一2部。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
374		東京新聞増刊 問題 新年号	東京新聞社			大正14	1	1	雑誌	活版	24頁	
375		部落解放 6号	大阪部落解放研究所		羽生「不可侵・不可被侵」～七〇年安保と「松本思想」～	昭和45	1	15	雑誌	A5活版	206頁	同一2部。
376		社会主義大意 無産者パンフレット(1)	堺利彦述			大正11	10	23	冊子	B6活版	32頁	無産社発行。
377		払込通知書	日本赤十字社長野支部 長野市委員長	長野市南県町支部病院 三沢まさ子	収入委員へ金老円払込通知	昭和2	5	20	書類	活版	1枚	376番の挿入物。
378		社会主義講話叢書 常識の社会主義	北原龍雄			大正13	7	28	書籍	B6活版	112頁	民声社発行。
国会・選挙関係												
379		衆議院議員総選挙・参議院議員(地方区)選挙・参議院議員(全国区)選挙結果調	長野県選挙管理委員会			昭和28	4		冊子	B5活版	354頁	表紙に「羽生」とペン書あり。
380		選挙年鑑	自治庁選挙部			昭和28	1		冊子	B5活版	200頁	
381		選挙の記録	長野県選挙管理委員会		昭和34年執行の参議院議員通常選挙他2件の記載あり	昭和35	3		冊子	B5活版	257頁	
382		第一回参議院議員選挙一覧	参議院事務局		昭和22年度版	昭和25	3	5	冊子	B5活版	188頁	
383		第五〇回臨時国会 国会討論会⑨	NHK 報道局 政経番組部		出席者 羽生他4名	昭和40	11	28	冊子	A5活版	39頁	表紙に「No1」の赤ボールペン書あり。
384		第五五回特別国会 国会討論会⑬	NHK 報道局 政経番組部		出席者 羽生他4名	昭和42	5	28	冊子	A5活版	41頁	表紙に「No2」の赤ボールペン書あり。
385		第五八回通常国会 国会討論会⑬	NHK 報道局 政経番組部		出世者 羽生他5人	昭和43	3	24	冊子	A5活版	46頁	表紙に「No3」の赤ボールペン書あり。
伝記・回想録												
386		A Journalist's Memoir: 50Years' Experience In An Eventful Era	Junnosuke Ofusa						冊子	A5活版	45頁	前扉に「呈参議院議員羽生三七 昭和五十六年四月二十三日 大房順之助」とペン書あり。
387		父のこと			和歌・羽生の手紙など所収、「父」は羽生・岡村の文学運動「夕樺」に加わり社会運動に参加、4・16事件で検挙、年譜あり	昭和37	11	9	冊子	活版	12頁	
388		驀進 碓井佳雄追悼集	碓井佳雄追悼集刊行委員会		羽生「碓井君を偲んで」	昭和58	5	20	冊子	B5活版	72頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
389		溝上正男さんを語る 県議会議員在職三〇年表彰を記念して	風雪会事務局		羽生「長い盟友としての交り」	昭和56	3	1	冊子	A5活版	49頁	
390		元長野市長 牧野元翁追悼録	新井良男編纂			昭和45	4	25	冊子	A5活版	32頁	牧野弘道発行。
391		山川均全集 月報(5)	勁草書房		羽生「生涯の進路を決した山川宅の一夜」				冊子	活版	8頁	
392		私の歩いた道	羽生三七						冊子	A5活版	16頁	同一3部。
393		辞退した羽生三七さんの葛藤 石川真澄さんが思い出を語る				平成6	11	11	新聞	活版・切抜	1枚	392番の挿入物。「社会新報」3732号か。
394		ある社会主義者 羽生三七の歩いた道	石川真澄			昭和57	3	30	書籍	A5活版	302頁	朝日新聞社発行。
395		[羽生三七著書ほか書籍]										「武田用」とペン書がある封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。
	2	激動の昭和 信州政界問い語り	信濃毎日新聞社編集局			昭和63	2	25	書籍	A5活版	339頁	信濃毎日新聞社発行。
	3	戦後日本の外交 一野党議員の記録	羽生三七			昭和46	2	15	書籍	A5活版	274頁	三一書房発行。
396		過ぎてきた道	林虎雄著・溝上正男編纂			昭和56	7	15	書籍	活版	468頁	甲陽書房発行。
397		戦後日本の外交 一野党議員の記録	羽生三七			昭和46	2	15	書籍	活版	274頁	三一書房発行。裏面に「羽生三七」の鉛筆書あり。
398	1	懐かしい人々	溝上正男			昭和62	3	1	書籍	A5活版	287頁	甲陽書房発行。前扉に「謹呈 羽生綾子様 一九八七年三月 溝上正男」と記載。
	2	[名刺]	溝上正男		溝上は長野県議会議員(羽生に当てた溝上の礼文あり)				その他	活版	1枚	398-1番の挿入物。
399		若林忠一遺稿追悼誌	若林忠一遺稿追悼誌刊行委員会		羽生「北と南から運動に身を挺す」	昭和56	7	18	書籍	A5活版	343頁	
同人誌												
400		思想史研究草稿 5号 共同研究・民衆と学問-伊那自由大学の思想史的考察	明治大学政治経済学部政治学科 日本政治思想史演習室(後藤ゼミ)		波多江貴代美「羽生三七論」	昭和57	10	10	雑誌	活版	111頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
401		歴史と未来 6号	東京外国語大学 国際関係論 中 嶋嶺雄ゼミナ ール			昭和 54	11	20	雑誌	A5活版	114頁	
402		歴史と未来 7号	東京外国語大学 国際関係論 中 嶋嶺雄ゼミナ ール		羽生「野党外交三十年 -戦後日本の外交に携 わって-」	昭和 55	12	26	雑誌	A5活版	111頁	
403	1	歴史と未来 8・9合併号	東京外国語大学 国際関係論 中 嶋嶺雄ゼミナ ール			昭和 57	9	4	雑誌	A5活版	201頁	
	2	中嶋ゼミの会 『歴史と 未来』編集委員一同書簡	中嶋ゼミの会 『歴史と未来』 編集委員一同		『歴史と未来』第8・9 号送付につき添書	昭和 57	9	10	書簡	B5手書・ コピー	1通	403-1番の挿入物。
404	1	歴史と未来 11号	東京外国語大学 国際関係論 中 嶋嶺雄ゼミナ ール			昭和 59	12	12	雑誌	A5活版	128頁	
	2	中嶋ゼミの会 『歴史と 未来』編集委員一同書簡	中嶋ゼミの会 『歴史と未来』 編集委員一同		『歴史と未来』第11 号送付につき添書	昭和 59	12	12	書簡	B5手書・ コピー	1通	404-1番の挿入物。
405		伊那自由大学運動 60周 年記念の集い	自由大学研究 会・飯田歴史大 学・市立飯田図 書館		羽生「自由大学時代を 想い起して」	昭和 57	10	9	冊子	ガリ版	18頁	
406	1	現代への証し-知的リー ダーは語る-	東京外国語大学 国際関係論 中 嶋嶺雄ゼミナ ール		中嶋嶺雄ゼミナール25 周年記念『歴史と未 来』特別増刊号、第七 号特別寄稿の羽生「野 党外交三十年-戦後日 本外交に携わって-」 掲載	平成 3	12	11	冊子	A5活版	107頁	
	2	坂井一成書簡	『歴史と未来』 第18号 編集長 坂井一成		羽生論稿転載の御礼、 『現代への証し』謹 呈につき添書	平成 3	12	9	書簡	ワープロ	1通	
雑誌・論文コピー												
407		昭和研究会に対する評価	村田克己			昭和 39			雑誌	B5活版・ コピー	7枚	大東文化大学「東洋研 究」9号、59～72頁。
408		第二次世界大戦と日本の 領土問題	高野雄一						雑誌	B5活版・ コピー	12枚	「レファレンス」347 号、1979年5月稿、2～ 5、38～57頁。高野は上 智大学教授。
409		参議院選で問われている こと	福島新吾			昭和 55			雑誌	B4・B5活版・ コピー	4枚	「全通時報」1980年5月 号、47～52頁。福島は 専修大学教授。
410		裏面を暴く 回想大河小 説「海鳴り」	横山政男		「海鳴り」は社会党代 議士淡谷悠蔵の小説				雑誌	B5活版・ コピー	3枚	「週刊朝日」1983年5月 13日号、40～42頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
411		[論文コピー]										表紙に「保存 エコノミスト掲載」と赤鉛筆書がある封筒に挿入。
	1	[封筒]							その他	角4封筒	1点	「毎日新聞社出版局」封筒。
	2	ぜんそく、慢性気管支炎、肺気腫の人のための生活指導-図解による肺機能訓練法-							雑誌	A4活版・コピー	22枚	表紙に「医療法人(社団)健和会和田病院」のスタンプ印あり。
412		[ソ連関連事典事項コピー]										表紙に「資料 ソ連 芦田内閣」と赤鉛筆書がある封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「下伊那地区労働組合評議会」封筒。
	2	[現代教養百科事典 I・341頁コピー]	坪田敏一編集		社会主義諸国家の政治	昭和44	4	25	書籍	A4活版・コピー	2枚	
	3	[時事年鑑 昭和24年版 205・206頁コピー]			日本社会党				書籍	A4活版・コピー	2枚	
	4	[政治学事典 826・827頁コピー]	下中彌三郎編集		ソ同盟	昭和29	5	18	書籍	A4活版・コピー	2枚	
その他												
413		アサヒグラフ 1964年9月4日号	朝日新聞社		「ソ連、東欧40日の旅-社会党使節団-」	昭和39	9	4	雑誌	活版	58頁	同一2部。
414		朝日ジャーナル 13巻14号	朝日新聞社		「ルボ特集 知事選挙にみる地殻変動 長野自民、社会の乗取り合戦」	昭和46	4	9	雑誌	B5活版	118頁	
415		朝日ジャーナル 19巻29号	朝日新聞社		「参院選にみるアナクロニズム」	昭和52	7	15	雑誌	B5活版	110頁	
416		朝日ジャーナル 21巻29号	朝日新聞社		「特集「考えない時代」を考える」	昭和54	7	27	雑誌	B5活版	110頁	
417		朝日ジャーナル 24巻10号	朝日新聞社		ソ日協会理事ストリジャック「びーふる・いんたなしよなる 日本語は難しくない。英語より楽です」	昭和57	3	12	雑誌	B5活版	112頁	
418		朝日ジャーナル 24巻13号	朝日新聞社		「朝日新聞社の新刊」記事に石川真澄『ある社会主義者-羽生三七の歩いた道-』の広告あり	昭和57	3	26	雑誌	B5活版	138頁	
419		朝日ジャーナル 24巻18号	朝日新聞社		『ある社会主義者』出版を祝う会の記事あり	昭和57	4	30	雑誌	B5活版	118頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
420		朝日ジャーナル 24巻30号	朝日新聞社		「500字紹介」に石川真澄『ある社会主義者』紹介記事あり	昭和57	7	16	雑誌	B5活版	142頁	同一2部。
421		朝日ジャーナル 28巻18号	朝日新聞社		石川真澄「政治のことは⑩ 叙紋」に羽生の記事あり	昭和61	5	2	雑誌	B5活版	130頁	該当頁に付箋あり。
422		アジ調月報 18号	アジア調査会		羽生「話の広場 正確なル・モンドの記事」	昭和46	10	1	雑誌	A5活版	68頁	
423		映画ノート No. 29	映画ノート編集部		羽生「スクリーン・ラブ 彼女と夜霧の中を」	昭和35	12	5	雑誌	A5活版	26頁	
424		エコノミスト 43巻38号	毎日新聞社		「世界新地図⑨ 参院社会党」	昭和40	9	7	雑誌	B5活版	98頁	
425		エコノミスト 46巻18号	毎日新聞社		「記者の耳 まずわが身にメス入れる蔵相」に羽生の記事あり	昭和43	4	30	雑誌	B5活版	98頁	
426		エコノミスト 47巻19号	毎日新聞社		「“10%高度成長”のまいた波紋-佐藤・福田コンビの真意は何か-」	昭和44	5	6	雑誌	B5活版	98頁	
427		エコノミスト 55巻27号	毎日新聞社		表紙に羽生の写真あり	昭和52	6	28	雑誌	B5活版	110頁	
428		エコノミスト 59巻24号	毎日新聞社		陸井三郎「レーガンの核軍拡路線と中国-“唯一の加爆国”米国に抗議する-」	昭和56	6	23	雑誌	B5活版	110頁	
429		エコノミスト 61巻2号	毎日新聞社		羽生「社会党再生への直言-不毛な原則議論一時タナ上げを-」	昭和58	1	18	雑誌	B5活版	170頁	同一3部。
430		MCニュースレター 34号	三菱商事株式会社 MCニュースレター編集部			昭和52	10	10	雑誌	活版	8頁	「塩田は“汗の結晶”-国境を越えた信頼感が実を結ぶ-」を見るようにとの赤ペン書あり。
431		MCニュースレター 43号	三菱商事株式会社 MCニュースレター編集部			昭和53	7	10	雑誌	活版	8頁	「「海と風と太陽」-メキシコ塩田プロジェクト紹介映画完成」を見るようにとの赤ペン書あり。
432		MCニュースレター 56号	三菱商事株式会社 MCニュースレター編集部			昭和54	8	10	雑誌	活版	8頁	「メキシコ塩田プロジェクト映画 日本産業映画賞、広告電通賞を受賞」を見るようにとの赤ペン書あり。
433		季刊 壁と炎 4号	季刊壁と炎編集委員会編集・発行			昭和61	1	1	雑誌	A5活版	120頁	表紙に「父の死後贈られる」と鉛筆書あり。
434		季刊 現代史 9号	松本清張発行・藤井忠俊編集		羽生「下伊那青年運動史の証言」	昭和53	9	20	雑誌	A5活版	388頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
435		季刊 現代の理論 No. 183	現代の理論社		鶴崎友亀「ブック・レビュー 石川真澄著『ある社会主義者』」	昭和57	6	1	雑誌	A5活版	180頁	同一2部。
436		経済往来 20巻	経済往来社		羽生・穂積七郎・佐多忠隆「昭和史の活火山(5) 大政翼賛会の後始末」	昭和43	3	20	雑誌	A5活版	320頁	
437		月刊時事 14巻10号	月刊時事社		羽生他3名「座談会 参議院はどうあるべきか」	昭和44	10	1	雑誌	A5活版	220頁	
438		国民外交 59巻	国民外交協会		大蔵省財務官 佐上武弘「ボン主要国首脳会議の成果と課題」	昭和53	10	15	雑誌	A5活版	32頁	
439		週刊サンケイ 889号	サンケイ新聞社出版局			昭和43	5	6	雑誌	B5活版	138頁	
440		週刊新潮 786号	新潮社		「問題の『日本人とユダヤ人』は革新陣営でこう読まれている」	昭和46	4	10	雑誌	B5活版	150頁	
441		昭和同人 13巻1号	昭和同人会		羽生「ベトナム問題は如何にあるべきか 欧米視察からえたもの」	昭和42	1	1	雑誌	A5活版	30頁	同一2部。
442		政界往来 22巻4号	政界往来社		羽生「政界人随想 議員の身辺雑記」	昭和31	4	10	雑誌	A5活版	208頁	
443		政界ジープ 19号	ジープ社		羽生「議員随想 住居と乗物」	昭和23	4	1	雑誌	B5活版	32頁	
444		政策 17号	政策研究会		羽生「社会主義政党と現実政治 理想と現実の調整」	昭和29	6	1	雑誌	A5活版	70頁	
445		世界 390号	岩波書店			昭和53	5	1	雑誌	A5活版	376頁	
446		世界 529号	岩波書店			平成元	7	1	雑誌	A5活版	400頁	
447		世界 570号	岩波書店		坂本龍彦「風成の人 宇都宮徳馬の歳月」に羽生の記事あり	平成4	7	1	雑誌	A5活版	408頁	
448		世界週報 45巻39号	時事通信社		原子林三郎「勢力浸透の主戦場と化す-中ソ領土紛争と日本の立場-」に写真「社会党使節団と会見するフルシチョフ首相」(羽生も写る)あり	昭和39	9	29	雑誌	B5活版	82頁	
449		世界週報 49巻16号	時事通信社		中村菊男「新情勢と日本の立ち場」に写真「4月2日の参院予算委で佐藤首相に辞任を迫る社会党の羽生議員」あり	昭和43	4	16	雑誌	B5活版	86頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
450		中央公論 826号	中央公論社		蠟山政道「特集 安保条約の改廃をめぐつて 安保条約のパラドックス-どうこれを解決すべきか-」	昭和32	5	1	雑誌	A5活版	382頁	
451		中央公論 954号 緊急増刊 中国はどうなるか	中央公論社		羽生他5人「座談会 日本はどのような態度をとればよいか」	昭和42	3	21	雑誌	A5活版	220頁	
452		中央公論 1021号	中央公論社		「人物交差点 羽生三七」	昭和47	4	1	雑誌	A5活版	400頁	
453		中央公論 1075号	中央公論社		羽生「社会党議員三十年の歳月」	昭和51	10	1	雑誌	A5活版	408頁	
454		中央公論 1143号	中央公論社		永井陽之助「日米論争・日本の軍事大国化は是か非か ツ連脅威論のルーツ プランガー論文に答える」	昭和56	11	1	雑誌	A5活版	452頁	
455		中央公論 1207号	中央公論社		山本満「参院孤高の論客の遺志-回想の羽生三七」	昭和61	7	1	雑誌	A5活版	398頁	同一2部。
456		時の動き-政府の窓- 573号	総理府			昭和54	4	15	雑誌	A5活版	98頁	大蔵省印刷局発行。
457		鶏の研究 8巻6号	鶏の研究社		羽生「鶏界将来の展望」	昭和6	6	1	雑誌	A5活版	136頁	
458		鶏の研究 9巻3号	鶏の研究社		羽生「養鶏実験記事 百羽程度の養鶏に就いて」	昭和7	3	1	雑誌	A5活版	152頁	
459		汎交通 72巻6号	日本交通協会		羽生「中国をめぐる国際情勢」	昭和47	6	1	雑誌	A5活版	66頁	
460		ひろば 3号	世界画報社		羽生他1人「対談 米つくり米の食えぬ話」	昭和22	11	20	雑誌	B6活版	64頁	
461		婦人之友 77巻2号	婦人之友社		石川真澄「読者ゼミナール 日本の政治を変える力に」	昭和58	2	1	雑誌	B6活版	218頁	同一2部。表紙に「婦人之友社編集部の大石敦子さんより'82 2/13」と赤ボールペン書あり。
462		プレジデント 16巻15号	プレジデント社		羽生「判断意見 減税論議の前に国債論議を」	昭和53	12	1	雑誌	活版	224頁	同一2部。
463		文芸 4巻10号 ヴェトナム問題緊急特集	河出書房		羽生他17名「戦争と平和を考える 第一部討論 ヴェトナム問題と日本の進むべき道」	昭和40	9	3	雑誌	A5活版	246頁	
464		文藝新潮 1巻1号	文藝新潮社		羽生「一九五三年の経済政策-立派な外交による安定を期せ-」	昭和27	2	1	雑誌	A5活版	274頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
465		養鶏時報 786号	養鶏時報社			昭和	11	1	雑誌	B4活版	44頁	「養鶏時報社」封筒に挿入。封筒表書きに「この雑誌は長い間よく送られてきた」と赤ペン書あり。
466		経済学と歩いて五十年(1)～(7)	柴田敬			昭和	10	12	雑誌	B4活版・コピー	22枚	「エコノミスト」76・10・12～76・11・23掲載分を複写して綴ったもの。他に早坂忠「今日から見た戦前の経済界」(「同誌」76・11・30)も一括。
467		美術談義の花が咲く 文芸都市・尾道出身の4人	中山賀博			昭和	1	29	雑誌	A4活版・切抜	1枚	「日経ビジネス」1979年1月29日号、166頁。尾道出身の4人とは、中山賀博・宮沢喜一・平山郁夫・吉井長三。
468		外国旅行案内										
	1	[封筒]							その他	封筒	1点	「朝日新聞東京本社広報部」封筒。468-2～4番所収。
	2	[外国旅行案内一括]			スカンジナビア・デンマーク・ベルリン・コペンハーゲン・ロンドン・アメリカなどのパンフレット、絵葉書(未使用)				冊子	活版	9点	
	3	[名刺]	羽生三七		参議院議員				その他	活版	1点	英文名刺。裏面に「35251 熊本良忠」とペン書あり。
	4	[名刺]	Katashi Luga		Lugaは「Botschafts sekretar」				その他	活版	1点	独文名刺。
469		国際連合はどんな努力をしてきたか	文部省大臣官房 渉外ユネスコ課			昭和	3		冊子	A5活版	59頁	文コ資料63号。
470		在外公館リスト	外務大臣官房文書課			昭和	2	1	冊子	活版	38頁	
471		在本邦外国大使館、総領事館、領事館、賠償使節団、使節団、国際機関等一覧表	外務大臣官房儀典官室			昭和	10	1	冊子	活版	49頁	
472		さんいち 三一書房図書目録	三一書房		羽生『戦後日本の外交』の広告あり	昭和	46		冊子	A5活版	52頁	
473		司令部覚書集	農林大臣官房渉外課訳編		指令第三号関係、日本の統治区域及び外国人の法的地位、統制団体等の除去	昭和	24	7	冊子	A5活版	155頁	表紙に「羽生」と鉛筆書、「農業班用」とペン書あり。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
474		世界の国一覧表 1971年版	外務省情報文化局			昭和46	9	1	冊子	A5活版	24頁	財団法人世界の動き社発行。
475		ベトナム以後と中国	社団法人アジア調査会			昭和43	6		冊子	B6活版	52頁	中国研究報告第一集。
476	1	現代軍隊論 いかにして 生きのびるか	藤牧新平			昭和52	9	10	書籍	B6活版	216頁	東海大学出版会発行。
	2	西欧の軍隊の実態	藤牧新平			昭和55	8		冊子	B6活版	19頁	衛藤瀧吉他編「日本の安全・世界の平和 猪木正道先生退官記念論文集」(原書房)の抜刷。476-1番の挿入物。
477		国連貿易開発会議の研究 -南北問題の新展開-	外務省			昭和40	2	10	書籍	A5活版	383頁	社団法人世界経済研究協会発行。
478		社会科地図 改訂版	飯本信之			昭和31	9	15	書籍	A4活版	127頁	富山房発行。
479		日本列島改造論批判-わが党は提言する-	読売新聞社編		日本社会党(成田知巳)、公明党(竹入義勝)、民社党(春日一幸)、日本共産党の論考	昭和47	11	5	書籍	A4活版	382頁	読売新聞社発行。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
原紙												
480		朝日新聞	朝日新聞社		「候補者寸描 参院選(上)」「社会主義が恋人の闘士 羽生三七候補」	昭和34	5	9	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
481		朝日新聞	朝日新聞社		「大詰にきた参院選 羽生氏、まず優勢」	昭和34	5	31	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
482		朝日新聞	朝日新聞社		「参院選の開票進む 羽生氏安定した得票」	昭和34	6	3	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
483		朝日新聞 号外	朝日新聞社		「羽生氏圧倒的強味で当選」	昭和34	6	3	新聞	活版・原紙	1枚	
484		朝日新聞	朝日新聞社		「保守・革新の比率変わらず」「目ざす大量得票ならず 羽生氏」	昭和34	6	4	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
485		朝日新聞	朝日新聞社		「浅沼委員長刺殺さる」	昭和35	10	13	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
486		朝日新聞	朝日新聞社		「その日のモスクワ フルシチョフ時代」	昭和39	10	17	新聞	活版・原紙	4頁	5・6、11・12頁。
487		朝日新聞	朝日新聞社		「参院選 相次ぎ当選者」	昭和43	7	8	新聞	活版・原紙	12頁	1～12頁。
488		朝日新聞	朝日新聞社		「二十五年議員の五氏を表彰(参院、羽生もその一人、写真掲載)」	昭和47	2	2	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、19・20頁。
489		朝日新聞	朝日新聞社		「熱気はらんだ議長選 深夜の参議院」	昭和49	7	27	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、17・18頁。
490		朝日新聞	朝日新聞社		「第二次戦略兵器制限条約の詳細」	昭和54	6	20	新聞	活版・原紙	4頁	7・8、13・14頁。
491		朝日新聞	朝日新聞社		石川真澄「不連続線ある税務相談」	昭和55	3	11	新聞	活版・原紙	4頁	11～14頁。
492		朝日新聞	朝日新聞社		「“女の一生”を手書きの本に 東京・練馬区の鈴木静子さん」	昭和56	1	16	新聞	活版・原紙	4頁	9～12頁。鈴木氏は羽生の実姉。
493		朝日新聞	朝日新聞社		「信州の社会党124 第三部展望 いま革新とは③」(羽生へのインタビュー部分)	昭和56	9	22	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。3・4、17・18頁。
494		朝日新聞	朝日新聞社		「信州の社会党125 第三部展望 いま革新とは④」(羽生へのインタビュー部分)	昭和56	9	23	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。3・4、21・22頁。
495		産経新聞	産業経済新聞東京本社		「今後に残る問題点 参院選地方区」	昭和34	6	4	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
496		東京新聞 夕刊	中日新聞東京本社		「在任中に日中改善せぬ」の発言を取り消す 参院委で首相(羽生の質問への答弁)	昭和46	3	27	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
497		東京日日新聞	東京日日新聞社		「顔(124) 左社参議院議員 羽生三七氏」	昭和29	5	21	新聞	活版・原紙	4頁	1~4頁。
498		毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「安費費の内容示せ 羽生氏質問 低下する国民生活」	昭和27	1	25	新聞	活版・原紙	2頁	
499		毎日新聞	毎日新聞社		「開票の成績 村松・羽生・鍋島当確」「県民の審判下る 参院選地方区 羽生氏の当選確実」	昭和34	6	3	新聞	活版・原紙	12頁	1~12頁。
500		毎日新聞	毎日新聞社		「羽生・木内氏が三選 参院選地方区」	昭和34	6	4	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
501		毎日新聞	毎日新聞社		「参議院選挙候補者一覧」	昭和43	6	17	新聞	活版・原紙	4頁	7~10頁。
502		毎日新聞 号外	毎日新聞長野支局		「向山氏宿願の初当選」	昭和44	12	28	新聞	活版・原紙	1枚	
503		毎日新聞	毎日新聞東京本社		羽生「80宰相論 3 財政再建に勇断を」	昭和55	6	29	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、23・24頁。
504		毎日新聞	毎日新聞東京本社		「米 核持ち込み寄港」	昭和56	5	18	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、19・20頁。
505		読売新聞	読売新聞社		羽生・大平正芳「70年の対話 これからの日米友好への道」	昭和45	7	6	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、13・14頁。
506		読売新聞 夕刊	読売新聞社		「閣僚級の訪中検討」(参院予算委における羽生の質問)	昭和46	3	27	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、9・10頁。
507		読売新聞	読売新聞社		「参院ニューフェイス」	昭和46	6	29	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。
508		読売新聞	読売新聞社		「参院選当選者一覧」(羽生も掲載あり)	昭和46	6	29	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、13・14頁。
509		読売新聞	読売新聞社		「華体制の中国⑦ 工業化急ぐ中地下壕も着々」	昭和52	6	11	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、23・24頁。
510		読売新聞 号外	読売新聞社長野支局		「新人宮下氏トップ当選」	昭和54	10	8	新聞	活版・原紙	1枚	
511		信濃経済新聞	信濃経済新聞社		「国の政治は誰のためにある 政治家は真に国民のことを考えているか 羽生三七」	昭和46	3	25	新聞	活版・原紙	4頁	1~4頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
512		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参議院議員 長野県選出議員」(羽生も当選者の一人)	昭和	4	29	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
513		信濃毎日新聞 増頁	信濃毎日新聞社		「各党責任者は語る こんどの選挙批判」	昭和	4	21	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
514		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院・県区当選者きまる 羽生、木内両氏再選」「当選者の横顔 終始一貫スジ通す 羽生三七氏」「再び選ばれた二つの横顔 “軍事予算の削減へ” 羽生派 得意満面の北原事務長」	昭和	4	25	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
515		信濃毎日新聞 増頁	信濃毎日新聞社		「参議院地方区当選者一覧」(羽生も当選者の一人)	昭和	4	26	新聞	活版・原紙	2頁	1・2頁。
516		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院選立候補締切る 長野県区立候補一覧」「終盤むかえた参院選 県区 羽生派は着々票固め」	昭和	5	19	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
517		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院選候補を語る (選挙事務長林虎雄) 羽生三七氏 主義に純粋に生きる 外交問題では党第一人者」	昭和	5	21	新聞	活版・原紙	4頁	同一二部。1・2、7・8頁。
518		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「県区両前議員が当選 羽生氏(社会)と木内氏(自民)」	昭和	6	3	新聞	活版・原紙	8頁	同一二部。1～8頁。うち一部は4頁(1・2、7・8頁)。
519		信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「一夜あけた喜びの選良 羽生さん木内さん」(羽生夫妻の写真あり)	昭和	6	3	新聞	活版・原紙	4頁	同一二部。1～4頁。
520		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「新しい郷土史⑧ 下伊那史 まず二、三巻を発刊」	昭和	6	4	新聞	活版・原紙	8頁	1～8頁。
521		信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「参院の新分野決まる」	昭和	6	4	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
522		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「浅沼委員長、刺殺さる」	昭和	10	13	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
523		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「自治体をになう 人々」	昭和	5	2	新聞	活版・原紙	4頁	13～16頁。
524		信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「ケネディ米大統領暗殺さる」	昭和	11	23	新聞	活版・原紙	8頁	1～8頁。
525		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「和平の探究も目的 外相、参院外務委で答弁」(羽生の質問への答弁)	昭和	6	21	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、13・14頁。
526		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院選 自民リード、社会振るわず」	昭和	7	8	新聞	活版・原紙	8頁	1・2、5～8、11・12頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
527		信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「参院選 社会党の退潮つづく」	昭和43	7	8	新聞	活版・原紙	6頁	1～6頁。
528		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「記者座談会 参院選をふりかえって 県下」	昭和43	7	9	新聞	活版・原紙	10頁	3～12頁。
529		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「核の疑いはなし 米国岩国基地 政府、社党に答弁書」	昭和46	12	1	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、17・18頁。
530		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「厚木基地の毒ガス 政府、否定の答弁 参院協定委総括質問」(羽生の質問)	昭和46	12	9	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、17・18頁。
531		信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「議長あつせん提示へ国会最終日 攻防続く 与野党から事情聴取」(沖縄返還協定につき)	昭和46	12	27	新聞	活版・原紙	6頁	1～6頁。
532		信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生「山川均と私」	昭和55	11	20	新聞	活版・原紙	4頁	11～14頁。
533		信州日報	信州日报社		「地方区林、小山氏が当選」	昭和43	7	9	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
534		信州日報	信州日报社		「山田阿水社長死去」(山田はLYL事件関係者)	昭和45	10	11	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
535		信州日報	信州日报社		「もう少し検討する 中津川線磯崎総裁、羽生参議訪ね懇談」	昭和46	12	19	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
536		信州日報	信州日报社		羽生「ソヴィエット訪問記」	昭和47	2	1	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
537		信州日報	信州日报社		羽生「ソヴィエット訪問記②」	昭和47	2	2	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
538		信州日報	信州日报社		羽生「ソヴィエット訪問記③」、「羽生氏ら表彰」	昭和47	2	3	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
539		信州日報	信州日报社		羽生「須山計一君を悼む」	昭和50	4	25	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
540		信州日報	信州日报社		羽生「信濃大衆新聞のころ 地方紙としての特色を生かして」	昭和51	10	1	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・9・10頁。
541		信州日報	信州日报社		「鼎の名誉町民第一号 羽生氏を正式決定」	昭和52	6	26	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
542		信州日報	信州日报社		「日米安保から離脱 非武装中立の実現 羽生三七氏、『月刊社会党』で説く」	昭和55	11	26	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
543		信州日報	信州日報社		清水迪夫「下伊那の政治運動 衆議院議員選挙を通して(41)社会主義運動の始まりと右翼勢力の台頭④」	昭和60	1	23	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
544		信州日報	信州日報社		「市議選アンケート 桜井俊夫 尊敬する人物 羽生三七」	昭和60	4	19	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
545		南信州	南信州新聞社		「きょう参院選立候補 締切 地方区七候補の公約」(羽生もあり)	昭和34	5	18	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
546		南信州	南信州新聞社		「羽生氏元気な顔 林前知事もかけつける」(二人の写真あり)	昭和34	5	27	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
547		南信州	南信州新聞社		「羽生・木内氏三選す 羽生氏堂々最高点」 「社会党劣勢でない 羽生氏自宅で語る」	昭和34	6	4	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
548		南信州	南信州新聞社		「中央道両候補・当選」	昭和34	6	5	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
549		南信州	南信州新聞社		羽生「日本経済の現状と新年の課題」	昭和39	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	3・4・9・10頁。
550		南信州	南信州新聞社		小林常治「L・Y・L事件のこと 上」	昭和42	11	28	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
551		南信州	南信州新聞社		小林常治「L・Y・L事件のこと 中」(羽生家の写真あり)	昭和42	11	29	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
552		南信州	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望」	昭和49	1	5	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
553		南信州	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望」	昭和51	1	4	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
554		南信州	南信州新聞社		羽生「展望難しい新年度経済」	昭和55	1	5	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
555		南信州 鼎町制25周年記念特集号	南信州新聞社		羽生「町制25周年記念座談会 鼎町の歩んだ道 これからの町のあり方 苦しかった終戦直後 直接民主主義の土壌」	昭和55	5	2	新聞	活版・原紙	4頁	5～8頁。
556		南信州	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望 ついに来た増税元年」	昭和56	1	6	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
557		南信州	南信州新聞社		「ようやく候補出そろ う 一人落ちの激戦へ」	昭和56	5	31	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
558		南信州 第2元旦号	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望-あわせて今後を考える-」	昭和57	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	同一4部。9・10、15・16頁。うち1部9・10頁。
559		中部日本新聞	中部日本新聞社		「長野、そろって三選」(羽生の写真あり)	昭和34	6	4	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
560		社会タイムス 977号	社会タイムス社		「あなたの一票は社会党に」、林虎雄「参院きつての理論家羽生三七氏を語る」	昭和34	5	21	新聞	活版・原紙	2頁	同一2部。1・2頁。
561		防衛時報 86号	日本防衛問題研究会		菊池義郎「日ソ友好条約を締結するの可否」	昭和54	11	10	新聞	活版・原紙	4頁	1～4頁。
綴												
562		昭和廿八年参議院選挙関係新聞綴			参議院議員選挙における羽生関係記事ほか	昭和28	4		新聞	活版・原紙	1綴	4月5日～26日の読売・信濃毎日・朝日・毎日・日経・中日あり。「昭和廿八年四月参議院選挙関係新聞在中」と墨書された新聞に包まれている。
563		自廿八年・廿九年・卅年関係新聞記事綴			参議院外務委員会における羽生質問記事ほか	昭和29	4		新聞	活版・原紙	1綴	昭和29年4月29日～30年12月16日の朝日・日経・読売・東京・毎日・信濃毎日・南信タイムズあり。
564		自昭和三十年一月至昭和年月 関係新聞記事綴			昭和30年長野県知事選挙関係ほか	昭和30	1		新聞	活版・原紙	1綴	1月1日～4月24日の南信タイムズ・信濃毎日・毎日・南信州あり。
565		自昭和三十一年至 関係新聞記事			参議院本会議、予算委員会における羽生質問関係記事ほか	昭和31	2		新聞	活版・原紙	1綴	昭和31年2月10日～32年12月26日の読売・朝日・南信タイムズ・産経時事・毎日・日経・信濃毎日・東京あり。
566		自昭和卅二年十二月至同年 月 新聞関係記事綴			参議院本会議における羽生質問関係記事、対談記事ほか	昭和32	12		新聞	活版・原紙	1綴	昭和32年12月27日～36年7月12日の朝日・産経時事・毎日・信濃毎日・南信州・日経・読売・東京あり。
567		自昭和三十四年六月(第三回当選以後)至 国会其他関係新聞記事綴			参議院本会議における羽生代表質問、予算委員会一般質問関係記事ほか	昭和34	6		新聞	活版・原紙	1綴	昭和34年6月24日～38年6月17日の毎日・信濃毎日・東京・朝日・読売・日経・中日・産経あり。
568		[昭和39～40年羽生関係新聞記事綴]			参議院予算委員会における羽生質問関係記事ほか	昭和39	2		新聞	活版・原紙	1綴	昭和39年2月12日～40年6月2日の信濃毎日・日経・朝日・東京・毎日・南信州・信州日報・読売・産経あり。
569		[昭和40年8月以降羽生関係新聞記事綴]			参議院予算委員会、日韓特別委員会における羽生質問関係記事ほか	昭和40	8		新聞	活版・原紙	1綴	昭和40年8月9日～41年5月26日の信濃毎日・毎日・朝日・東京・日経・読売あり。
570		自昭和四十一年六月至 関係新聞記事綴			参議院予算委員会における羽生質問関係記事、「明治百年」(毎日)、「信州の百年」(信毎)ほか	昭和41	6		新聞	活版・原紙	1綴	昭和41年6月12日～42年11月28日の信濃毎日・朝日・信州日報・毎日・東京・読売・日経・南信州あり。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
571		自昭和四十二年十二月至 関係新聞記事			参議院本会議代表質問、 予算委員会における羽生 質問関係記事、座談会記事 ほか	昭和 42	12		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和38年6月10日～昭和 44年6月18日の産経・信濃 毎日・毎日・読売・朝日・東 京・信州日報・日経・南信州・ 社会新報あり。
572		自昭和四十四年七月至同 関係記事綴			参議院本会議、予算委員 会、外務委員会における羽生 質問関係記事、対談記事ほか	昭和 44	7		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和44年7月23日～45 年6月12日の信濃毎日・朝 日・毎日・信州日報・南信州 ・日経・東京・産経・読売・ 社会新報あり。
573		自昭和四十五年六月至昭 和四十六年四月 関係新聞 記事綴			参議院外務委員会、予 算委員会における羽生質問 関係記事、座談会記事ほか	昭和 45	6		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和45年6月23日～46 年4月14日の読売・信濃毎 日・朝日・毎日・日経・東 京・社会新報・産経・信州日 報あり。
574		[昭和46年7月～12月羽生 関係新聞記事綴]			参議院沖縄返還協定 特別委員会における羽生 質問関係記事ほか	昭和 46	7		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和46年7月13日～12 月15日の毎日・信濃毎日・ 東京・朝日・日経・読売・中 日・信州日報・産経・社会 新報あり。46年7月17日の 朝日に「四十六年六月参議 院選関係は別のスクラップ ブックに」とマジック書あり。
575		[昭和47年1月以降羽生関 係新聞記事綴]			羽生「ソヴェット訪 問記」(信州日報)、参議院 予算委員会における羽生 質問関係記事ほか	昭和 47	1		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和47年1月5日～6月 10日の南信州・信州日報・ 朝日・信濃毎日・読売・毎 日・産経・社会新報・日経・ 東京あり。
576		第六十八回国会 参議院 公報 5号	参議院		ソ連訪問につき議長 一行派遣	昭和 47	1	6	新聞	活版・ 原紙	4頁	37～40頁。575番の挿 入物。
577		[昭和47年6月～49年1月 羽生関係新聞記事綴]			参議院外務委員会にお ける羽生質問関係記事、「私 の昭和史」(信毎)ほか	昭和 47	6		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和47年5月17日～49 年1月5日の読売・信濃毎 日・信州日報・日ソ親善・ 朝日・東京・社会新報・南 信州・毎日・日経・産経 あり。
578		[昭和49年3月～50年3月 羽生関係新聞記事綴]			参議院外務委員会、予 算委員会における羽生 質問関係記事、座談会 記事ほか	昭和 49	3		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和49年3月13日～昭 和52年2月の日経・社会 新報・朝日・信州日報・ 信濃毎日・日経・読売・南 信州・毎日・社会新報 あり。
579		[昭和50年4月～52年2月 羽生関係新聞記事綴]			羽生政界引退関係記 事、座談会記事ほか	昭和 50	4		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和50年4月16日～52 年2月4日の朝日・読 売・南信州・信州日報・ 信濃毎日・産経・毎日・ 社会新報あり。
580		[昭和52年4月～53年11月 羽生関係新聞記事綴]			羽生「社会党と私の30 年」、羽生引退関係記 事ほか	昭和 52	4		新聞	活版・ 原紙	1綴	昭和52年4月12日～53 年11月28日の朝日・日 経・読売・信濃毎日・信 州日報・南信州あり。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
封筒詰め												
581		昭和三十一年七月(棚橋) 参院選挙資料										表題表記の封筒に一括。棚橋小虎選挙関係記事。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	581-2~7番所収。
	2	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社			昭和	7	9	新聞	活版・原紙	8頁	581-2~7番は紐で綴られている。1~8頁。
	3	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社			昭和	7	10	新聞	活版・原紙	4頁	3~6頁。
	4	朝日新聞	朝日新聞社			昭和	7	11	新聞	活版・原紙	8頁	1~8頁。
	5	朝日新聞	朝日新聞社			昭和	7	10	新聞	活版・原紙	8頁	1~8頁。
	6	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社			昭和	7	10	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	7	朝日新聞	朝日新聞社			昭和	7	12	新聞	活版・原紙	4頁	5~8頁。
582		昭和四〇年参議院選挙関係新聞										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角0封筒	1点	582-2~23番所収。
	2	朝日新聞	朝日新聞社		「候補者の素顔 参院 地方区 羽生三七氏」	昭和	6	12	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。1・2、13・14頁。
	3	朝日新聞	朝日新聞社		「候補者に七つの質問 参院選地方区 羽生三七候補」	昭和	6	16	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、13・14頁。
	4	朝日新聞	朝日新聞社		「立会演説会から 参 院選地方区 上 羽生三七候補」	昭和	6	18	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。1・2、15・16頁。
	5	朝日新聞	朝日新聞社		「羽生、木内両氏が当 選 参院選地方区」	昭和	7	5	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。1・2、11・12頁。
	6	産経新聞 夕刊	産業経済新聞東京本社		「国際会議開催へ協 力・ベトナム問題で首 相答弁 参院本会議」「 東南ア問題で緊急質 問する羽生三七氏」	昭和	2	17	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	7	東京新聞 夕刊	東京新聞社		「ベトナム問題 参院 でも緊急質問 基地使 用許すか 羽生氏」	昭和	2	17	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	8	毎日新聞	毎日新聞社		「候補者大いに語る 参院選 はたちの質問 ① 羽生三七氏」	昭和	6	12	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
582	9	毎日新聞	毎日新聞社		「立会演説会始まる 参院選地方区 政治家 の姿勢正せ 羽生候 補」	昭和 40	6	16	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、15・16頁。
	10	毎日新聞	毎日新聞社		「候補者へ三つの質問 羽生三七氏他」	昭和 40	6	26	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、15・16頁。
	11	毎日新聞	毎日新聞社		「自、社両雄“四選” の笑い 参院選長野地 方区」	昭和 40	7	5	新聞	活版・ 原紙	4頁	同一2部。1・2、15・16 頁。
	12	読売新聞	読売新聞社		「参院「ベトナム」で緊 急質問 政府、積極策 示せ 羽生氏」	昭和 40	2	17	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	13	読売新聞	読売新聞社		「羽生(社会)木内(自 民)氏に栄冠」	昭和 40	7	5	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、15・16頁。
	14	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院でも審議開始 補正予算案」「党首会 談、研究の余地 参院 予算委」	昭和 39	12	9	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、13・14頁。
	15	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「「作戦」なら事前協議 「ベトナム」で首相答 弁 参院本会議(羽生 の質問)」	昭和 40	2	17	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	16	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「意味慎重な首相答弁 の採点」	昭和 40	2	18	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、13・14頁。
	17	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「長野地方区立候補者 羽生三七」	昭和 40	6	14	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、13・14頁。
	18	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「参院選地方区の大勢 決まる 社党の進出目 立つ」「一夜あけ参院 四選の喜びあらた 水 いらすの朝食とる 羽 生さん」	昭和 40	7	5	新聞	活版・ 原紙	8頁	
	19	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「参院の新分野決定 自社両党首、抱負を語 る」	昭和 40	7	6	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	20	信州日報	信州日報新社		「参院選、きょう公示 羽生三七略歴」	昭和 40	6	10	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	21	南信州	南信州新聞社		「15日から立会演説」	昭和 40	6	11	新聞	活版・ 原紙	4頁	
22	南信州	南信州新聞社		「羽生氏 首位確保」	昭和 40	7	6	新聞	活版・ 原紙	4頁		
23	社会新報 825号	日本社会党中央 本部機関紙局		参議院選挙特集	昭和 40	5	9	新聞	活版・ 原紙	8頁		
583		昭和四九年七月七日参議 院選県区成績										表題表記の封筒に一 括。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
583		1 [封筒]							その他	角3封筒	1点	「参議院」封筒。583-2～4番所収。
		2 朝日新聞 号外	朝日新聞長野支局		「小山氏トップ当選 参院選長野地方区」	昭和49	7	8	新聞	活版・原紙	1頁	
		3 信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院選即日開票 社 党、二人区で健闘」	昭和49	7	8	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。
		4 信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「長野地方区 市町村 別得票と投票率」	昭和49	7	8	新聞	活版・原紙	4頁	5・6、11・12頁。
584		新聞記事・党関係書類										表題表記の封筒に一括。
		1 [封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。584-2～8番所収。
		2 朝日新聞	朝日新聞社		「「暴力国会」の反省 参院議員座談会」(羽 生も出席)	昭和31	6	3	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、9・10頁。
		3 朝日新聞	朝日新聞社		「今年の反省13 参院 運営の正常化 羽生三 七氏」	昭和32	12	26	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
		4 産経時事	産業経済新聞東京本社		「座談会 政局はどう 動く 三党首脳に聞く (上)」(羽生も出席)	昭和33	1	3	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
		5 毎日新聞	毎日新聞社		羽生「国際緊張緩和の 線で 日ソ交渉、総合 的判断を誤るな」	昭和31	9	3	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、5・6頁。
		6 毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「参院でも代表質問 羽生氏(社)英の水爆 実験拒め」「憲法改正 はせぬか 羽生氏追 及」	昭和32	2	5	新聞	活版・原紙	4頁	
		7 毎日新聞	毎日新聞社		「自社両党の政策を聞 く 社会党(上) 基幹 産業を国有化 答える 人 羽生三七氏・勝間 田清一氏」	昭和33	4	27	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
	8 毎日新聞	毎日新聞社		「自社両党の政策を聞 く 社会党(下) 中ソ と平和条約を 答える 人 羽生三七氏・勝間 田清一氏」	昭和33	4	28	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。	
585		欧米視察報告記事							新聞			表題表記の封筒に一括。封筒表に「羽生参議院掲載紙在中」とペン書あり。
		1 [封筒]							その他	角2封筒	1点	「日本放送協会」封筒。585-2～11番所収。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
585	2	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生「“ベトナム”と各国の動向」	昭和41	10	18	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、11・12頁。
	3	信州日報	信州日報新社		羽生「ローマにて」	昭和41	9	8	新聞	活版・原紙	4頁	
	4	信州日報	信州日報新社		羽生「ローマからブカレスト(ルーマニア)へ」	昭和41	9	13	新聞	活版・原紙	4頁	
	5	信州日報	信州日報新社		羽生「ベオグラード(ユーゴ)からヂュネーブへ」	昭和41	9	16	新聞	活版・原紙	4頁	
	6	信州日報	信州日報新社		羽生「フランスにて」	昭和41	9	27	新聞	活版・原紙	4頁	
	7	信州日報	信州日報新社		羽生「ワシントンへ(上)」	昭和41	10	1	新聞	活版・原紙	4頁	
	8	信州日報	信州日報新社		羽生「ワシントンへ(下)」	昭和41	10	2	新聞	活版・原紙	4頁	
	9	信州日報	信州日報新社		羽生「ニューヨークから」	昭和41	10	4	新聞	活版・原紙	4頁	
	10	信州日報	信州日報新社		羽生「ス教授との会談」	昭和41	10	7	新聞	活版・原紙	4頁	
	11	南信州	南信州新聞社		羽生「14年前と同じ感じ ロンドンにて」	昭和41	9	5	新聞	活版・原紙	4頁	
	586		地方新聞・論文関係文書									
1		[封筒]							その他	角2封筒	1点	「通商産業省」封筒。586-2~8番所収。
2		南信州	南信州新聞社		羽生「新しい年の課題」	昭和37	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
3		南信州	南信州新聞社		羽生「1963年の国際政局断想「恐怖の均衡」の廃絶」	昭和38	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
4		南信州	南信州新聞社		「羽生参議語る 米価の上げは当然 物価値上招く高度成長政策」	昭和38	7	17	新聞	活版・原紙	4頁	
5		南信州	南信州新聞社		羽生「内外政治の焦点」	昭和40	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、9・10頁。
6		南信州	南信州新聞社		羽生「新しい年の経済の動向と展望」	昭和41	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	
7		南信州	南信州新聞社		羽生「新年経済の展望」	昭和42	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	
8		社会新報 654号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「随想 晩秋のある日-社青同の集いから-」	昭和38	1	13	新聞	活版・原紙	4頁	3~6頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
587		朝日新聞	朝日新聞社		「反戦平和の情熱記録 革新的土壌知る一代 記「ある社会主義者 の奇跡-羽生三七伝」	昭和 56	8	8	新聞	活版・ 原紙	22頁	「朝日新聞社東京本社 宣伝部」封筒に挿入。 封筒に「父記事」と鉛 筆書あり。同一3部。
588		[国際関係新聞記事]										「読売、朝日」と赤鉛筆 書の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。588-2 ～5番所収。
	2	朝日新聞	朝日新聞社		羽生・石橋政嗣(対談) 「日中問題を考える 社党内の意見を聞く 文革論議とは別に」	昭和 45	2	11	新聞	活版・ 原紙	4頁	3・4、13・14頁。
	3	読売新聞	読売新聞社		「ベトナム以後」の日 本外交 三木外相囲み 本社座談会(羽生ほか 出席)	昭和 43	4	21	新聞	活版・ 原紙	8頁	1～4、13～16頁。
	4	読売新聞	読売新聞社		羽生・大平正芳「70年 の対話 これからの日 米友好への道」	昭和 45	7	6	新聞	活版・ 原紙	4頁	3・4、13・14頁。
	5	読売新聞	読売新聞社		「何が本当か 沖縄・安 保 ジョンソン証言め ぐる討論(羽生ほか 出席)」	昭和 45	8	25	新聞	活版・ 原紙	4頁	5・6、11・12頁。
589		信濃毎日新聞			「大衆増税反対意見書 社大羽生氏の主唱で 各派廿三名が賛成署名」 「大衆輿論の代表 羽生三七氏語る」	昭和 11	12	4	新聞	活版・ 原紙	4頁	「参議院」封筒入り。封 筒に「S. 11. 12/4 信毎 夕刊」とボールペン書 あり。
590		[参議院・社会党関係新聞 記事]										表紙に「新聞記事在 中」とペン書の封筒に 一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「農林省農林経済局統 計調査部」封筒。590-2 ～9番所収。
	2	朝日新聞	朝日新聞社		「暴力国会」の反省 参院議員座談会(羽 生も出席)	昭和 31	6	3	新聞	活版・ 原紙	8頁	3～10頁。
	3	産経時事	産業経済新聞東京本社		「座談会 政局はどう 動く 三党首脳に聞く (上)」(羽生ほか出 席)	昭和 33	1	3	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	4	毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「参院でも代表質問 羽生氏(社)英の水爆 実験拒め」「憲法改正 はせぬか 羽生氏追 及」	昭和 32	2	5	新聞	活版・ 原紙	4頁	同一2部。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
590	5	毎日新聞	毎日新聞社		「自社両党の政策を聞く 社会党(上) 基幹産業を国有化 答える人 羽生三七氏・勝間田清一氏」	昭和33	4	27	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。1・2、11・12頁。
	6	毎日新聞	毎日新聞社		「自社両党の政策を聞く 社会党(下) 中ソ平和条約を 答える人 羽生三七氏・勝間田清一氏」	昭和33	4	28	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。1・2、7・8頁。
	7	毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「参議院でも代表質問 情勢分析甘い「新安保」 対ソ平和・不可侵条約を 羽生氏(社)」	昭和35	2	3	新聞	活版・原紙	6頁	
	8	読売新聞 夕刊	読売新聞社		「参院でも代表質問始まる 不侵略条約結べ 羽生氏(社) 日ソ関係の打開に」	昭和35	2	3	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、5・6頁。
	9	国会新聞	国会新聞社		「参院社党議員会長 羽生三七論」	昭和33	4	5	新聞	活版・原紙	2頁	
591		[参議院・随想など新聞記事]										表紙に「新聞記事在中」と記載の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角B3封筒	1点	「長野県選挙管理委員会」封筒。591-2～57番所収。
	2	朝日新聞	朝日新聞社		羽生「新閣僚に望む 小坂労相へ 反動立法阻止の役割」	昭和28	5	22	新聞	活版・原紙	8頁	
	3	朝日新聞	朝日新聞社		「下平公認問題 左社怪電事件で騒然」	昭和30	1	11	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	4	朝日新聞	朝日新聞社			昭和30	9	24	新聞	活版・原紙	4頁	3～6頁。
	5	朝日新聞 夕刊	朝日新聞社		「参院も代表質問に入る 日ソ平和条約結べ 羽生氏(社) 質問 安保承認前に解散」	昭和35	2	3	新聞	活版・原紙	6頁	
	6	朝日新聞	朝日新聞社		「参院も代表質問に入る 日ソ平和条約結べ 羽生氏(社) 安保承認前に解散」	昭和35	2	4	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
	7	朝日新聞 夕刊	朝日新聞社		「内容の検討不十分 社党『所得倍増』を 追及(参院予算委) における羽生の質問」	昭和35	3	14	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
8	朝日新聞	朝日新聞社		「社会党新綱領草案」	昭和35	9	17	新聞	活版・原紙	4頁	3～6頁。	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
591	9	朝日新聞	朝日新聞社		「81カ国共産党声明詳報」	昭和35	12	7	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、9・10頁。
	10	朝日新聞	朝日新聞社		ラジオ番組表「NHK第一 国会討論会 太田正孝、羽生三七、中村正雄、加賀山之雄、大平正芳」	昭和35	12	25	新聞	活版・原紙	2頁	7・8頁。
	11	東京新聞 夕刊	東京新聞社		「参院予算委員会 設備投資押える 政府答弁 ライス・バンク考慮」(参院予算委における羽生の質問)	昭和35	3	14	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。1・2、7・8頁。
	12	東京日日新聞	東京日日新聞社		「顔(124) 左社参議院議員 羽生三七氏」	昭和29	5	21	新聞	活版・原紙	4頁	
	13	日本経済新聞 夕刊	日本経済新聞社		「参院外務委 外相答弁」(羽生も質問)「日ソ交渉への影響重視 早期復交論台頭か」	昭和30	9	14	新聞	活版・原紙	4頁	
	14	日本経済新聞 夕刊	日本経済新聞社		「参院、代表質問始まる 新安保は敗北外交 羽生氏(社)放漫な予算政府案」	昭和35	2	3	新聞	活版・原紙	4頁	同一3部。
	15	日本経済新聞 夕刊	日本経済新聞社		「35年度も黒字確実 国際収支で政府側答弁」(参院予算委における羽生の質問)	昭和35	3	14	新聞	活版・原紙	4頁	
	16	日本経済新聞 夕刊	日本経済新聞社		「国民所得倍増計画案全文」	昭和35	10	25	新聞	活版・原紙	6頁	3～8頁。
	17	毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「参議院本会議 対米債務で緊急質問」(羽生の質問)	昭和29	5	7	新聞	活版・原紙	4頁	
	18	毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「鳩山さん“泣く”日ソ交渉成就是悲願」「参院外務委員会 日ソ交渉で党首会談」	昭和30	7	26	新聞	活版・原紙	4頁	
	19	毎日新聞 夕刊	毎日新聞社		「参院でも代表質問 羽生氏(社)英の水爆実験拒め」「憲法改正はせぬか 羽生氏追及」	昭和32	2	5	新聞	活版・原紙	4頁	
	20	毎日新聞	毎日新聞社		「記者席 議運の仇を本会議で晴らす」	昭和34	12	22	新聞	活版・原紙	2頁	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
591	21	読売新聞 夕刊	読売新聞社		「お手盛歳費」をどう見る 国会議員の見解 費い儲けはよくない 羽生三七氏」	昭和	6	26	新聞	活版・原紙	4頁	3～6頁。
	22	読売新聞 夕刊	読売新聞社		「参院外務委員会「仏印宣言」参加せず」(参院外務委における羽生の質問)	昭和	4	12	新聞	活版・原紙	4頁	
	23	読売新聞 夕刊	読売新聞社		「対中国方針変えず 首相答弁 羽生氏が緊急質問」	昭和	12	15	新聞	活版・原紙	4頁	同一3部。1・2・7・8頁。
	24	読売新聞 夕刊	読売新聞社		「“景気のかげり” 露呈 予算案審議 与党にも警戒論」(記事に羽生のことあり)	昭和	4	1	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	25	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院議長に河井氏(緑風会) 副議長は重宗氏(自由党)」(羽生は左社の副議長候補者)	昭和	5	20	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	26	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「首相の登院で国会活況 合同より総辞職 羽生氏せまる 参院外務委」	昭和	4	13	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	27	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「第四区に下平氏決定 羽生委員長談」	昭和	1	10	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	28	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「「公認電報問題」紛糾す 羽生左社県連委員長談」	昭和	1	11	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	29	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「羽生県連委員長辞意を表明」	昭和	1	12	新聞	活版・原紙	8頁	同一2部。うち1部は1～4頁。
	30	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「羽生委員長近く辞表 左社県連あとひく 四区公認問題」	昭和	1	15	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	31	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「羽生委員長辞表出す 左社県連月末に対策協議」	昭和	1	21	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。
	32	信濃毎日新聞 増頁	信濃毎日新聞社		「市議選・立候補者一覧 飯田市ほか」	昭和	4	21	新聞	活版・原紙	2頁	
	33	信濃毎日新聞 第二朝刊	信濃毎日新聞社		「県会 なぜ革新系が進出したか」(羽生のコメント紹介)	昭和	4	24	新聞	活版・原紙	2頁	
	34	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「外交問題で外相追及」(参院外務委における羽生の質問)	昭和	9	15	新聞	活版・原紙	4頁	1・2・7・8頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
591	35	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「県政界はどう動く 社会党県連委員長羽 生三七氏 暴走排し幅 広い活動を 知事の公 約実行を期待」	昭和 35	1	4	新聞	活版・ 原紙	4頁	3・4、9・10頁。
	36	信州日報 付録	信州日報新社		羽生「第七回議会報告 日本外交の基本方針 に関する緊急質問 昭 和二十五年四月二十 六日参議院本会議」	昭和 25	6	22	新聞	活版・ 原紙	2頁	1・2頁。
	37	信州日報	信州日報新社		「政局当面の問題 左 社の立場を語る 羽生 参議」	昭和 28	5	14	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	38	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(1)」	昭和 29	3	30	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	39	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(2)」	昭和 29	3	31	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	40	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(3)」	昭和 29	4	1	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	41	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(4)」	昭和 29	4	2	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	42	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(5)」	昭和 29	4	3	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	43	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(6)」	昭和 29	4	4	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	44	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(7)」	昭和 29	4	6	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	45	信州日報	信州日報新社		羽生「MSAに関する代 表質問要旨(終)」	昭和 29	4	7	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	46	信州日報	信州日報新社		羽生「長姫 勝つ日の 議会寸法」	昭和 29	4	10	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	47	信州日報	信州日報新社		「解散で道を拓け 乱 闘国会所見」(羽生の 談話)	昭和 29	6	13	新聞	活版・ 原紙	2頁	
	48	南信州	南信州新聞社		羽生「旅」	昭和 31	1	5	新聞	活版・ 原紙	4頁	
	49	南信州	南信州新聞社		「岸首相が補足釈明 参院三日の本会議 羽 生氏に対する答弁の 中で」	昭和 35	2	4	新聞	活版・ 原紙	4頁	
50	南信州	南信州新聞社		「災害 補正予算組め 参院連合審査で羽生 議員政府に質す」	昭和 36	8	3	新聞	活版・ 原紙	4頁		

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
591	51	大阪新聞			「本主催各党外交専門家座談会 どうカジを取る日本の外交」(羽生も出席)	昭和30	1	9	新聞	活版・原紙	4頁	3～6頁。
	52	社会新報 401号 長野版	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「世界の動きに背をむける自民と対決」	昭和35	1	3	新聞	活版・原紙	4頁	同一4部。
	53	社会新報 420号	日本社会党中央本部機関紙局		「当面の活動の基本方針 第一回中央委員会の決定」	昭和35	2	7	新聞	活版・原紙	4頁	
	54	社会新報 421号	日本社会党中央本部機関紙局		「新安保鋭く追及 国会の論戦、火ぶたさる」(羽生についての記事あり)	昭和35	2	14	新聞	活版・原紙	4頁	
	55	党活動 37号	日本社会党本部		「“憲法の蹂躪許せず” 党代表激しく吉田政府を非難」(羽生についての記事あり)	昭和27	12	1	新聞	活版・原紙	4頁	
	56	農業復興 123号	依田シズエ		「三代貫く野党魂 羽生農林委員長」	昭和26	2	1	新聞	活版・原紙	2頁	
	57	官報 号外	大蔵省印刷局		第15回国会参議院会議録第五号(羽生の質問掲載)	昭和27	11	26	書類	活版・原紙	16頁	
592		[参議院予算委員会関係など新聞記事]										表紙に「新聞記事在中」とペン書の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「大東亜研究室」封筒。592-2～12番所収。
	2	朝日新聞	朝日新聞社		「[沖縄防衛]で紛糾 参院予算委 重大な方針変更 社党」「福祉以外も許される」(羽生の質問)	昭和41	3	12	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。
	3	朝日新聞	朝日新聞社		「松代町に地震センサーを 羽生氏、首相に申入れ」	昭和41	6	11	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、13・14頁。
	4	朝日新聞	朝日新聞社		「松代に地震研究センター 気象庁の案ほぼ決る」	昭和41	8	8	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁
	5	朝日新聞	朝日新聞社		「記者席 “第三の男” 出現に執行部は仰天」(参院外務委における羽生の質問記事)	昭和41	11	19	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考	
592	6	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「賠償請求は放棄 外相答弁」(羽生の質問につき)	昭和40	3	30	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。	
	7	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「「ベトナム」の米行動対象となりえぬ 事前協議で外相答弁」(参院外務委における羽生の質問につき)	昭和40	5	12	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。	
	8	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院予算委 国債発行不要に 福田蔵相 羽生氏(社)に答える」	昭和41	3	9	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、13・14頁。	
	9	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「参院予算委 首相の沖縄防衛発言で紛糾」 「見解表明は変えぬ 社党、沖縄防衛で追及 首相、精神論を強調」 (羽生の質問につき)	昭和41	3	12	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、13・14頁。	
	10	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「国会を見つめよう (10)二院制 衆議院に優先権 政党化進み影薄い参議院」(羽生のコメントを引用)	昭和42	2	24	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。	
	11	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「国会を見つめよう (11)国会図書館 “手足”となり協力 議員の調査・研究活動に」 (羽生のコメントを引用)	昭和42	2	25	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。	
	12	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		「国会報告 県選出議員の活躍(16)参院 羽生三七氏(社会)委員会(予算・外務)には無欠席」	昭和42	9	6	新聞	活版・原紙	4頁	同一3部。1・2、7・8頁。	
	593		[ソ連・中国・アメリカ・沖縄関係など新聞記事]										封筒に一括。
		1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「大東亜研究室」封筒。593-2～25番所収。
		2	朝日新聞 夕刊	朝日新聞社		「参院でも沖縄論戦 安保の実質改定 事前協議緩和で羽生氏(社)」	昭和44	6	13	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、11・12頁。
		3	朝日新聞	朝日新聞社		「火山脈“大魚”逃がした?社会党」(羽生参院議員会長の対応につき)	昭和44	8	6	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、15・16頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
593	4	朝日新聞	朝日新聞社		羽生「国会正常化 二大政党にもの申す (下) 私の反論」	昭和 44	9	3	新聞	活版・ 原紙	4頁	同一3部。1・2、15・16 頁。
	5	朝日新聞	朝日新聞社		羽生・石橋政嗣(対談) 「日中問題を考える 社党内の意見を聞く 文革論議とは別に」	昭和 45	2	11	新聞	活版・ 原紙	4頁	同一3部。3・4、13・13 頁。
	6	朝日新聞	朝日新聞社		「記者席 論敵の祝辞 に思わず感涙」(羽生 著「戦後日本の外交」 出版記念パーティー について)	昭和 46	2	10	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、23・24頁。
	7	朝日新聞	朝日新聞社		羽生ほか「座談会 日 ソ首脳会談と田中外交」	昭和 48	10	11	新聞	活版・ 原紙	4頁	3・4、21・22頁。
	8	読売新聞	読売新聞社		「「ベトナム以後」の日本 外交 三木外相囲み 本社座談会」(羽生ほか 出席)	昭和 43	4	21	新聞	活版・ 原紙	16頁	同一2部。うち1部は1 ～4、13～16頁。
	9	読売新聞	読売新聞社		「政治に新風を9 参議 院を生かす道 政策本 位に帰れ」(羽生の述 懐を引用)	昭和 43	7	19	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、15・16頁。
	10	読売新聞 夕刊(2版)	読売新聞社		「参院も「沖縄」論戦」 (本会議での羽生の質 問)	昭和 44	6	13	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、11・12頁。
	11	読売新聞 夕刊(4版)	読売新聞社		「訪米前に党首会談 首相、核ぬき強調」(参 院本会議における羽 生の質問)	昭和 44	6	13	新聞	活版・ 原紙	4頁	1・2、11・12頁。
	12	読売新聞	読売新聞社		「70年国会論戦の詳報 23日の参院予算委総 括質問から 羽生三七 氏(社会)」	昭和 45	3	24	新聞	活版・ 原紙	4頁	5・6、11・12頁。
	13	読売新聞	読売新聞社		羽生ほか「本社座談会 日中の厚いかべ、破る 手は何か」	昭和 45	4	20	新聞	活版・ 原紙	4頁	3・4、13・14頁。
	14	読売新聞	読売新聞社		羽生・大平正芳「70年 の対話 これからの日 米友好への道」	昭和 45	7	6	新聞	活版・ 原紙	4頁	3・4、13・14頁。
	15	読売新聞	読売新聞社		「何が本当か 沖縄・安 保 ジョンソン証言め ぐる討論」(羽生ほか 出席)	昭和 45	8	25	新聞	活版・ 原紙	4頁	同一2部。5・6、11・12 頁。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
593	16	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		羽生ほか「ベトナム和平で三党議員座談会「バリ会談」への期待」	昭和43	5	9	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、13・14頁。
	17	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「次期参院選 波乱含みの社党県本部」(羽生の去就をめぐって)	昭和44	8	18	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、13・14頁。
	18	信濃毎日新聞 夕刊	信濃毎日新聞社		羽生「新春随想 未来予測と現実直視」	昭和45	1	14	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
	19	信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社		「ブックトピック「戦後日本の外交 一野党議員の記録」(羽生三七著)」	昭和46	2	22	新聞	活版・原紙	4頁	5・6、11・12頁。
	20	南信州	南信州新聞社		羽生「新年度の日本経済」	昭和45	1	1	新聞	活版・原紙	4頁	3・4、9・10頁。
	21	南信州	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望」	昭和49	1	5	新聞	活版・原紙	4頁	
	22	社会新報 775号(臨時増刊) 社会党訪ソ使節団報告版	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「ソ連・東欧訪問記」この眼でみた東欧」	昭和39	8	23	新聞	活版・原紙	8頁	
	23	社会新報 1164号	日本社会党中央本部機関紙局		羽生「理論と政策の確立でタブー破れ「相違」回避するな 無益な“レッテル張り”」	昭和43	10	2	新聞	活版・原紙	4頁	同一2部。3～6頁。うち1部は切抜。
	24	社会新報 1323号	日本社会党中央本部機関紙局		「羽生議員の代表質問要旨 参議院」	昭和45	5	13	新聞	活版・原紙	4頁	1・2、7・8頁。
25	[参議院予算委員会会議録 第五号]			国鉄の赤字財政に関する羽生の質問あり	昭和46	3	2	書類	活版・コピー	2頁	同一2部。	
594		南信州	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望 ついに来た増税元年」	昭和56	1	6	新聞	活版・原紙	4頁	同一5部。「南信州新聞社」封筒入り。
595		[ケネディ関係新聞記事]										表紙に「ケネディ」とペン書の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角5封筒	1点	「日本社会党中央本部機関紙局」封筒。595-2～6番所収。
	2	ライフでねらう男!!! ケネディ暗殺現場!!!				昭和41	11	15	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞 夕刊」。「参議院」罫紙に貼付。
	3	怪死続きに深まる疑惑 ケネディ暗殺事件				昭和42	2	25	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。595-3・4番は同一用紙に貼付。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
595	4	「ケネディ事件解決 全関係者逮捕できる」ガリソン検事語る				昭和42	2	25	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞 夕刊」。
	5	ケネディ事件のナゾに挑む				昭和42	2	28	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」裏面に「(ケネディ)」と赤鉛筆書あり。
	6	消えた16人目の証人 ケネディ暗殺事件の“黒い死”							新聞	活版・切抜	1枚	「信濃毎日新聞 夕刊」。
596		交際費課税・脱税問題・農・公務員給与										表題表記の封筒に一括。
	1	[封筒]							その他	角2封筒	1点	「参議院」封筒。596-2～20番所収。
	2	豪邸ひっそりと出現				昭和41	12	5	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。「参議院」罫紙に貼付。
	3	森脇文庫は49億円 国税庁発表				昭和42	2	16	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。「参議院」罫紙に貼付。596-3・4番はクリップ一括。
	4	四年間で五億脱税 カネツ商事を捜索。				昭和42	3	17	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
	5	公務員給与で人事院勧告					8	15	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞 夕刊」。
	6	税金はどうなる 利子・配当課税				昭和42	3	16	新聞	活版・切抜	1枚	「日経新聞」。「参議院」罫紙と考えられる用紙に貼付。
	7	経済教室 強化される交際費課税				昭和42	3	17	新聞	活版・切抜	1枚	「日経新聞」。
	8	四十一年度厚生白書の内容				昭和42	9	29	新聞	活版・切抜	1枚	「日経新聞 夕刊」。
	9	輸銀テコ入れ強化 住宅建設へ三一四〇億円					3	1	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
	10	国債発行 今国会の焦点に 償還までに六十年				昭和42	3	21	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
	11	税配分、検討の要 地方財政白書要旨				昭和42	3	31	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞 夕刊」。 596-11・12番は同一用紙に貼付。
	12	景気次第でどうにも 42年度地方財政計画				昭和42	3	31	新聞	活版・切抜	1枚	「日経新聞 夕刊」。
13	金の流れにメス 四億七千万円が不明				昭和42	2	8	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞 夕刊」。 596-13・14番は同一用紙に貼付。	

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考	
596	14	天声人語				昭和	2	9	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。	
	15	昭和36年以降専業兼業別農家戸数				昭和	36		書類	B5手書・コピー	1枚		
	16	耕地面積・専業別農家戸数・経営耕地面積別、専業兼業別農家数				昭和	40	2	1	書類	B5ペン書	1枚	「参議院」野紙。
	17	41会計年度外国産米買付状況				昭和	42	2	16	書類	B4手書・青焼きコピー	1枚	「食糧庁」野紙。
	18	電通調べによる1965年宣伝費ベスト20社-月刊中央公論(6月号)による-				昭和	40			書類	B5ペン書	1枚	「参議院」野紙。
	19	公庫・公団・事業団の役員給与額等				昭和	42	3	1	書類	B4手書・コピー	1枚	
	20	The Autobiography of Benjamin Franklin English Special Course	Minako Hanyu							書類	A5ノート	1冊	前頁切り取り、以下未使用。
切抜													
597		経済政策の重点には 中小企業と農業 宮沢長官、首相に進言				昭和	38	10	10	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
598		「日韓基本条約」案の全文				昭和	40	2	21	新聞	活版・切抜・コピー	2枚	「朝日新聞」。
599		信州の社会党 71 第一部 素顔 “遊び” で親近感				昭和	56	4	16	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
600		信州の社会党 76 第二部 遺産 同志で「懇話会」				昭和	56	5	21	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
601		座標 核廃絶の先頭に	論説顧問 都留重人			昭和	56	5	31	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
602		石川真澄著 データ戦後政治史				昭和	59	11	26	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
603		座標 社会党の新しい道 「中流」意識に対応を	論説委員 深津真澄			昭和	59	12	23	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
604		ゴルバチョフ氏の印象	社会党委員長 石橋政嗣			昭和	60	9	27	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
605		異見/意見 創業80周年を迎えた岩波書店社長 安江良介さん 自らを卑しめなければ、何を出してもいい				平成	2	7	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」。
606		ニュースの追跡 話題の発掘 「駐ソ大使に羽生さんを起用したかった」福田首相				昭和	5	20	新聞	活版・切抜・コピー	1枚	「東京新聞」。
607		総合農政答申の内容				昭和	6	29	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞 夕刊」。
608		“定年後”へ-計画は万全か-				昭和	2	25	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
609		国債費 65年度には20兆円				昭和	2	7	新聞	活版・切抜	1枚	「読売新聞」。
610		開戦前夜 下伊那の民衆 <下> 「森本資料」から				昭和	8	14	新聞	活版・切抜	1枚	「信濃毎日新聞」。
611		下伊那の政治運動(38) 社会主義運動の始まりと右翼勢力の台頭①	清水迪夫		羽生に関する記述あり	昭和	12	25	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
612		下伊那の政治運動(39) 社会主義運動の始まりと右翼勢力の台頭②	清水迪夫		羽生に関する記述あり	昭和	12	26	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
613		下伊那の政治運動(40) 社会主義運動の始まりと右翼勢力の台頭③	清水迪夫		羽生に関する記述あり	昭和	12	28	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
614		下伊那の政治運動(76) 社会主義運動の始まりと右翼勢力の台頭(39)	清水迪夫		羽生に関する記述あり	昭和	7	27	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
615		下伊那の政治運動(87) ファシズムへの潮流のなかで⑤	清水迪夫		羽生に関する記述あり	昭和	9	7	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
616		下伊那の政治運動(95) ファシズムへの潮流のなかで(13)	清水迪夫		羽生に関する記述あり	昭和	10	12	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
617		下伊那の政治運動(102) おわりに②	清水迪夫			昭和	10	23	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
618		投書 私の提言	飯田氏松尾 木下宏				2	27	新聞	活版・切抜	1枚	「信州日報」。
619		日言			羽生に関する記事あり	昭和60	9	5	新聞	活版・切抜	1枚	「南信州」。
620		国民の政党 参院選後の展望を聞く 下	東大法学部教授 京極純一			昭和52	7	16	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
621		ベトナム 対日論調、急に硬化 東南ア進出を懸念				昭和52	7	17	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
622		軍拡へ新たなはずみ 米の“危険な症候群”	ロバート・オールドリッジ			昭和55	4	4	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。オールドリッジはロッキード社ミサイル設計技師。
623		破局寸前の財政					8	11	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。記事の一部。
624		漢方のすすめ⑨ 不眠症	日本東洋医学会副会長 寺師睦宗						新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
625		世界の論調 「第三次大戦」悪役に怒るソ連							新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
626		[日本社会党公認 参議院議員候補者(長野地方区) 棚橋小虎の広告]			政策、政見放送予定ほか				新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
627		国際シンポジウム アジア・日本の安全と平和-日米協力の道をさぐる なぜ「ソ連の脅威」なのか				昭和56	10	22	新聞	活版・切抜	1枚	627～653番はクリップで一括。「朝日新聞」。
628		国際シンポジウム アジア・日本の安全と平和-日米協力の道をさぐる 「日本の防衛負担」のあり方				昭和56	10	23	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
629		国際シンポジウム アジア・日本の安全と平和-日米協力の道をさぐる 「非核三原則と核抑止力」めぐって				昭和56	10	24	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
630		国際シンポジウム アジア・日本の安全と平和-日米協力の道をさぐる 「総合安全保障への道」				昭和56	10	25	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
631		「収入」より「健康」に関心				昭和56	10	28	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
632		財投、来年度は20兆円台 内需拡大へ4%増				昭和56	11	25	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
633		内需拡大で5.2%成長				昭和56	11	28	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
634		年4.7%成長絶望				昭和56	12	5	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
635		今年度より6200億円増 政保債発行額 大蔵省と 引受団合意				昭和56	12	18	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
636		黒字累積66億ドルに 経 常収支 暫定見通し超過 確実					11	29	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
637		噴き出した閣内対立 景気 浮揚論・河本経企長官 行 革推進論・渡辺蔵相					12	2	新聞	活版・切抜	1枚	「朝日新聞」。
638		予算政府案30日に決定 財政再建を優先				昭和56	12	3	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
639		成長ダウン 年率2.4% 「4.7%」達成はムリ				昭和56	12	5	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
640		来年度予算 49兆6600億 円 6.1%増(今年度比)の 超緊縮				昭和56	12	10	新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
641		ロボット大国 すでに人 間自身も	論説室 西和夫			昭和56			新聞	活版・切抜	1枚	「毎日新聞」。
642		設備投資、先行き不安感 今年度14.6%増				昭和56	11	26	新聞	活版・切抜	1枚	「信濃毎日新聞」。
643		女の机 聞くも行うも悩 みのスピーチ					11	26	新聞	活版・切抜	1枚	「信濃毎日新聞」。
644		来年度国債減額 大蔵省、 方針貫く「1兆8300億円」 了承							新聞	活版・切抜	1枚	「信濃毎日新聞」。
645		信州日報	信州日报社		「女の“羽生駐ソ大使” 白羽の矢立てた福田首相」	昭和53	5	25	新聞	活版・切抜	4頁	
646		信州日報	信州日报社		「一年ぶりしばし歓談 河野前参院議長夫妻 羽生さん方を訪れる」	昭和53	5	26	新聞	活版・切抜	4頁	
647		全国討論集会を総括して	社会主義理論センター所長勝間田清一 事務局長嶋崎譲			昭和56	10	2	新聞	活版・切抜	1枚	「社会新報」2462号。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
648		八〇年代の内外情勢の展望と社会党の路線(案)	日本社会党中央執行委員会			昭和56	11	13	新聞	活版・切抜	1枚	「社会新報」2474号。
649		消費税導入 検討を 現代総研が主張転換				昭和56	2	19	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
650		主婦の時事教室 伸び悩む個人消費 “姿なき増税” が圧迫				昭和56	12	14	新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
651		暗い日本の未来 米誌が予測発表							新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
652		和やかに日ソ国交回復当時の苦労話 羽生元参議院議員宅にソ連大使							新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
653		来年度は4.2%成長 国民経済研 内需主導型を予測							新聞	活版・切抜	1枚	掲載紙不明。
654		編集者への手紙 武力侵略は果たしてあるか 非武装こそが現実的である	神島二郎(大学教授)			昭和55	5	20	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	654～663番はホチキスで一括、654・655番は一括でコピー。「毎日新聞」。
655		オピニオンのページ 視点 論点 防衛力と日本外交	武者小路公秀(国連大学副学長)				5	19	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「読売新聞」。
656		論壇 憲法の空洞化と道義の退廃	金沢嘉市(教育評論家)			昭和55	5	15	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	656・657番は一括でコピー。「朝日新聞」。
657		変わったサラリーマン意識							新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	掲載紙不明。
658		編集後記			「座談会・戦後保守政治の軌跡」連載について他	昭和55	4	25	雑誌	B4活版・切抜・コピー	1枚	658・659番は一括でコピー。「世界」6月号。
659		社説 西側同盟の再構築のために-民主主義社会の真の強み-				昭和55	4	28	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「毎日新聞」。
660		60年安保から20年 防衛論この変質ぶり				昭和55	5	19	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	660・661番は一括でコピー。「読売新聞」。
661		論壇 自衛隊の法的地位確立を	国島清矩(元自衛艦隊司令官)			昭和55	5	13	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「朝日新聞」。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
662		ソ連の世界戦略批判 第三世界を分裂、緊張激化 社党の80年代平和保障政策(第一部)				昭和55	4	28	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	662・663番は一括でコピー。「毎日新聞」。
663		社党の平和保障政策 第一部要旨							新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「毎日新聞」か。
664		経済観測 自然増収五兆円説の誤謬	五郎			昭和54	9	21	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	664～667番は一括でコピー。「毎日新聞」。
665		経済観測 税収試算	五郎			昭和54	9	28	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「毎日新聞」。
666		大磯小磯 やはり財政再建を	蜻蛉			昭和54	9	29	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「日本経済新聞」。
667		増税なき“財政再建”を	立教大学教授 和田八東			昭和54	10	1	新聞	B4活版・切抜・コピー	1枚	「毎日新聞 夕刊」。
スクラップブック												
668	1	[下伊那自由青年連盟関係新聞記事]				大正11			新聞	活版・切抜	1冊	「東京日日新聞」ほか、表紙に「羽生」と墨書あり。
	2	[写真]			自由青年連盟・郡青年会・天竜労働団・南信壮年団主催の普選断行・清浦内閣倒壊デモに関する写真(羽生も被写体の一人)				その他	縦12.0×横16.3cm	1枚	668-1番に貼付。
669	1	昭和6年度県議戦報信濃大衆新聞			長野県会議員選挙関係	昭和6			新聞	活版・切抜	1冊	裏表紙に「早稲田大学高師□□□羽生三男」とペン書あり。
	2	羽生三男宛 羽生三七書簡	羽生三七	羽生三男	今日から言論戦、あまり期待は出来ない、帰郷は見合すべき旨通知	昭和6	9	16	書簡	墨書・葉書	1通	669-1番に貼付。
	3	羽生三男宛 羽生三七書簡	羽生三七	羽生三男	県議戦に止むを得ず立候補したこと、応援のため帰郷は見合すべきこと、資金がなく同志は大いに苦慮、当選は出来まいが各地を回り大論戦開始のことなど通知	昭和6	9	16	書簡	ペン書・葉書	1通	669-1番に貼付。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
670		県会、国会等主として選挙関係新聞記事			昭和11年長野県会、昭和22年参議院議員選挙関係ほか	昭和	11		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「羽生三七」とペン書あり。
671		[昭和20年から27年8月までの新聞記事]			新警察制度、食料政策、再軍備問題、社会党長野県連関係などの記事	昭和	20		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 1 自20年至27. 8-」とペン書あり。
672		[マッカーサーの指令による日本経済安定計画に関する新聞記事]				昭和	23		新聞	活版・切抜	1冊	「毎日新聞」。
673		[昭和23年8月29日から39年9月19日までの新聞記事]			参議院農林委員会、ソ連関係、社会党県連などの記事	昭和	23		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「昭和23年8月29日～昭和39年9月19日」と鉛筆書あり。
674		[昭和27年11月から29年12月までの新聞記事]			参議院本会議・外務委員会、社会党県連などの記事	昭和	27		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 2 自27. 11至29. 12」とペン書あり。
675		[昭和29年5月から34年3月までの新聞記事]			日ソ交渉、長野知事選挙、社会党県連などの記事	昭和	29		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 3 自29. 5至34. 3」とペン書あり。
676		[経済関係新聞記事]			地方税、公務員給与改定などの記事	昭和	33		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「経済 自1958. 7. 11S. Hanyu」とペン書あり。
677	1	[昭和34年4月から37年11月までの新聞記事]			参議院選挙、参議院外務委員会、社会党県連などの記事	昭和	34		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 4 自34. 4至37. 11」とペン書あり。のコピー挿入。
	2	第三十四回参議院予算委員会会議録第十五号			羽生の質問記録	昭和	35	3 14	書類	活版・コピー	10頁	677-1番の挿入物。
678		昭和三十四年六月二日参議院議員選挙新聞記事綴(第三回)			羽生関係記事	昭和	34		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。
679	1	[昭和38年3月から41年8月までの新聞記事]			参議院予算委員会、参議院外務委員会、参議院議員選挙、竹島問題などの記事	昭和	38		新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 5 自38. 3至41. 8」とペン書あり。
	2	プラウダ			参議院外務委員会における核防条約に関する質問についての報道	昭和	40	2 24	新聞	活版・原紙	4頁	679-1番の挿入物。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
679	3	参議院外務委員会(第四十九回国会閉会後)会議録第一号			羽生の質問速記録	昭和40	8	30	書類	活版	2頁	5,6頁部分。679-1番の挿入物。
680	1	昭和四十年七月参議院選挙新聞記事(第四回)			羽生関係記事	昭和40			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。内表紙に「昭和四〇年六月十日公示 七月四日投票 参議院議員選挙(第四回立候補) 第一回以来連続四回最高位にて当選す」とペン書あり。
	2	経歴書	羽生三七		社会運動歴、党歴、公職歴、国外出張	昭和40			書類	活版	1枚	680-1番に貼付。
681	1	欧米旅行関係(昭和四十一年)			「信州日報」掲載の羽生の海外通信ほか	昭和41			新聞	活版・切抜	1冊	「信州日報」ほか。
	2	欧米視察議員団日程表			羽生三七議員、高山恒雄議員、川畑塚夫渉外課長の日程	昭和41			書類	活版	1枚	681-1番の挿入物。
	3	[写真]			使節団の写真(羽生も被写体の一人)	昭和41			その他	縦11.0×横16.5cm	1点	681-1番の挿入物。
682		参議院質問及び関係記事			参議院予算委員会、沖縄返還問題、ベトナム問題、LYL事件関係などの記事	昭和41			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 6 自41、10、18至43、10、2」とペン書あり。
683		[昭和43年10月から45年6月までの新聞記事]			「沖縄・安保」国会関係などの記事	昭和43			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 7 自43、10、2 至45、6」とペン書あり。
684		[昭和45年6月から46年10月までの新聞記事]			参議院外務委員会、沖縄問題、ベトナム問題、日中関係、参議院議員選挙、参議院議長問題などの記事	昭和45			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 8 自45. 6 至46. 10」とペン書あり。
685		昭和46年参議院選挙関係新聞記事綴			羽生五選関係記事	昭和46			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。
686		[昭和46年11月から47年7月までの新聞記事]			参院沖縄委、日中・日台問題、沖縄問題、参院勤続25年議員関係、日ソ親善協会などの記事	昭和46			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 9 自46. 11 至47. 7」とペン書あり。
687	1	[昭和47年7月から49年10月までの新聞記事]			参議院予算委員会、日ソ・日中関係、日本列島改造論などの記事	昭和47			新聞	活版・切抜	1冊	表紙に「自1972. 7. 4至1974. 10. 23」とペン書あり。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
687	2	南信州	南信州新聞社		羽生「新年度経済の展望」	昭和49	1	5	新聞	活版・原紙	4頁	687-1番に挿入。
688	1	[明治49年11月から53年5月までの新聞記事]			羽生「社会党と私の30年」(朝日新聞)「日本の新しい選択」(信州日報)ほか	昭和49			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 11 自四九年十一月十四日至」とペン書あり。
	2	西ドイツ連邦議会議員シュバイツァー氏との懇談について			日本の対中共観、アジア政策についての懇談(羽生も出席)	昭和51	7	27	書類	手書・コピー・罫紙	1枚	「参議院」罫紙。688-1番に貼付。
	3	社会党と私の30年係宛 佐々木三男書簡	佐々木三男	社会党と私の30年係	朝日新聞掲載・羽生執筆「社会党と私の30年」の感想	昭和52	4	12	書簡	ペン書・葉書	1通	688-1番に挿入。
689		[昭和53年5月から7月までの新聞記事]			引退後の羽生関係記事	昭和53			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「No. 12 自1978.5(昭和53年)至」とペン書あり。
690	1	[昭和53年11月から58年1月までの新聞記事]			引退後の羽生訪問者関係記事、羽生著作	昭和53			新聞		1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「自53年(53年分はまだ新聞綴りにあり)」とペン書あり。
	2	羽生三七宛 山本満書簡	山本満	羽生三七	「エコノミスト」掲載の羽生評論に接した感想など	昭和57	12	28	書簡	ペン書・葉書	1通	690-1番に貼付。
	3	社会党再生への直言	羽生三七			昭和58	1	18	雑誌	活版・コピー	3枚	「エコノミスト」1983年1月18日号。690-1番に貼付。
691		[昭和54年4月から55年10月までの新聞記事]			長野県知事選挙、ダブル選挙、国際関係などの記事	昭和54			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「自54年 1979」とペン書あり。
692		朝日新聞 20世紀の軌跡(ある政治史)証言者羽生三七 1980.4.8日より(石川真澄氏執筆)			朝日新聞連載記事	昭和55			新聞	活版・切抜	1冊	
693	1	[ある社会主義者 羽生三七の歩いた道] 朝日新聞編集委員石川真澄著 朝日新聞社発行 1982年			石川真澄著「ある社会主義者 羽生三七の歩いた道」出版関係記事	昭和57			新聞	活版・切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。
	2	市長メモ(95)			「ある社会主義者 羽生三七の歩いた道」出版関係記事	昭和57	6	1	新聞	活版・コピー	1枚	「広報いいだ」No. 415。693-1番に貼付。

番号	枝番	表題	作成者	宛先	内容	年	月	日	種類	形態	数量	備考
693	3	[羽生三七さんの伝記出版を祝う会案内]	発起人代表秋山長造・石橋政嗣		石川真澄著「ある社会主義者-羽生三七の歩いた道」出版祝賀会(4月15日)案内	昭和		3	書簡	活版・ 葉書	1通	693-1番に貼付。
	4	ある社会主義者-羽生三七の歩いた道「伝記出版を祝う会」御案内	発起人小川一平 ほか16名		石川真澄著「ある社会主義者-羽生三七の歩いた道」出版祝賀会(4月24日)案内	昭和		4	書簡	活版・ 葉書	1通	693-1番に貼付。
	5	羽生三七書簡	羽生三七		石川真澄著「ある社会主義者-羽生三七の歩いた道」出版祝賀会御参会への御礼	昭和		4	書簡	活版・ 葉書	1通	同一文で封書の形態と葉書の形態あり。693-1番に貼付。
694		[昭和58年3月から60年1月までの新聞記事]			県議選、参院選、河野謙三元参議院議長死去、鼎町の合併、向坂逸郎死去などの記事あり	昭和		58	新聞	活版・ 切抜	1冊	「信濃毎日新聞」ほか。表紙に「1983(S.58)3/31～」とペン書あり。